３ 各疾患の動向

（１） 一類、二類、三類、四類、五類感染症 （全数把握対象）

ア 一類感染症

一類感染症（以下参照）の届出はなかった。

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

イ 二類感染症

① 結核

結核の動向は別途、健康安全部感染症対策課が扱っている。

② その他の二類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）

ウ 三類感染症

① コレラ

コレラは 3 件届出があった。全て O1 エルトール小川であった。

性別は男性 2 人、女性 1 人で、年齢別は、20 歳代 1 人、30 歳代 1 人、50 歳代 1 人、であった。

推定感染地は全て国外（インド 2 件、インドネシア 1 件）であった。

コレラ（N=3）

受理日	受理週	性別	年齢	菌型	推定感染地
6/4	23	男	32	O1 エルトール小川	インド
8/22	34	男	55	O1 エルトール小川	インド
10/21	43	女	29	O1 エルトール小川	インドネシア

② 細菌性赤痢

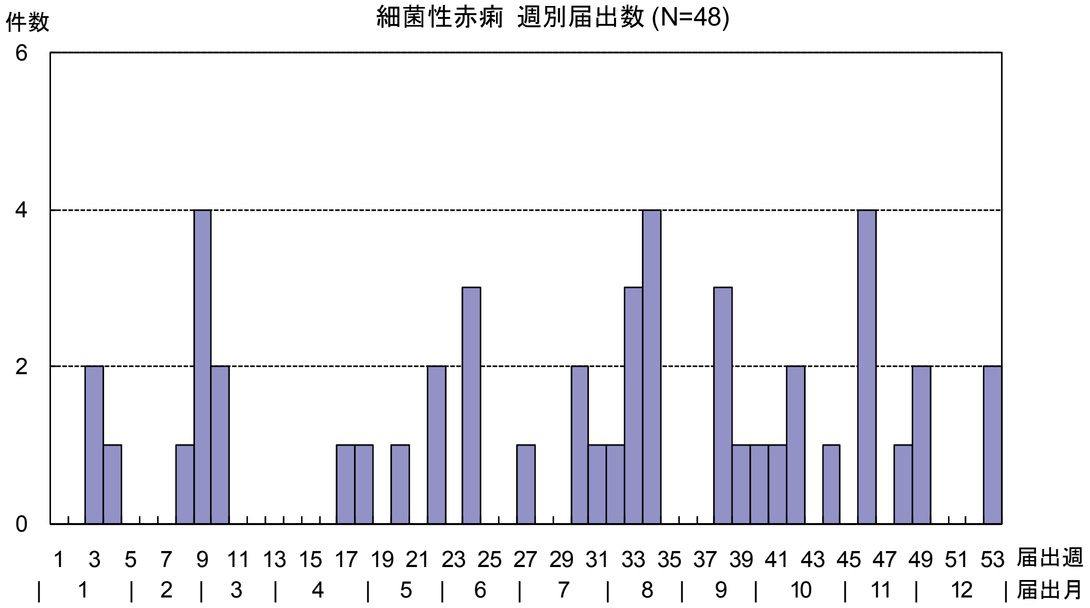
細菌性赤痢は 48 件届出があった。菌型はディセンテリー菌 1 件、フレキシネル菌 11 件、ソンネ菌 36 件であった。

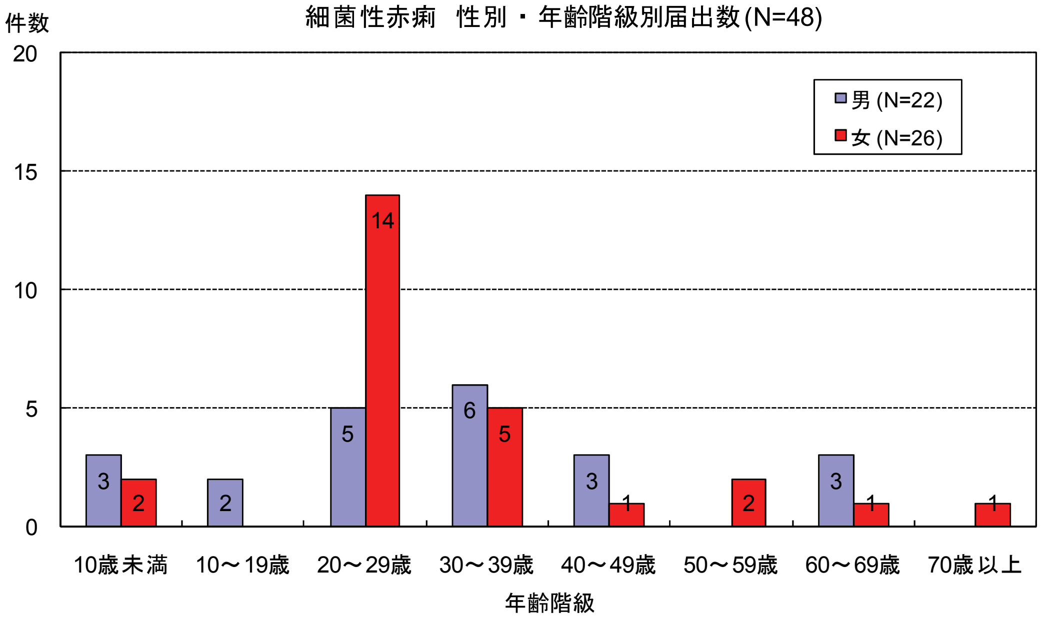
性別は男性 22 人、女性 26 人で、年齢別は 10 歳未満 5 人（うち 5 歳未満 2 人）、10 歳代 2 人、20 歳代 19 人、30 歳代 11 人、40 歳代 4 人、50 歳代 2 人、60 歳代 4 人、70 歳代 1 人であった。

推定感染地は国内 11 件、国外 37 件であった。国外感染例 37 件を推定感染地域別にみると、東南アジア 18 件、南アジア 10 件、東アジア 2 件、中近東 2 件が多く、推定感染国別にみると、インド 8 件、インドネシア 7 件、ベトナム 6 件、フィリピン 3 件、カンボジア 2 件、中国 2 件が多かった。症例の集積は、第 3～4 週インドネシアへの渡航者 2 人（ソンネ）、第 8～9 週フィリピンへの渡航者 3 人（ソンネ）、第 22 週インドへの渡航者 2 人（フレキシ

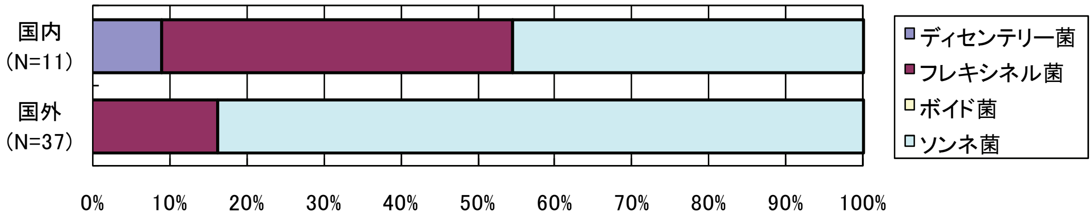
ネル 1 件、ソンネ 1 件)、第 33～34 週インドネシアへの渡航者 2 人（ソンネ)、第 38 週ベトナムへの渡航者 2 人（ソンネ）に認められた。

国内感染が疑われる 11 件の年齢別は、10 歳未満 1 人、10 歳代 1 人、20 歳代 4 人、30 歳代 1 人、60 歳代 1 人、70 歳以上 1 人であった。症例の集積は、第 9 週に 2 人（ソンネ)、第 33 週に 2 人（フレキシネル 1 件、ソンネ 1 件)、第 46 週に 2 人（ディセンテリー1 件、ソンネ 1 件）認められた。

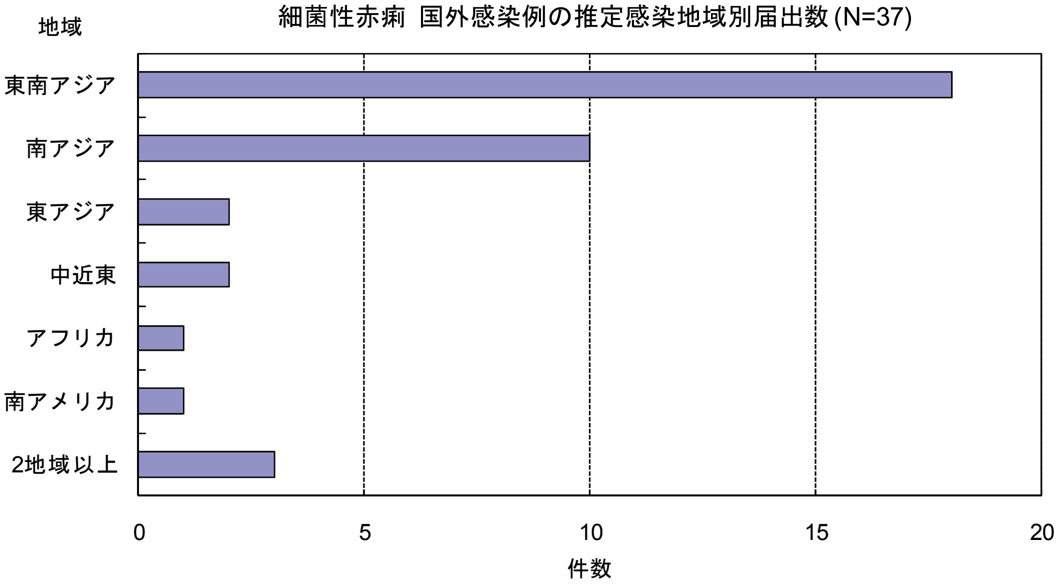




細菌性赤痢　菌型別・推定感染地別構成割合(N=48)



細菌性赤痢　国外感染例の推定感染地域別届出数(N=37)



細菌性赤痢　国外感染例の推定感染地域別・国別届出数 (N=37)

推定感染地域	件数	推定感染国	件数
東南アジア	18	インドネシア	7
		カンボジア	2
		ベトナム	6
		フィリピン	3
南アジア	10	インド	8
		パキスタン	1
		ネパール	1
東アジア	2	中国	2
中近東	2	トルコ	1
		イエメン	1
アフリカ	1	エジプト	1
南米	1	ペルー	1
2 地域以上	3	インドネシア/シンガポール	1
		ベトナム　/タイ	1
		メキシコ/プエルトリコ/コロンビア	1
計	37		

細菌性赤痢　国内感染例（N=11）

受理日	受理週	性別	年齢	菌型	症状	推定感染地	備考
2/27	9	女	25	ソンネ	有	不明	生鶏肉喫食の関連疑い
2/27	9	男	8	ソンネ	有	不明	
7/3	27	女	68	フレキシネル	有	東京	
8/12	33	男	14	フレキシネル	有	東京	
8/14	33	男	23	ソンネ	有	東京	焼肉喫食の関連疑い
8/17	34	女	26	フレキシネル	有	東京	
9/24	39	男	1	ソンネ	有	東京	
10/13	42	女	39	フレキシネル	有	東京	
10/29	44	女	5	フレキシネル	有	不明	
11/9	46	女	75	ディセンテリー	有	東京	寿司喫食の関連疑い
11/10	46	女	23	ソンネ	有	不明	

③　腸管出血性大腸菌感染症

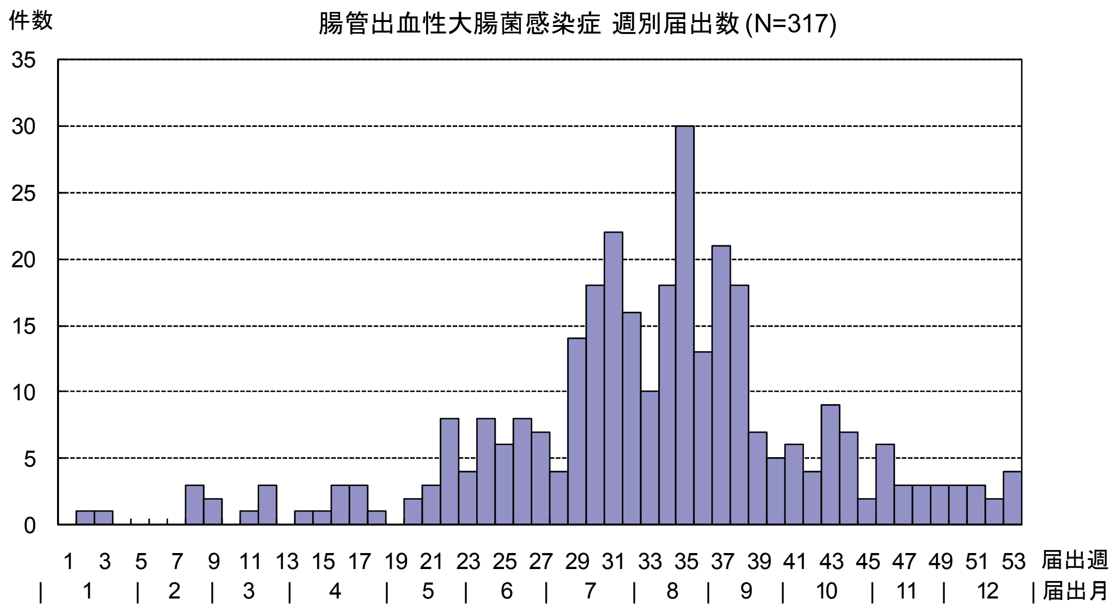
腸管出血性大腸菌感染症は 317 件届出があった。

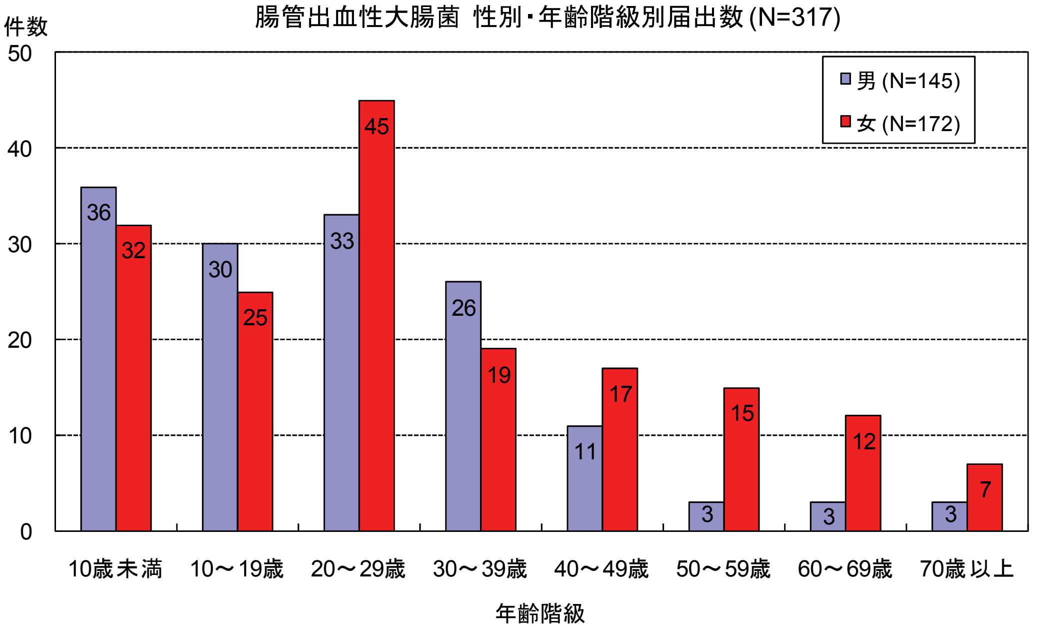
性別は男性 145 人、女性 172 人で、年齢別は 10 歳未満 68 人（うち 5 歳未満 27 人）、10 歳代 55 人、20 歳代 78 人、30 歳代 45 人、40 歳代 28 人、50 歳代 18 人、60 歳代 15 人、70 歳以上 10 人であった。

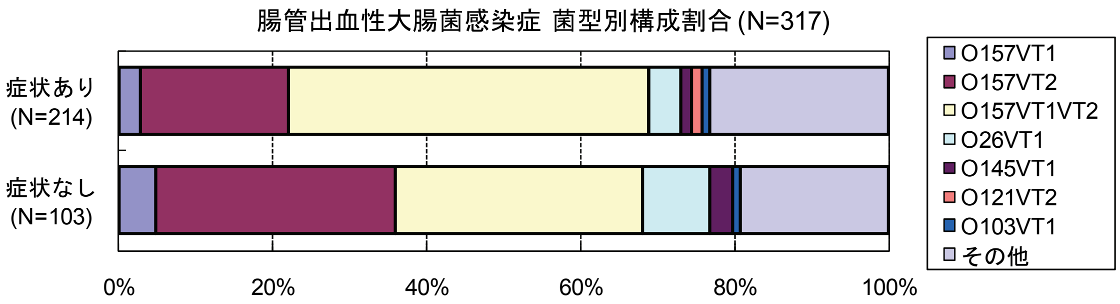
菌型は O157VT1 が 11 件、O157VT2 が 73 件、O157VT1VT2 が 133 件、O26VT1 が 18 件、O145VT1 が 6 件、O145VT2 が 1 件、O103VT1 が 3 件、O121VT2 が 3 件、O111VT2 が 2 件、O165VT2 が 2 件、その他が 65 件であった。

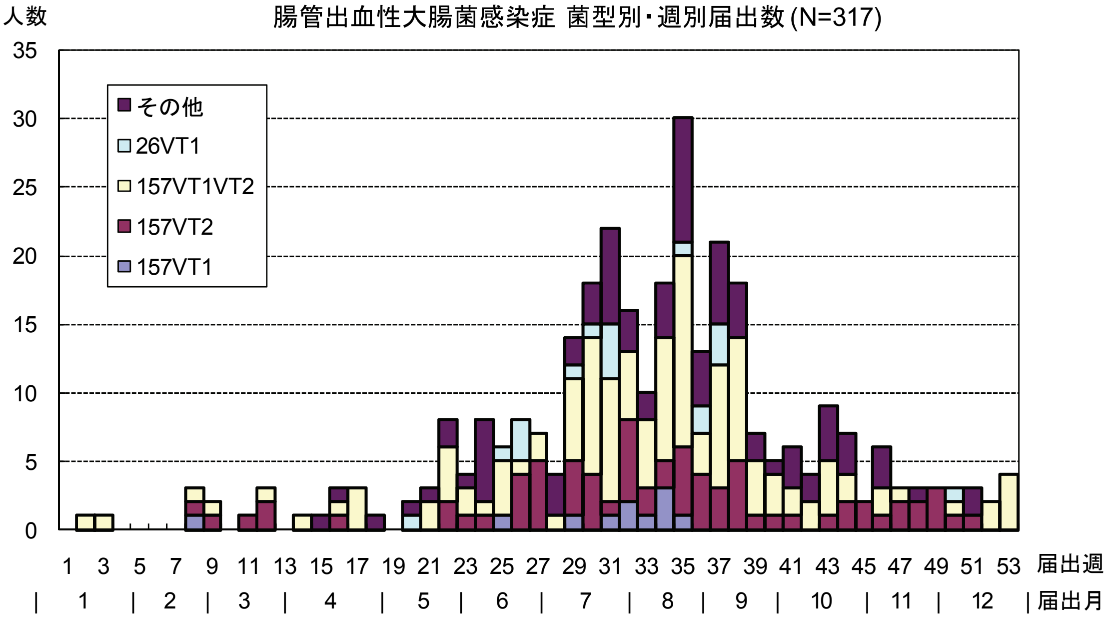
症状別では、患者 214 人、無症状病原体保有者 103 人であった。溶血性尿毒症症候群（HUS）と判明している者は 7 人おり、内訳は 10 歳未満 4 人、10 歳代 2 人、20 歳代 1 人であった。推定感染地は国内 308 件、国外 8 件、その他（不明）1 件であった。死亡例の報告はなかった。

症例の集積は、第 34～35 週に農業体験に関連した事例が 2 人（O157VT1VT2 が 2 人）、38 週に外食チェーン店に関連した事例が 3 人（O157VT2 が 1 人、O157VT1VT2 が 2 人）認められた。


件数
腸管出血性大腸菌感染症 週別届出数 (N=317)
届出週
届出月


件数
腸管出血性大腸菌 性別・年齢階級別届出数 (N=317)
男 (N=145)
女 (N=172)
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級


腸管出血性大腸菌感染症 菌型別構成割合 (N=317)
症状あり
(N=214)
症状なし
(N=103)
O157VT1
O157VT2
O157VT1VT2
O26VT1
O145VT1
O121VT2
O103VT1
その他

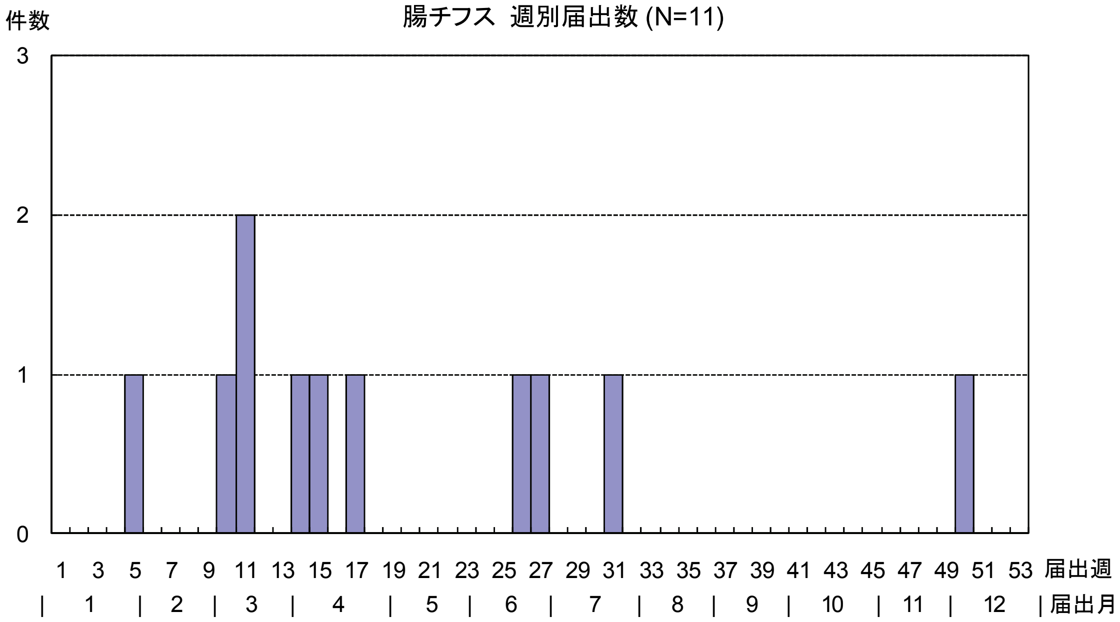


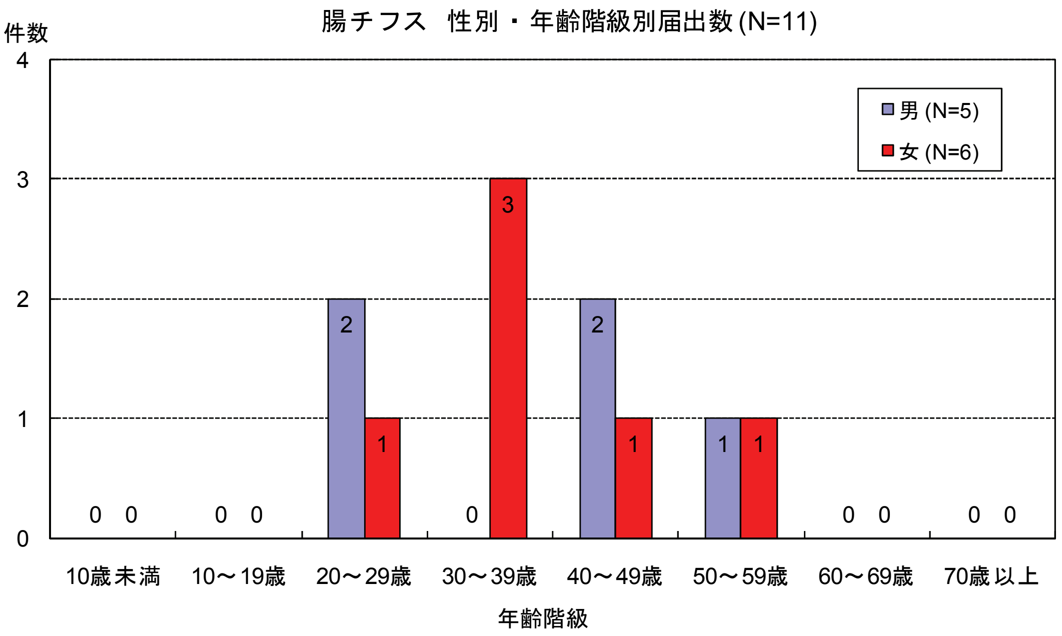
④ 腸チフス

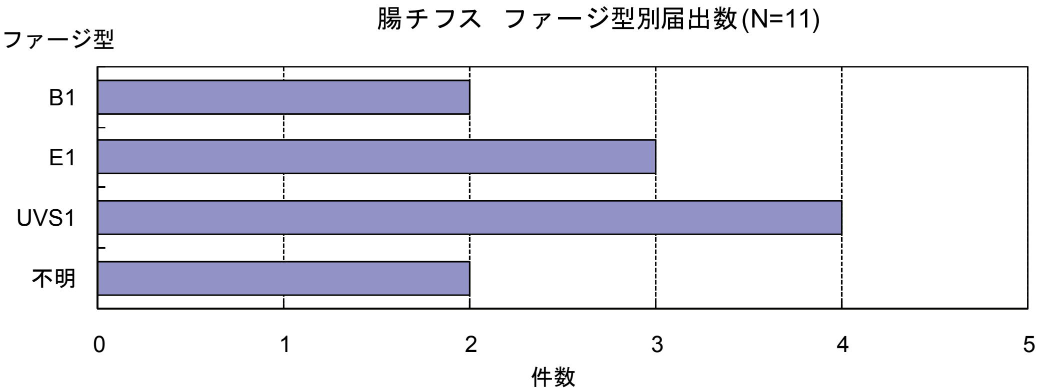
腸チフスは 11 件届出があった。

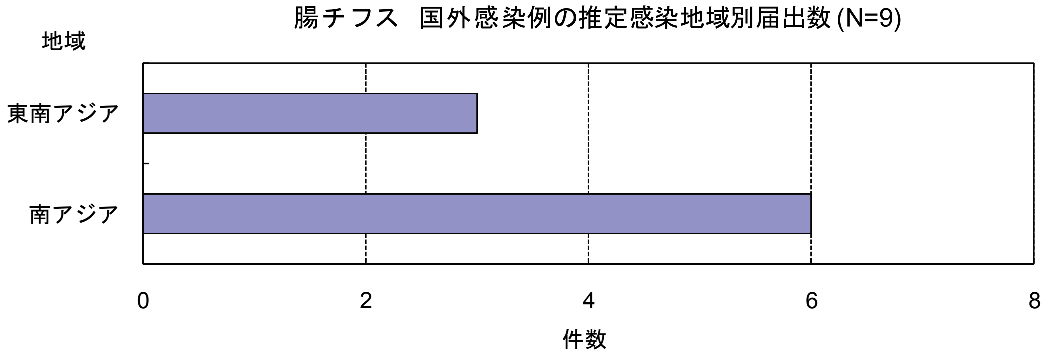
性別は男性 5 人、女性 6 人で、年齢別は 20 歳代 3 人、30 歳代 3 人、40 歳代 3 人、50 歳代 2 人であった。

推定感染地は国内 2 件、国外 9 件であった。推定感染地域別では、南アジア 6 件、東南アジア 3 件で、推定感染国別では、インド 5 件、カンボジア 2 件、パキスタン 1 件、フィリピン 1 件であった。




腸チフス　性別・年齢階級別届出数(N=11)
件数
4
3
2
1
0
男 (N=5)
女 (N=6)
0 0
0 0
2 1
0 3
2 1
1 1
0 0
0 0
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級


腸チフス　ファージ型別届出数(N=11)
ファージ型
B1
E1
UVS1
不明
0
1
2
3
4
5
件数


腸チフス　国外感染例の推定感染地域別届出数(N=9)
地域
東南アジア
南アジア
0
2
4
6
8
件数

腸チフス　国内感染例（N=2）

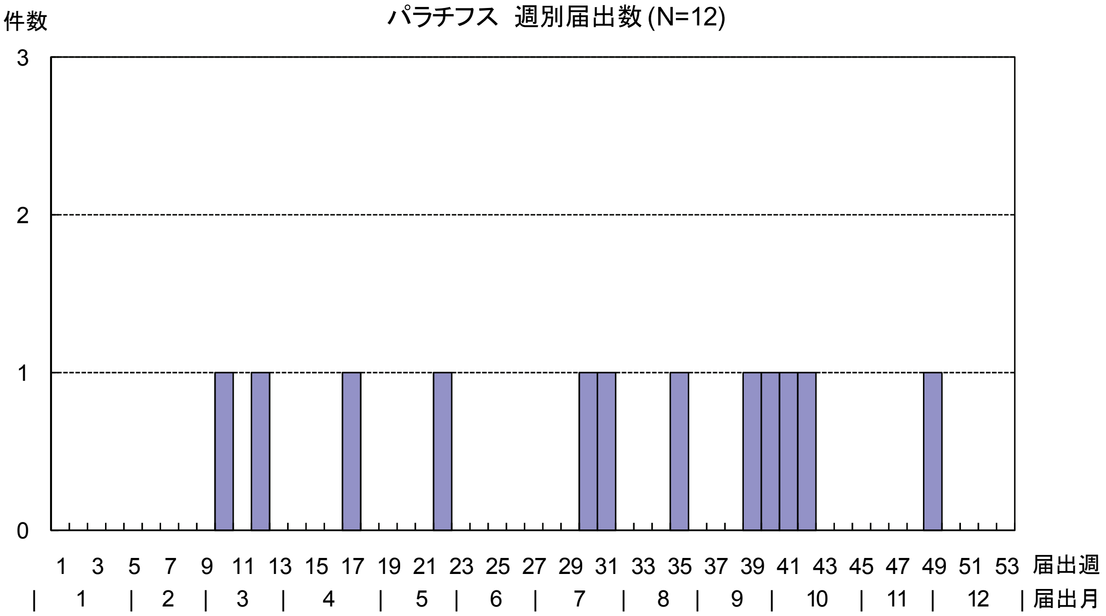
受理日	受理週	性別	年齢	ファージ型	症状	推定感染地
3/4	10	男	49	B1	有	不明
12/11	50	女	44	UVS1	有	不明

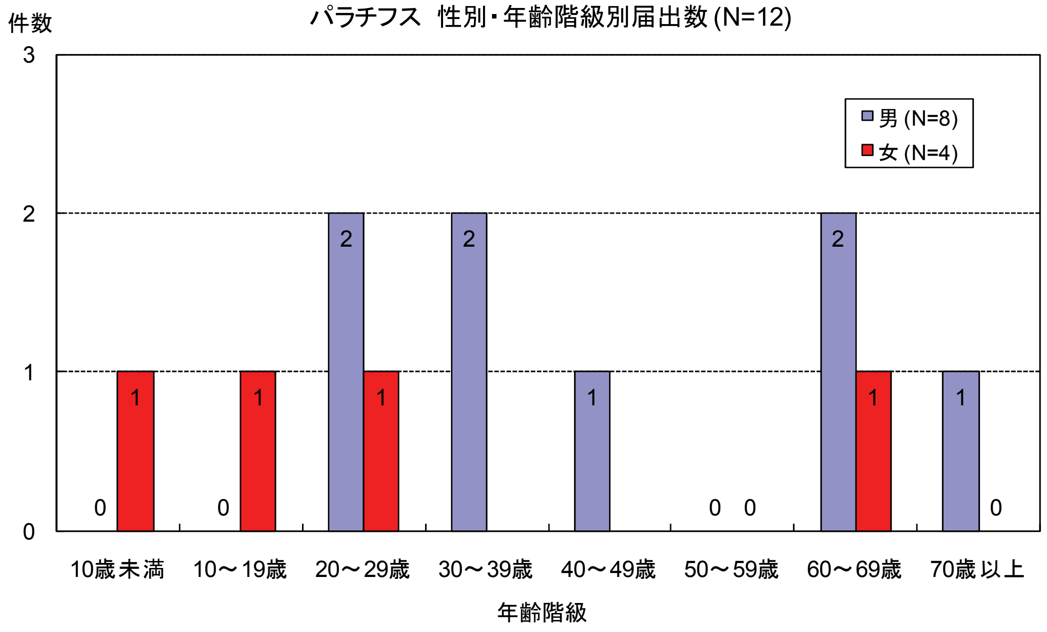
⑤　パラチフス

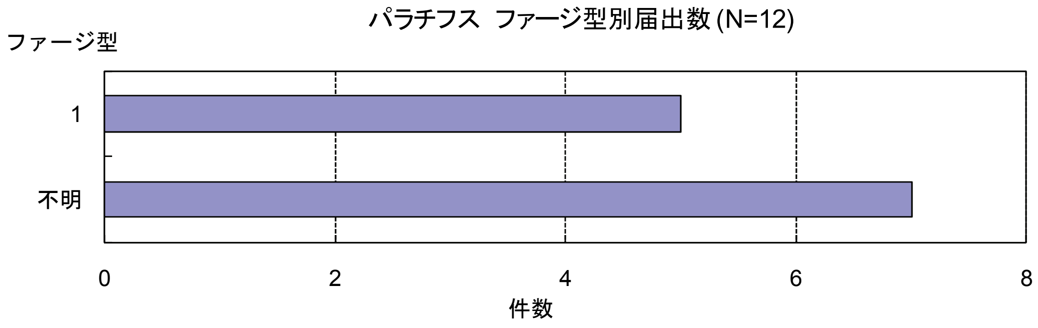
パラチフスは 12 件届出があった。

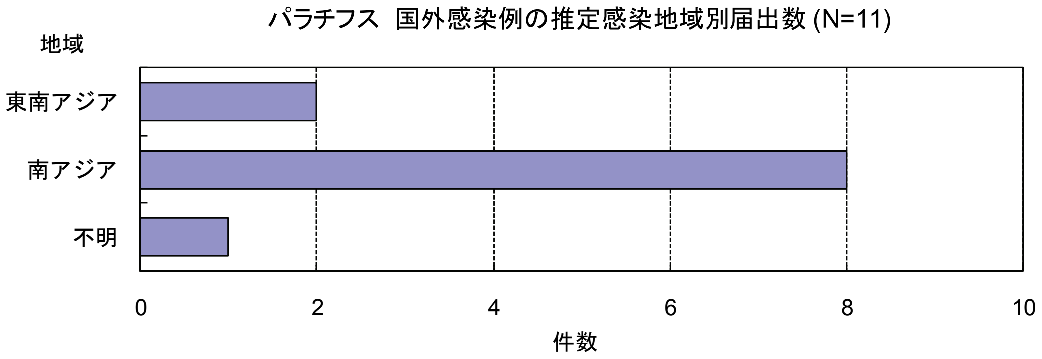
性別は男性 8 人、女性 4 人で、年齢別は 10 歳未満 1 人、10 歳代 1 人、20 歳代 3 人、30 歳代 2 人、40 歳代 1 人、60 歳代 3 人、70 歳以上 1 人であった。

推定感染地は国内 1 件、国外 11 件であった。推定感染地域別では、南アジア 8 件、東南アジア 2 件、不明 1 件で、推定感染国別では、インド 5 件、スリランカ 2 件、インドネシア 2 件、バングラデシュ 1 件、不明 1 件であった。









パラチフス　国内感染例（N=1）

受理日	受理週	性別	年齢	ファージ型	症状	推定感染地
3/4	10	男	75	1	有	家族内感染

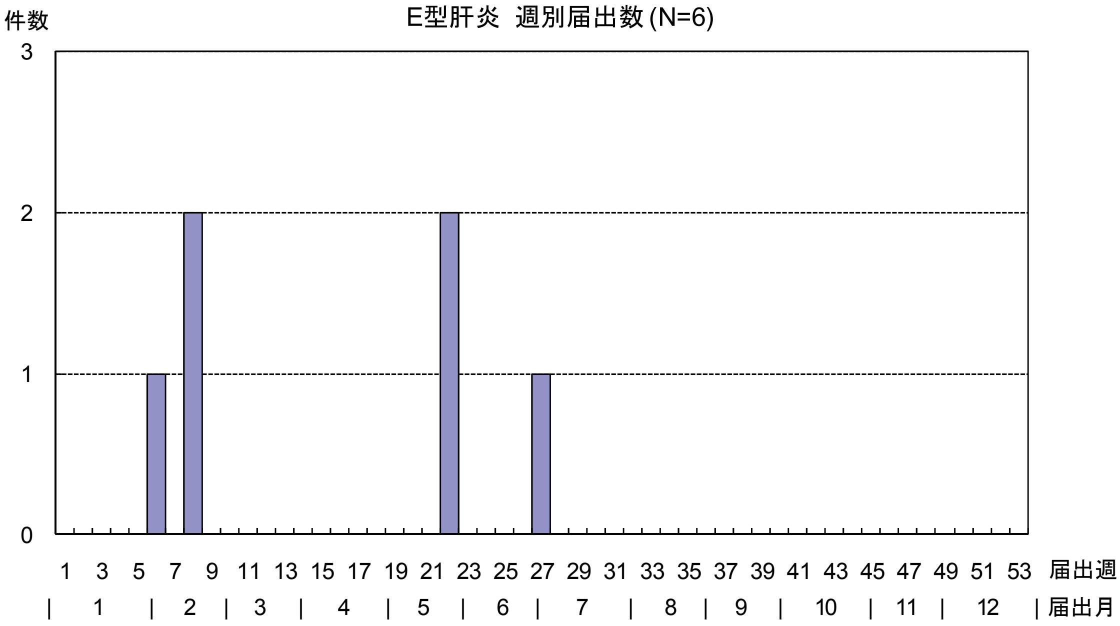
エ　四類感染症

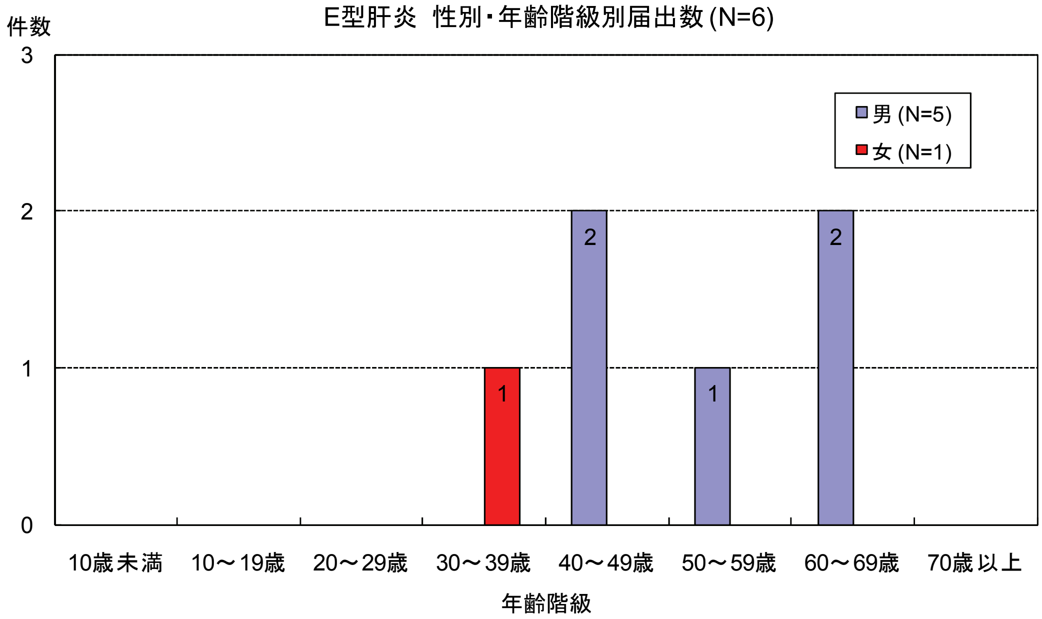
①　E型肝炎

E型肝炎は6件届出があった。

性別は男性5人、女性1人で、年齢別は30歳代1人、40歳代2人、50歳代1人、60歳代2人であった。

推定感染地は国内5件、国外1件（ネパール1件）であった。





E型肝炎 （N=6）

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
2/5	6	男	43	発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常、肝腫大	国内	飲食物による経口感染（レバー）
2/18	8	男	51	全身倦怠感、黄疸	国内	飲食物による経口感染（焼肉）
2/19	8	女	35	発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常、肝腫大	ネパール	不明
5/27	22	男	61	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常、肝腫大	国内	飲食物による経口感染（生肉）
5/29	22	男	67	発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常、肝萎縮、腹水	国内	飲食物による経口感染（鹿肉、猪肉）
6/29	27	男	46	全身倦怠感、肝機能異常	国内	飲食物による経口感染

②　Ａ型肝炎

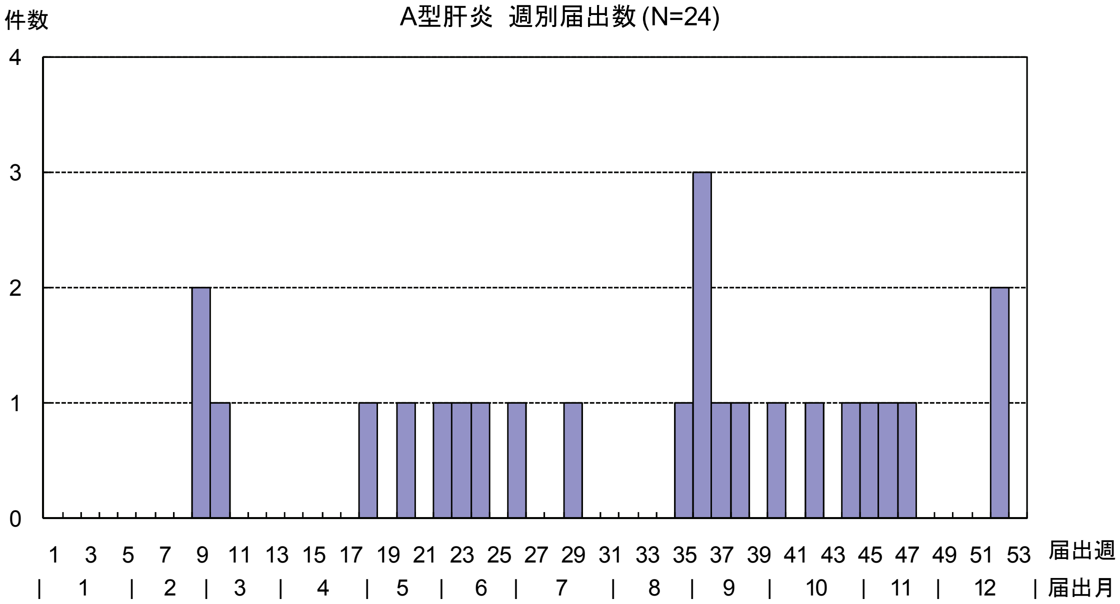
Ａ型肝炎は 24 件届出があった。

性別は男性 15 人、女性 9 人で、年齢別は 10 歳未満 1 人、10 歳代 1 人、20 歳代 4 人、30 歳代 7 人、40 歳代 2 人、50 歳代 4 人、60 歳代 4 人、70 歳以上 1 人であった。

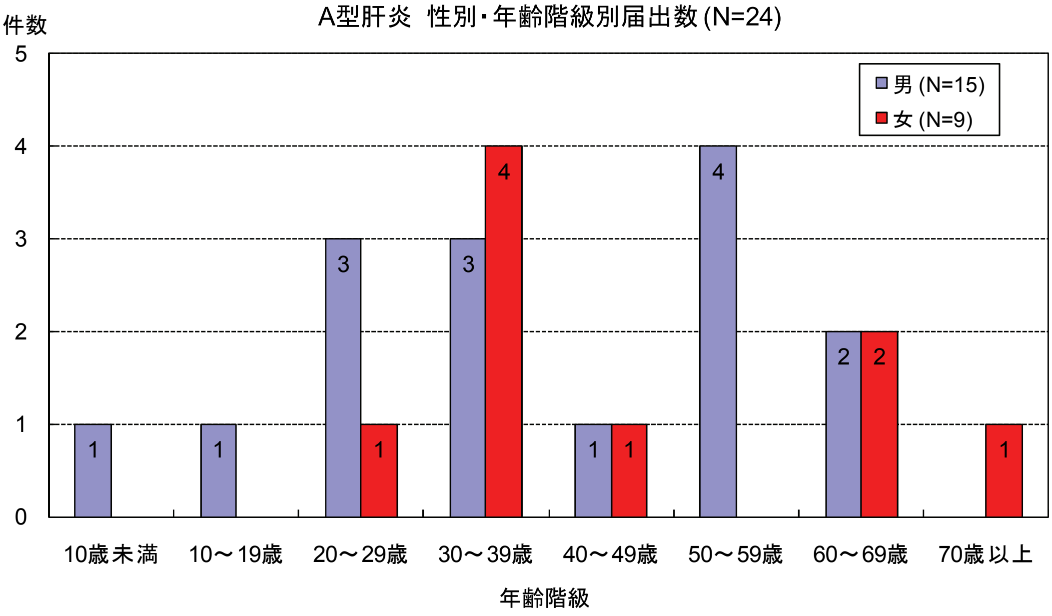
推定感染地は国内 14 件、国外 10 件であった。国外の推定感染地域別では、南アジア 2 件、アフリカ 2 件、南アメリカ 2 件、東アジア 1 件、中央アジア 1 件、オセアニア 1 件、複数地域 1 件で、推定感染国別では、韓国、インド、パキスタン、ウズベキスタン、エジプト、モザンビーク、アルゼンチン、ブラジル、オーストラリア、ネパール/ハワイが各 1 件であった。

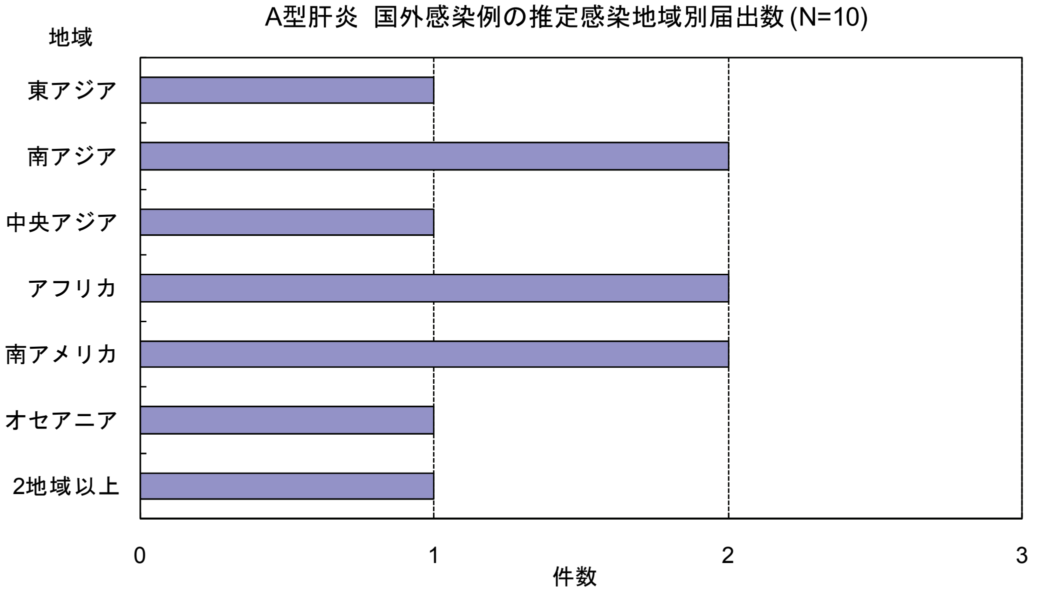
推定感染経路は飲食物による経口感染 18 件、その他（不明）6 件であった。飲食物による経口感染 18 件のうち推定原因食材は、貝類が 4 件（22%）、その他の魚介類が 2 件（11%）、果物が 1 件（6%）、不明 11 件（61%）であった。

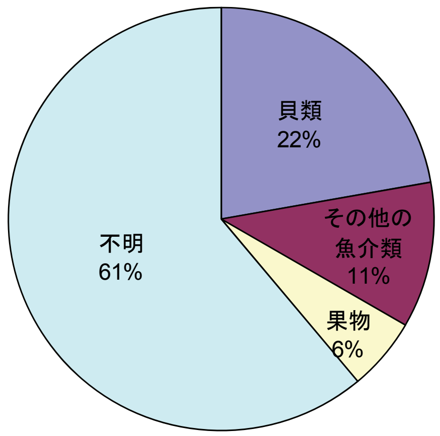
A型肝炎　週別届出数 (N=24)



A型肝炎　性別・年齢階級別届出数 (N=24)







③ エキノコックス症

エキノコックス症は 1 件届出があった。

症例は 60 歳代女性で、感染地及び感染経路ともに不明である。

エキノコックス症 （N=1）

受理日	受理週	性別	年齢	原因寄生虫種	症状	推定感染地	推定感染経路
1/9	2	女	67	単包条虫	肝臓の画像異常所見	不明	不明

④　オウム病

オウム病は 1 件届出があった。

症例は 50 歳代女性、推定感染地は国内で、インコからの感染が疑われている。

オウム病 （N=1）

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染原因
5/16	20	女	51	呼吸困難	国内	インコ

⑤　Ｑ熱

Ｑ熱は 1 件届出があった。

症例は 50 歳代女性で、塵埃感染が疑われている。

Q熱 （N=1）

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
6/12	24	女	54	発熱、全身倦怠感	国内	塵埃感染

⑥　コクシジオイデス症

コクシジオイデス症は 1 件届出があった。

症例は 10 歳代女性で、推定感染地はアメリカである。

Q熱 （N=1）

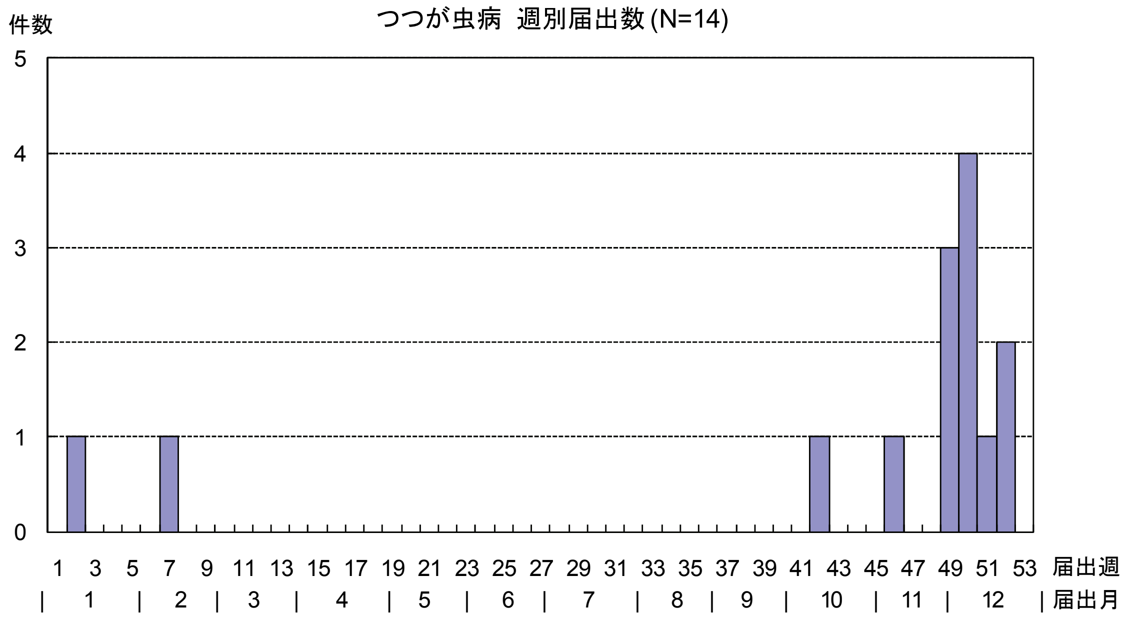
受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
1/13	3	女	19	発熱、咳、胸部結節性病変、胸部空洞性病変、全身播種	アメリカ	塵埃感染（砂漠等）

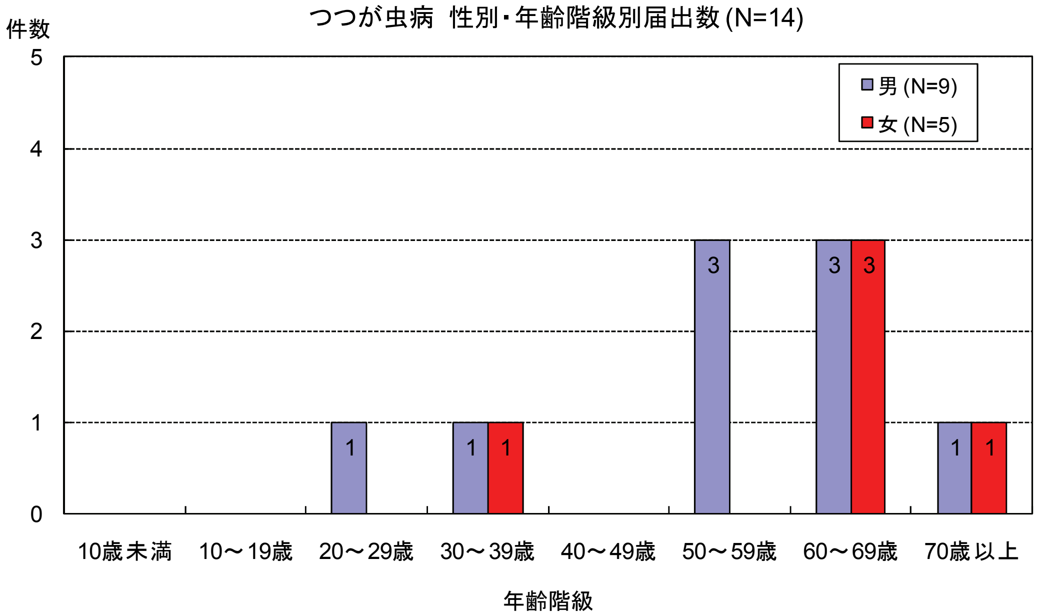
⑦　つつが虫病

つつが虫病は 14 件届出があった。

性別は男性 9 人、女性 5 人で、年齢別は 20 歳代 1 人、30 歳代 2 人、50 歳代 3 人、60 歳代 6 人、70 歳以上 2 人であった。

推定感染地は東京都 12 件（島しょ地域 9 件、多摩地域 2 件、特別区 1 件）、栃木県 1 件、静岡県 1 件であった。


つつが虫病　週別届出数 (N=14)
件数
5
4
3
2
1
0
1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 届出週
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 届出月


つつが虫病　性別･年齢階級別届出数 (N=14)
件数
5
4
3
2
1
0
男 (N=9)
女 (N=5)
1
1
1
3
3
3
1
1
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級

つつが虫病 （N=14）

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	媒介動物との接触状況
1/9	2	男	68	発疹	島しょ地域	
2/10	7	男	67	発熱、刺し口、リンパ節腫脹	島しょ地域	
10/15	42	女	34	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹	静岡県	
11/12	46	男	54	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹	多摩地域	
11/30	49	男	50	頭痛、発熱、刺し口、発疹、関節痛	島しょ地域	
11/30	49	女	64	発熱、刺し口、発疹、関節痛	島しょ地域	
12/2	49	男	71	発熱、刺し口	島しょ地域	
12/8	50	女	79	発熱、刺し口、発疹	多摩地域	
12/9	50	男	33	頭痛、発熱、リンパ節腫脹	特別区	
12/11	50	男	50	頭痛、発熱、刺し口、発疹、咽頭痛	島しょ地域	
12/11	50	女	60	頭痛、発熱、発疹	島しょ地域	
12/14	51	男	61	頭痛、発熱、刺し口、発疹	栃木県	道路脇の泥濘で作業
12/22	52	女	69	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹	島しょ地域	庭作業
12/22	52	男	23	発熱、刺し口、発疹	島しょ地域	

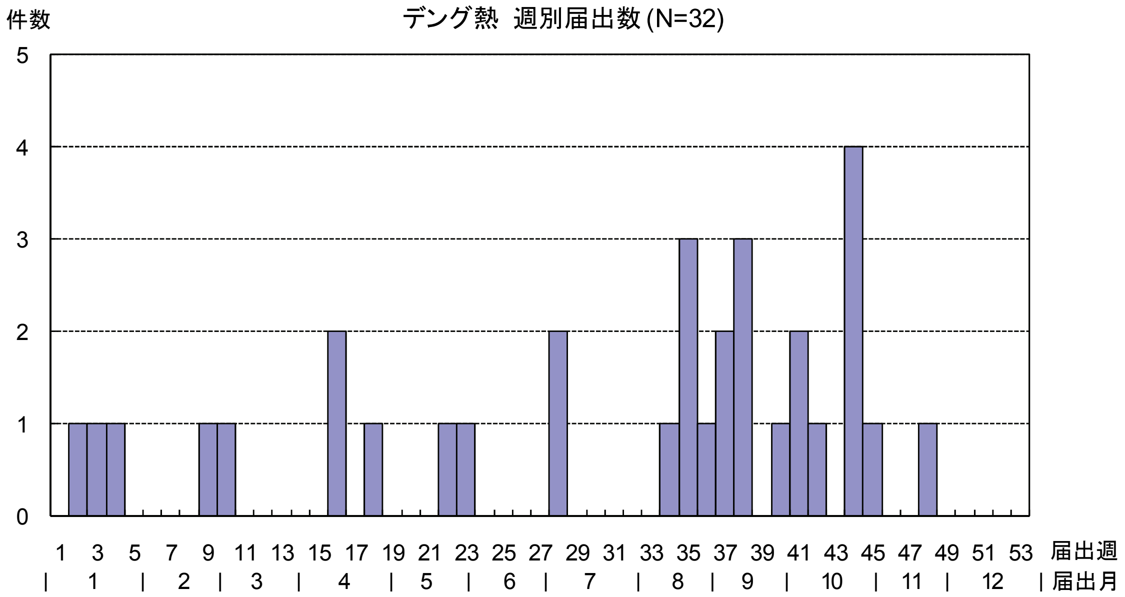
⑧　デング熱

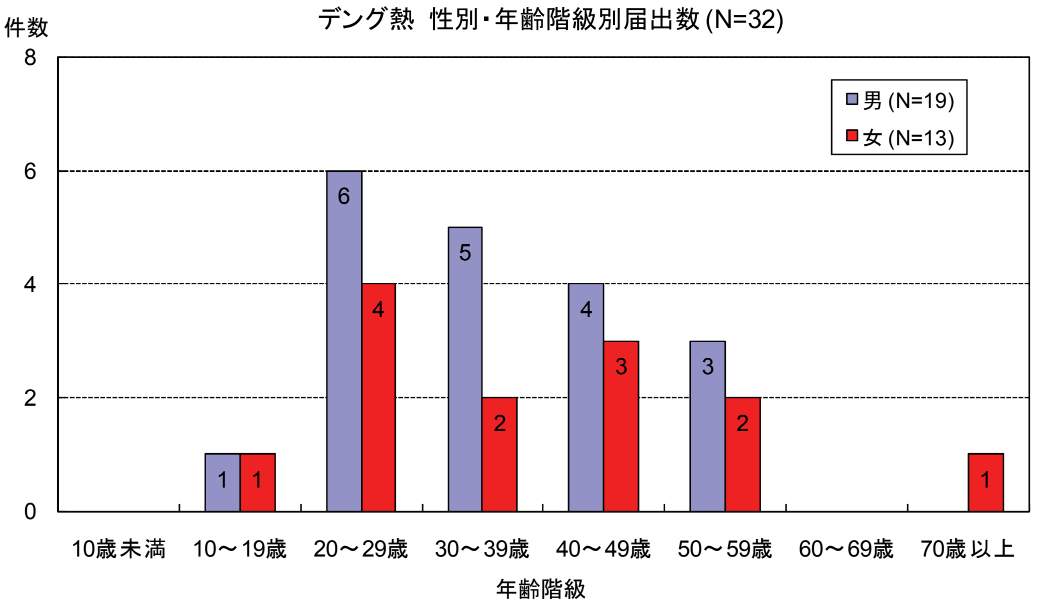
デング熱は32件届出があり、そのうち1件はデング出血熱であった。

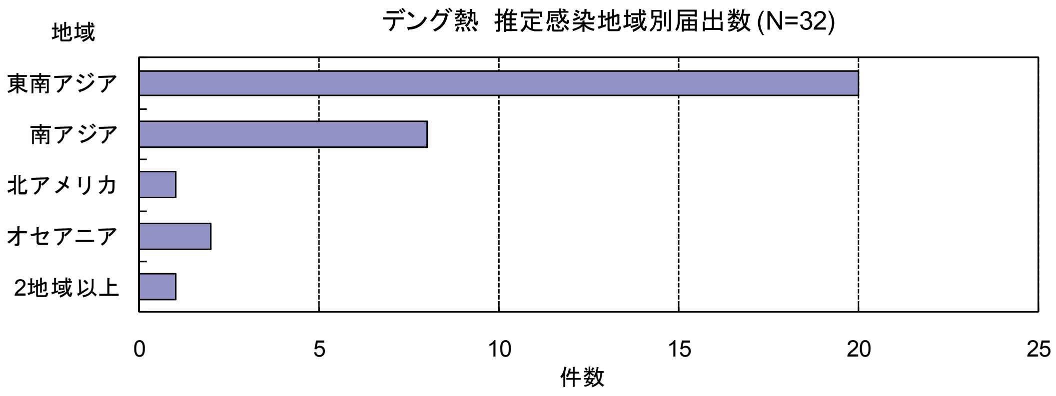
性別は男性19人、女性13人で、年齢別は10歳代2人、20歳代10人、30歳代7人、40歳代7人、50歳代5人、70歳以上1人であった。

推定感染地は全て国外で、推定感染地域別では、東南アジア20件、南アジア8件、北アメリカ1件、オセアニア2件、2地域以上1件であった。推定感染国別ではインド6件、インドネシア6件、マレーシア4件、ベトナム2件、ミャンマー2件、フィリピン2件、スリランカ2件、カンボジア1件、タイ1件、シンガポール1件、東ティモール1件、メキシコ1件、パプアニューギニア1件、トンガ1件、ベトナム/ラオス/カンボジア1件であった。

血清型は13件について報告されており、1型3件、2型5件、3型2件、4型3件であった。


件数
デング熱 週別届出数 (N=32)
届出週
届出月


件数
デング熱 性別・年齢階級別届出数 (N=32)
男 (N=19)
女 (N=13)
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級


地域
デング熱 推定感染地域別届出数 (N=32)
東南アジア
南アジア
北アメリカ
オセアニア
2地域以上
件数

デング出血熱 （N=1）

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	血清型
11/24	48	男	36	発熱、全身の筋肉痛、血小板減少、白血球減少、出血、ヘマトクリットの上昇	ベトナム	不明

⑨ ブルセラ症

ブルセラ症は 1 件届出があった。

症例は 10 歳代女性で、推定感染地はインド、推定感染経路は飲食物（チーズ）による経口感染である。

ブルセラ症 （N=1）

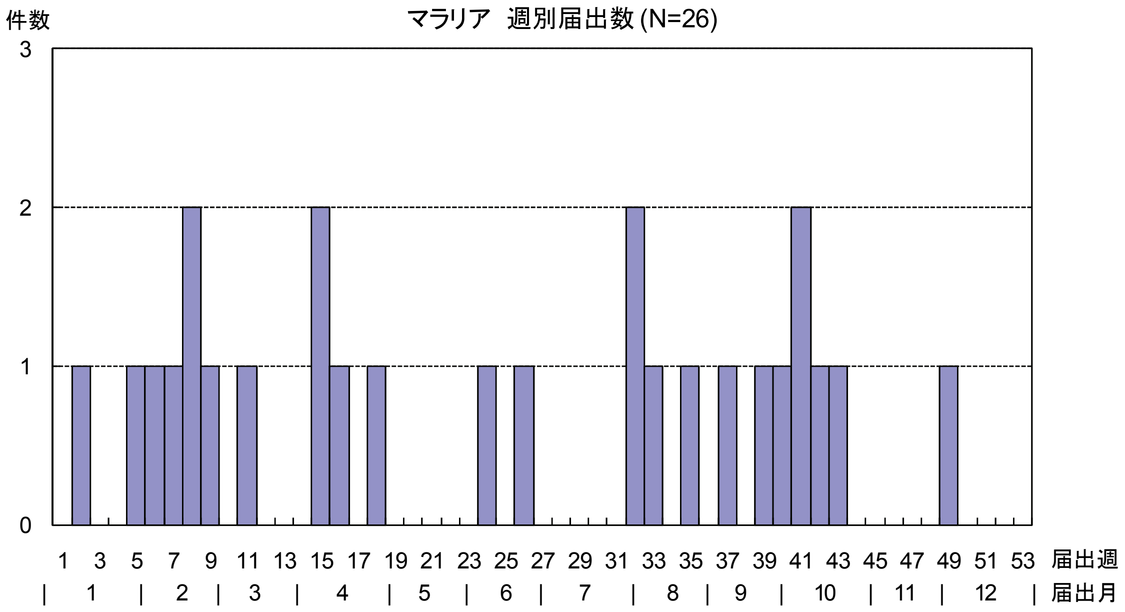
受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
10/6	41	女	17	発熱、脾腫、肝腫大、リンパ節腫脹、関節炎	インド	飲食物による経口感染（チーズ）

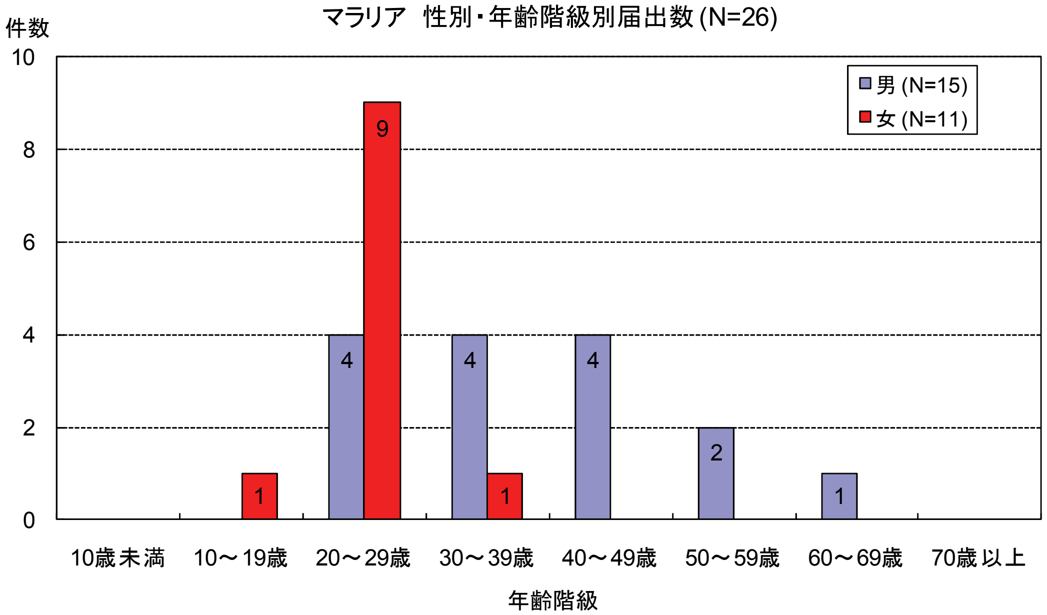
⑩ マラリア

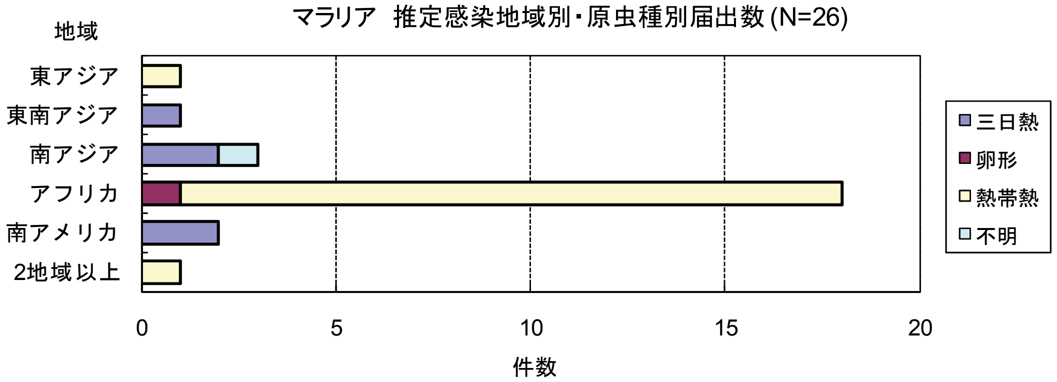
マラリアは 26 件届出があった。三日熱マラリア 5 件、卵形マラリア 1 件、熱帯熱マラリア 19 件、不明 1 件であった。

性別は男性 15 人、女性 11 人で、年齢別は 10 歳代 1 人、20 歳代 13 人、30 歳代 5 人、40 歳代 4 人、50 歳代 2 人、60 歳代 1 人であった。

推定感染地は全て国外で、推定感染地域別では、アフリカ 18 件、南アジア 3 件、南アメリカ 2 件、東アジア 1 件、東南アジア 1 件、2 地域以上 1 件であった。推定感染国別ではガーナ 6 件、ナイジェリア 3 件、インド 3 件、中国 1 件、インドネシア 1 件、マリ 1 件、ブルキナファソ 1 件、ギニア 1 件、シエラレオネ 1 件、ベナン 1 件、ケニア 1 件、ウガンダ 1 件、マラウイ 1 件、モザンビーク 1 件、仏領ギアナ 1 件、エクアドル 1 件、パプアニューギニア/オーストラリア 1 件であった。


マラリア 週別届出数 (N=26)
件数
3
2
1
0
1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 届出週
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 届出月


マラリア 性別・年齢階級別届出数 (N=26)
件数
10
8
6
4
2
0
男 (N=15)
女 (N=11)
1
4
9
4
1
4
2
1
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級


マラリア 推定感染地域別・原虫種別届出数 (N=26)
地域
東アジア
東南アジア
南アジア
アフリカ
南アメリカ
2地域以上
0
5
10
15
20
件数
三日熱
卵形
熱帯熱
不明

⑪　ライム病

ライム病は 1 件届出があった。

症例は 50 歳代女性で、ドイツでの感染が疑われている。

ライム病 （N=1）

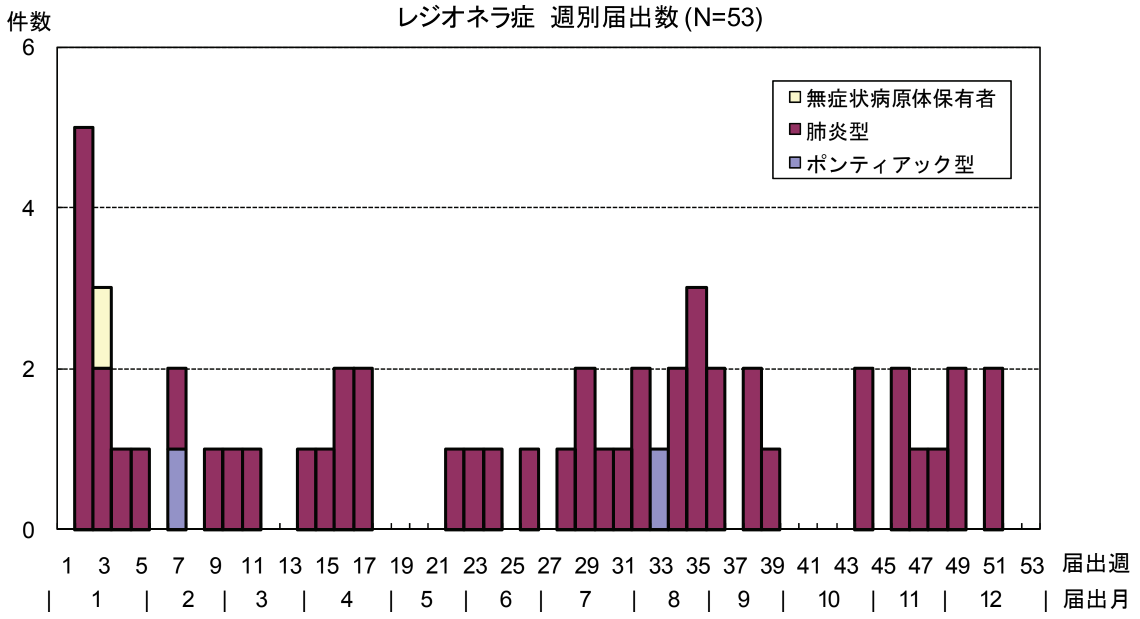
受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
7/29	31	女	52	なし	ドイツ	動物･蚊･昆虫等からの感染

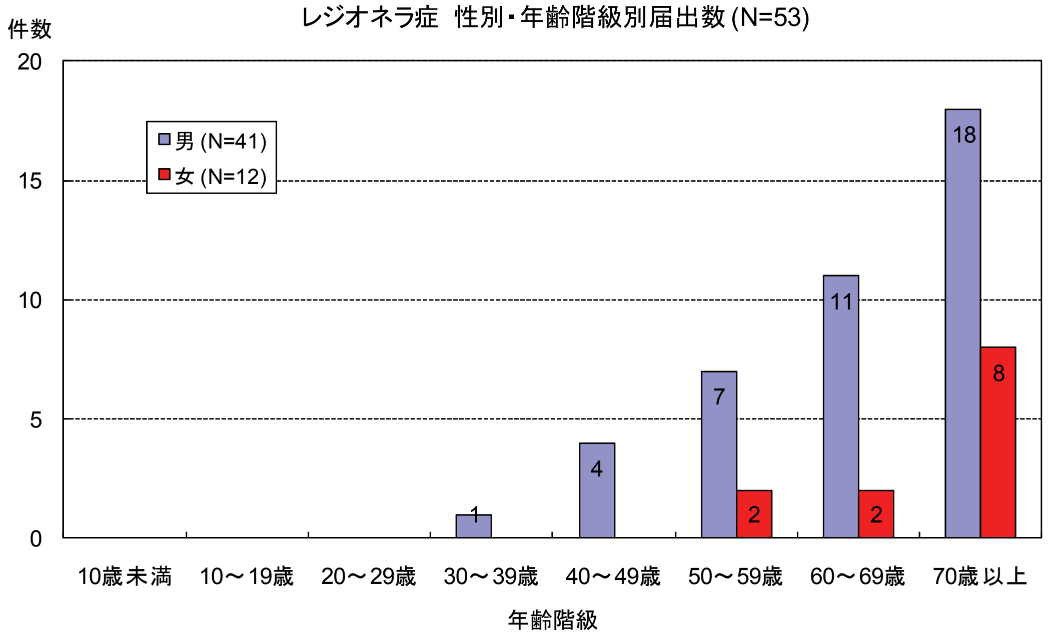
⑫　レジオネラ症

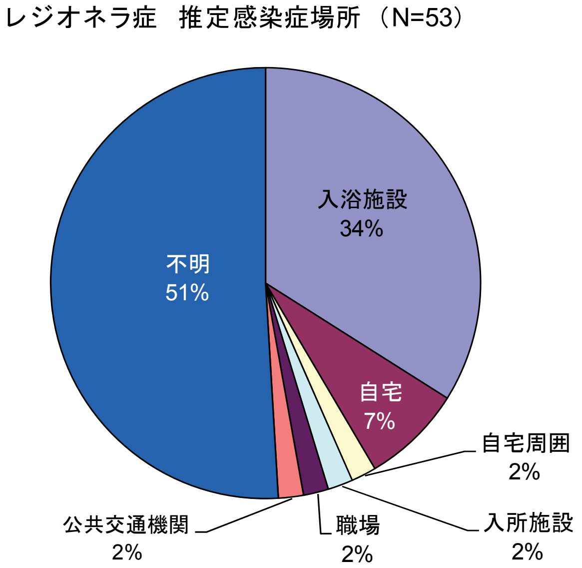
レジオネラ症は 53 件届出があった。肺炎型 50 件、ポンティアック型 2 件、無症状病原体保有者 1 件であった。

性別は男性 41 人、女性 12 人で、年齢別は 30 歳代 1 人、40 歳代 4 人、50 歳代 9 人、60 歳代 13 人、70 歳以上 26 人であった。

推定感染地は国内 49 件、国外 4 件（中国 3 件、トルコ 1 件）であった。温泉等入浴施設での感染が推定されているものは 18 件だった。







⑬　その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、狂犬病、サル痘、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 を除く）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、発しんチフス、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、ボツリヌス症、野兎病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱

オ　五類感染症（全数把握対象）

①　アメーバ赤痢

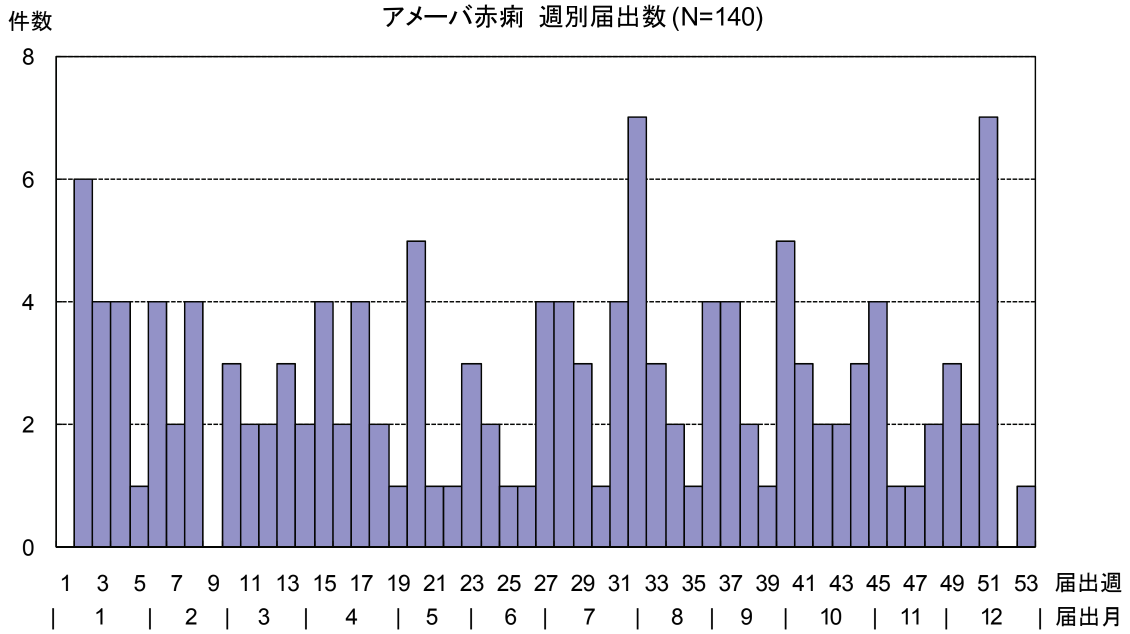
アメーバ赤痢は 140 件届出があった。腸管アメーバ症 115 件、腸管外アメーバ症 14 件、腸管及び腸管外アメーバ症 11 件であった。

性別は男性 121 人、女性 19 人で、年齢別は 20 歳代 9 人、30 歳代 43 人、40 歳代 35 人、50 歳代 29 人、60 歳代 20 人、70 歳以上 4 人であった。

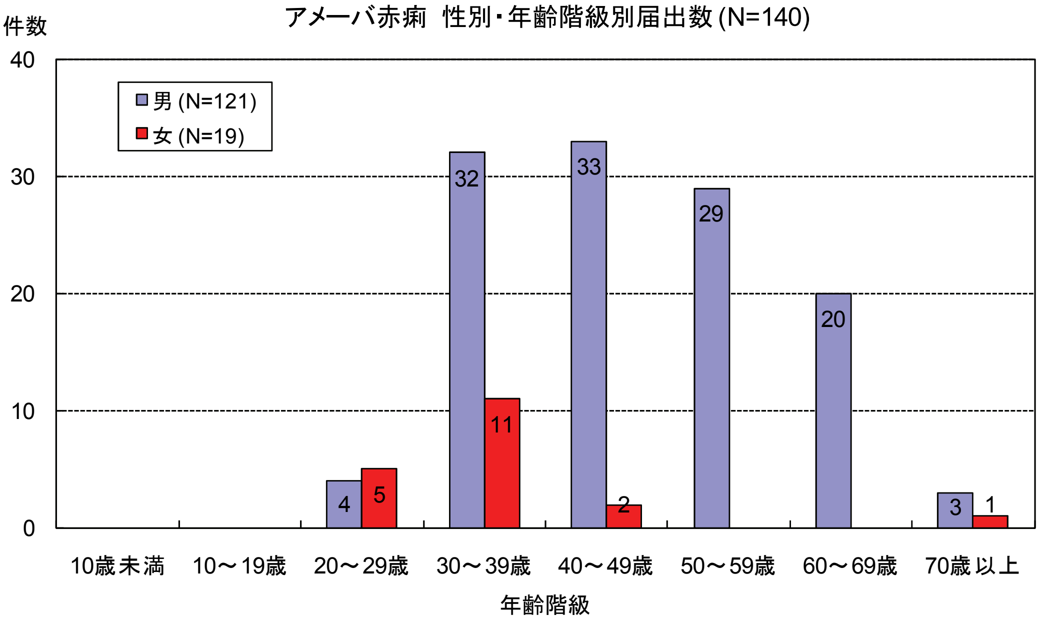
推定感染地は国内 121 件、国外 16 件、不明 3 件であった。国外感染例 16 件を推定感染地域別にみると、東南アジア 9 件、東アジア 2 件、北アメリカ 2 件、2 地域以上 1 件、渡航先不明 2 件で、推定感染国別にみると、インドネシア 3 件、中国 2 件、タイ 2 件、マレーシア 2 件、グアム 2 件、カンボジア 1 件、東南アジア 1 件、ベトナム/カンボジア 1 件、渡航先不明 2 件であった。

推定感染経路は性的接触 61 件（同性間 20 件、異性間 26 件、両性間 2 件、性別不明 13 件）、飲食物による経口感染 20 件、２経路以上 3 件、不明 56 件であった。

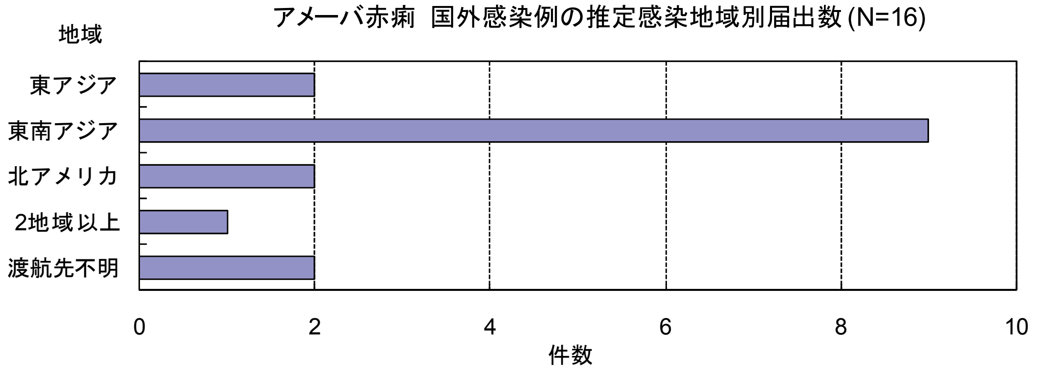
腸管アメーバ症であった 60 歳代男性の死亡が 1 件報告されており、経過等の詳細は不明であった。



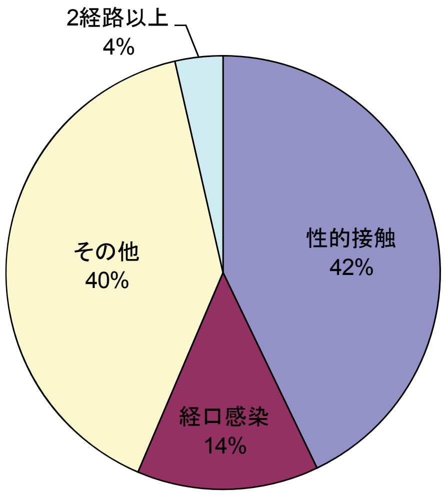
アメーバ赤痢 性別・年齢階級別届出数 (N=140)



アメーバ赤痢 国外感染例の推定感染地域別届出数 (N=16)



アメーバ赤痢 推定感染経路別割合 (N=140)



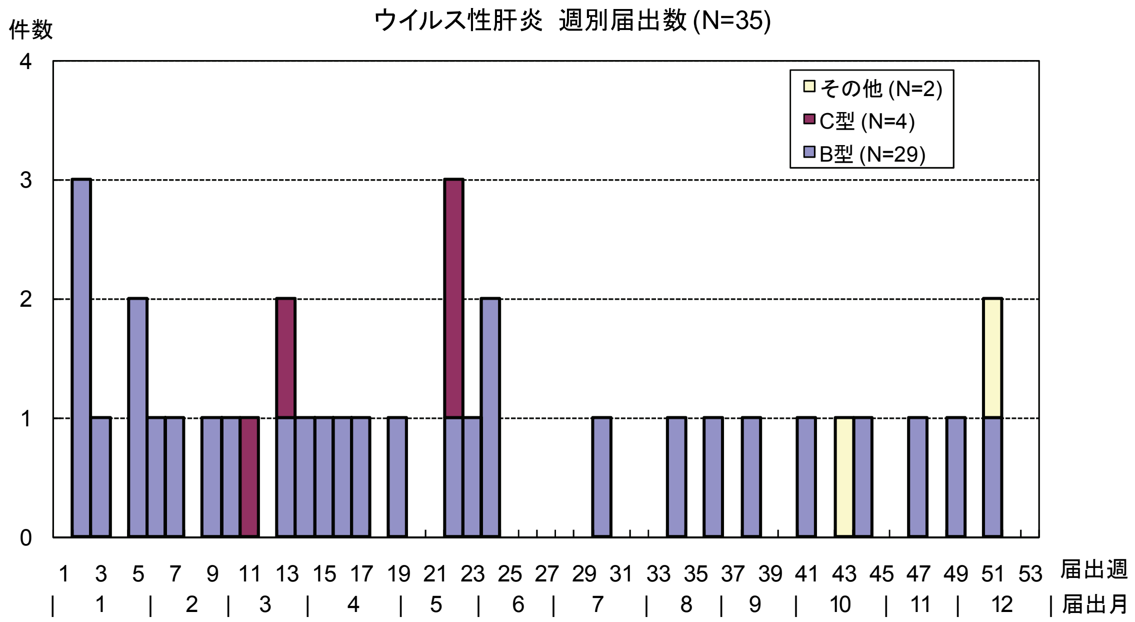
② ウイルス性肝炎（Ｅ型肝炎及びＡ型肝炎を除く。）

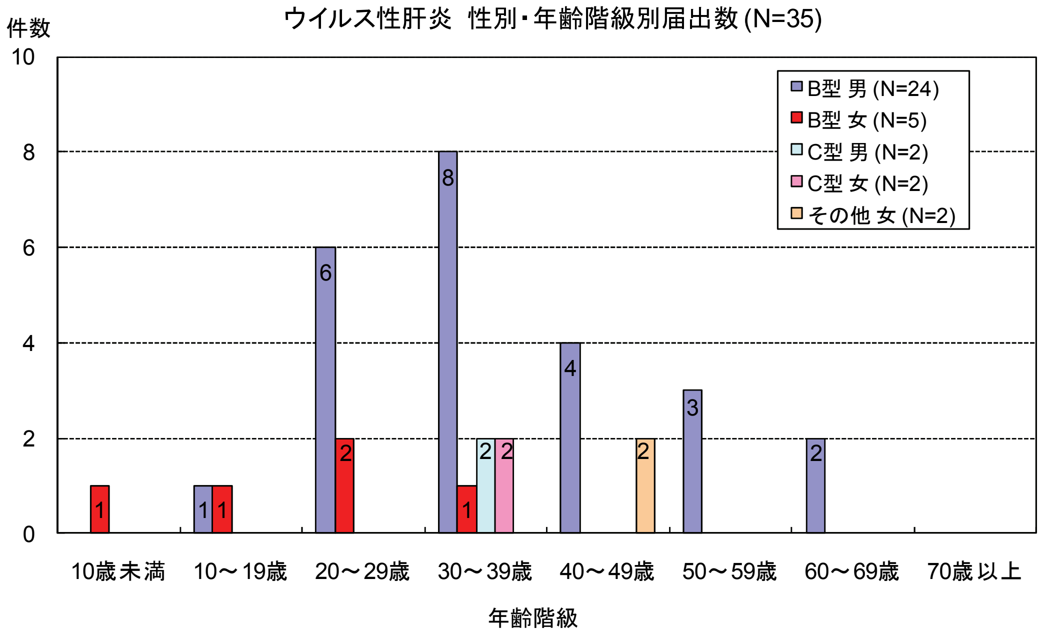
ウイルス肝炎は 35 件届出があった。B 型肝炎 29 件、C 型肝炎 4 件、その他 2 件（サイトメガロウイルス性肝炎）であった。

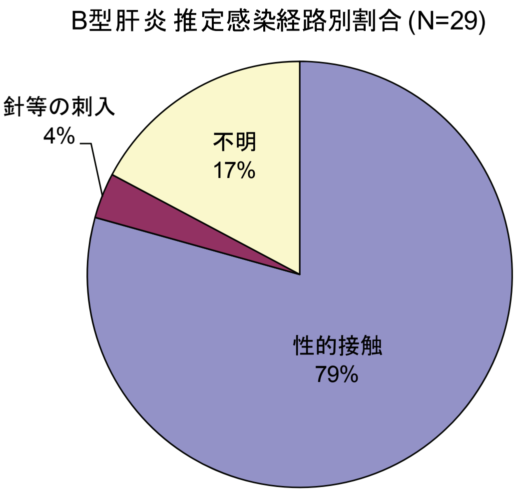
B 型肝炎 29 件について記述すると、性別は男性 24 件、女性 5 件で、年齢別は 10 歳未満 1 人、10 歳代 2 人、20 歳代 8 人、30 歳代 9 人、40 歳代 4 人、50 歳代 3 人、60 歳代 2 人であった。推定感染経路は性的接触 23 件（同性間 3 件、異性間 20 件）、針等の刺入 1 件、不明 5 件で、推定感染地は国内 25 件、国内/国外 2 件、インドネシア 1 件、中国/台湾 1 件であった。

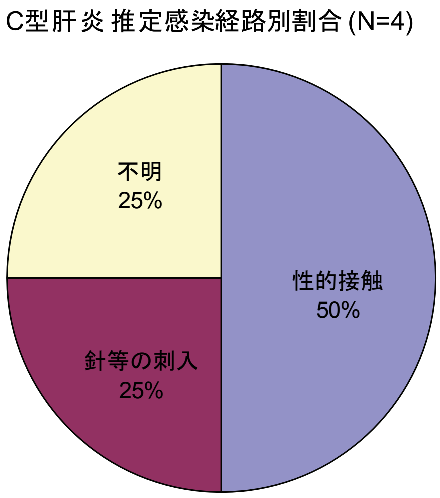
C 型肝炎 4 件について記述すると、性別は男性 2 件、女性 2 件で、年齢は全て 30 歳代であった。推定感染経路は同性間性的接触 2 件、針等の刺入 1 件、不明 1 件で、推定感染地は全て国内であった。

サイトメガロウイルス性肝炎の 2 件は、どちらも 40 歳代女性で、推定感染地は国内、感染経路は不明であった。







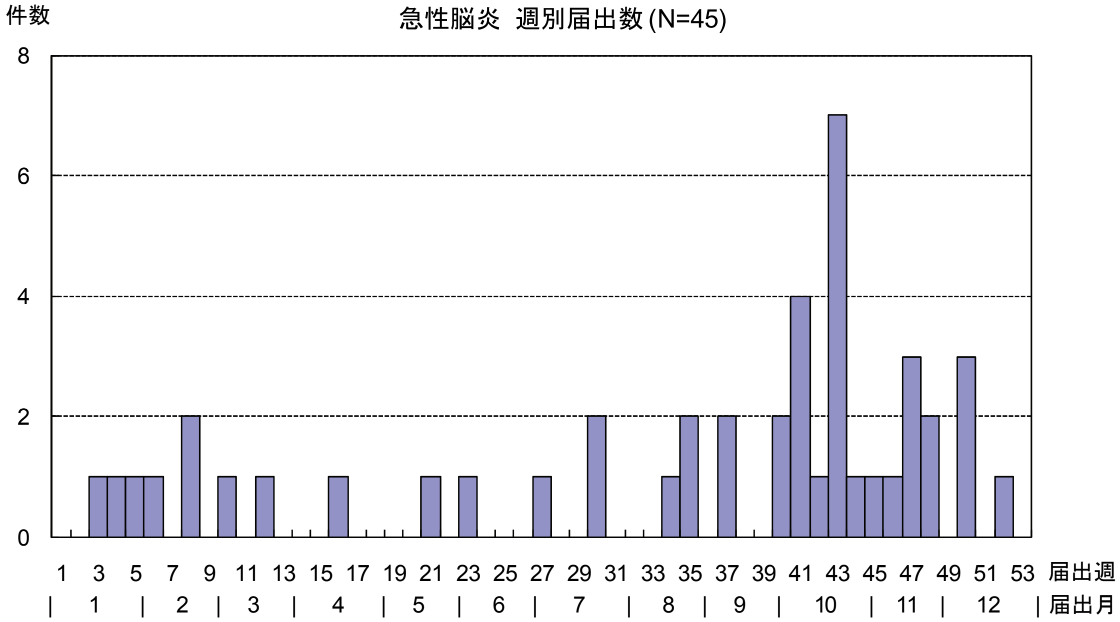


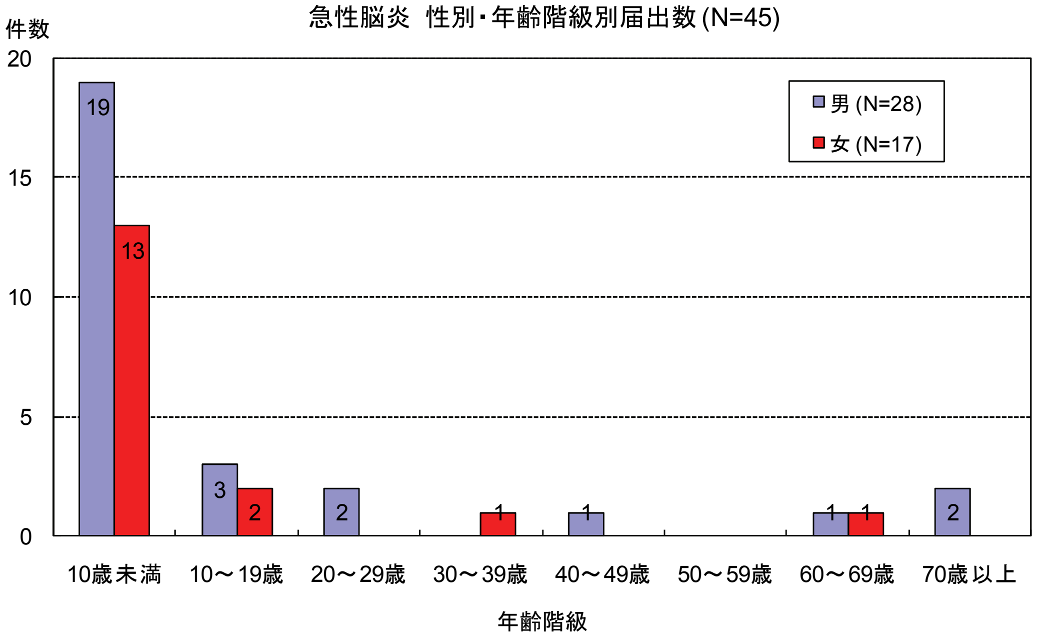
③ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

急性脳炎は 45 件届出があった。病原体は新型インフルエンザウイルス 22 件、インフルエンザウイルスA型 7 件、ヒトヘルペスウイルス 6 型 1 件、単純ヘルペスウイルス 1 件、エンテロウイルス 1 件、不明 13 件であった。

性別は男性 28 人、女性 17 人で、年齢別は 10 歳未満 32 人（うち 5 歳未満 17 人）、10 歳代 5 人、20 歳代 2 人、30 歳代 1 人、40 歳代 1 人、60 歳代 2 人、70 歳以上 2 人であった。推定感染地は全て国内であった。

死亡は 2 件（新型インフルエンザウイルス 1 件、病原体不明 1 件）報告された。


件数
急性脳炎 週別届出数 (N=45)
8
6
4
2
0
1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 届出週
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 届出月


急性脳炎 性別・年齢階級別届出数 (N=45)
件数
20
15
10
5
0
男 (N=28)
女 (N=17)
19
13
3
2
2
1
1
1
1
2
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級

急性脳炎 （N=45）

受理日	受理週	性別	年齢	病原体	症状・所見	推定感染地
1/13	3	男	41	インフルエンザウイルスA型	意識障害	国内
1/22	4	男	10	インフルエンザウイルスA型	発熱、痙攣、意識障害	国内
1/29	5	男	3	インフルエンザウイルスA型	発熱、痙攣、意識障害	国内
2/4	6	男	7	インフルエンザウイルスA型	発熱、痙攣、意識障害	国内
2/17	8	男	1	病原体不明	発熱、痙攣、意識障害	国内
2/20	8	男	1	インフルエンザウイルスA型	発熱、痙攣、意識障害	国内
3/4	10	女	4	インフルエンザウイルスA型	発熱、意識障害	国内
3/17	12	男	2	インフルエンザウイルスA型	発熱、痙攣、意識障害	国内
4/14	16	男	63	単純ヘルペスウイルス	発熱、意識障害、髄液細胞数の増加	国内
5/19	21	女	1	病原体不明	痙攣、意識障害	国内
6/1	23	男	1	病原体不明	痙攣、意識障害	国内
6/29	27	男	25	病原体不明	発熱、頭痛、項部硬直、意識障害、髄液細胞数の増加、膀胱直腸障害	国内
7/24	30	女	38	病原体不明	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加	国内
7/24	30	男	73	病原体不明	発熱、痙攣、意識障害	国内
8/17	34	男	5	エンテロウイルス	発熱、意識障害、下痢、腹痛、嘔気	国内
8/25	35	男	6	新型インフルエンザウイルス	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害	国内
8/25	35	男	78	病原体不明	発熱、項部硬直、痙攣、意識障害	国内
9/7	37	女	0	病原体不明	発熱、意識障害、心肺停止、死亡	国内
9/11	37	男	7	新型インフルエンザウイルス	発熱、意識障害	国内
9/28	40	男	1	ヒトヘルペスウイルス 6 型	発熱、痙攣、意識障害	国内
9/30	40	女	4	病原体不明	発熱、痙攣、意識障害、頭部 MRI で脳梁膨大部に一過性の異常信号	国内
10/6	41	男	5	新型インフルエンザウイルス	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害、死亡	国内
10/6	41	男	15	新型インフルエンザウイルス	発熱、項部硬直、痙攣、意識障害	国内
10/7	41	男	4	新型インフルエンザウイルス	発熱、嘔吐、意識障害	国内
10/8	41	女	8	新型インフルエンザウイルス	発熱、頭痛、嘔吐、痙攣、意識障害	国内
10/14	42	女	10	新型インフルエンザウイルス	発熱、幻覚、めまい	国内

受理日	受理週	性別	年齢	病原体	症状・所見	推定感染地
10/19	43	女	7	新型インフルエンザウイルス	発熱、痙攣、意識障害	国内
10/20	43	女	7	新型インフルエンザウイルス	発熱、意識障害	国内
10/20	43	男	5	新型インフルエンザウイルス	発熱、痙攣、意識障害	国内
10/21	43	男	4	新型インフルエンザウイルス	発熱、嘔吐、項部硬直、痙攣、意識障害	国内
10/21	43	男	7	病原体不明	発熱、頭痛、嘔吐、髄液細胞数の増加	国内
10/21	43	男	9	新型インフルエンザウイルス	発熱、痙攣、意識障害	国内
10/22	43	女	7	新型インフルエンザウイルス	発熱、痙攣	国内
10/26	44	男	14	新型インフルエンザウイルス	発熱、意識障害	国内
11/6	45	女	6	新型インフルエンザウイルス	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害	国内
11/11	46	女	3	新型インフルエンザウイルス	発熱、咳嗽、呼吸不全、退行	国内
11/18	47	女	5	新型インフルエンザウイルス	発熱、頭痛、意識障害	国内
11/19	47	女	4	新型インフルエンザウイルス	発熱、痙攣、意識障害	国内
11/19	47	男	7	新型インフルエンザウイルス	発熱、意識障害	国内
11/25	48	男	2	病原体不明	発熱、痙攣、意識障害	国内
11/27	48	女	10	新型インフルエンザウイルス	発熱、不随意運動	国内
12/7	50	男	4	新型インフルエンザウイルス	発熱、嘔吐、意識障害	国内
12/8	50	女	3	新型インフルエンザウイルス	発熱、痙攣、意識障害	国内
12/9	50	男	23	病原体不明	発熱、頭痛、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加	国内
12/24	52	女	63	病原体不明	発熱、意識障害	国内

④　クリプトスポリジウム症

クリプトスポリジウム症は4件届出があった。

性別は全て男性で、年齢別は20歳代2人、30歳代2人であった。

推定感染地はインド1件、カーボヴェルデ1件、ニカラグア1件、タイ/エチオピア/エジプト1件で、推定感染経路は飲食物による経口感染3件、飲食物による経口感染/水系感染1件であった。

クリプトスポリジウム症 （N=4）

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
3/30	14	男	22	下痢	インド	飲食物（生野菜）による経口感染
10/13	42	男	20	下痢	タイ/エチオピア/エジプト	飲食物による経口感染/水系感染
11/13	46	男	35	下痢	ニカラグア	飲食物（寿司）による経口感染
11/25	48	男	38	下痢	カーボヴェルデ	飲食物による経口感染

⑤　クロイツフェルト・ヤコブ病

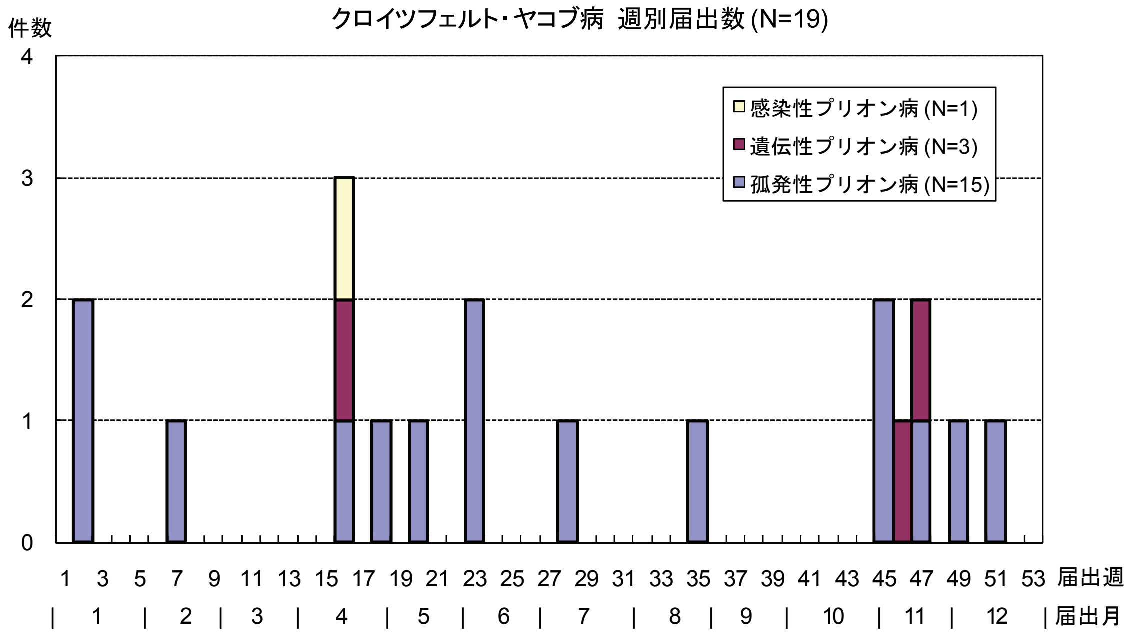
クロイツフェルト・ヤコブ病は19件届出があった。孤発性プリオン病・古典型CJD 15件（確実1件、ほぼ確実13件、疑い1件）、遺伝性プリオン病・家族性CJD3件（ほぼ確実1件、疑い2件）、感染性プリオン病・医原性CJD1件（ほぼ確実1件）であった。

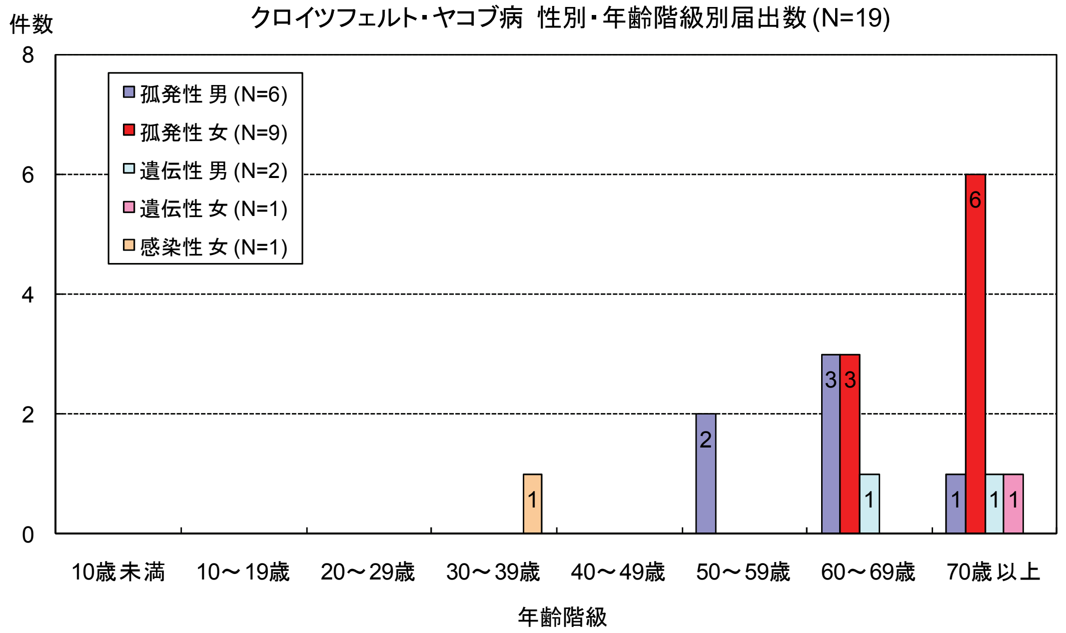
性別は男性が8人、女性が11人で、年齢別は30歳代1人、50歳代2人、60歳代7人、70歳以上9人であった。

症状は進行性認知症19件（100%）、ミオクローヌス16件（84.2%）、錐体路症状11件（57.9%）、錐体外路症状12件（63.2%）、小脳症状8件（42.1%）、視覚異常7件（36.8%）、無動性無言状態12件（63.2%）、記憶障害15件（78.9%）、精神・知能障害16件（84.2%）、臨床的に頑固な不眠4件（21.1%）、異常感覚4件（21.1%）、痙性対麻痺5件（26.3%）、筋強剛9件（47.4%）、その他（言語障害1件、膀胱障害1件、眼球クローヌス1件）3件（15.8%）であった。

異常プリオン蛋白の検出及びプリオン蛋白遺伝子検査（コドンの多型・異常）による診断がなされていたのは1件（古典型CJD）、プリオン蛋白遺伝子検査による診断がなされていたのは4件であった（古典型CJD2件、家族性CJD1件、医原性CJD1件）。

70歳以上の症例（遺伝性プリオン病・家族性CJD）の死亡が1件報告された。


クロイツフェルト・ヤコブ病　週別届出数 (N=19)
件数
感染性プリオン病 (N=1)
遺伝性プリオン病 (N=3)
孤発性プリオン病 (N=15)
届出週
届出月


クロイツフェルト・ヤコブ病　性別・年齢階級別届出数 (N=19)
件数
孤発性 男 (N=6)
孤発性 女 (N=9)
遺伝性 男 (N=2)
遺伝性 女 (N=1)
感染性 女 (N=1)
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級

クロイツフェルト・ヤコブ病 （N=19）

#	受理日	受理週	性別	年齢	病型	確実度	推定感染地	推定感染経路
1	1/5	2	男	76	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
2	1/8	2	男	69	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
3	2/10	7	女	76	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内	
4	4/13	16	女	79	孤発性-古典型 CJD	疑い		
5	4/13	16	男	78	遺伝性-家族性 CJD	ほぼ確実		
6	4/13	16	女	34	感染性-医原性 CJD	ほぼ確実	国内	ヒト乾燥硬膜
7	4/27	18	男	54	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内	
8	5/15	20	男	59	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内	
9	6/4	23	女	61	孤発性-古典型 CJD	確実		
10	6/5	23	男	63	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
11	7/9	28	女	66	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内	
12	8/26	35	女	78	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内	観血的処置
13	11/6	45	女	72	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
14	11/6	45	女	61	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内	
15	11/13	46	女	86	遺伝性-家族性 CJD	疑い		
16	11/17	47	男	67	遺伝性-家族性 CJD	疑い	国内	
17	11/19	47	男	68	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
18	12/1	49	女	70	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内	
19	12/16	51	女	72	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内	

クロイツフェルト・ヤコブ病 （N=19） 別表

#	発病日	初診日	診断日	症状														診断方法		
				進行性認知症	ミオクローヌス	錐体路症状	錐体外路症状	小脳症状	視覚異常	無動性無言状態	記憶障害	精神・知能障害	臨床的に頑固な不眠	異常感覚	痙性対麻痺	筋強剛	その他	脳波 PSD	脳 MRI	14-3-3 蛋白
1	20081000	20081203	20081226	＋	＋	＋	＋			＋		＋						＋	＋	
2	20070800	20080924	20081211	＋	＋		＋			＋	＋	＋				＋		＋		
3	20081100	20081226	20090205	＋	＋	＋	＋		＋	＋	＋	＋				＋		＋	＋	
4	20090102	20090116	20090409	＋	＋					＋	＋						＋		＋	
5	20081200	20080205	20090402	＋		＋	＋				＋	＋			＋	＋				
6	20081100	20090125	20090210	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋		＋	＋	＋
7	20081000	20090129	20090422	＋	＋			＋			＋	＋						＋		
8	20090100	20090410	20090514	＋				＋		＋	＋	＋	＋					＋	＋	
9	20080700	20090526	20090604	＋	＋				＋		＋						＋	＋	＋	＋
10	20080700	20090218	20090602	＋	＋	＋	＋	＋			＋					＋	＋	＋	＋	
11	20081200	20090509	20090701	＋	＋	＋	＋		＋	＋	＋	＋				＋		＋	＋	＋
12	20090601	20090805	20090826	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋		＋	＋	
13		20091027	20091028	＋	＋	＋		＋	＋	＋		＋				＋		＋	＋	
14	20090700	20091019	20091102	＋	＋	＋	＋			＋		＋		＋	＋			＋	＋	
15	20081200	20091023	20091104	＋	＋		＋				＋	＋								
16	20090700	20081031	20091114	＋					＋		＋	＋							＋	
17	20090910	20091118	20091119	＋	＋	＋	＋	＋		＋	＋	＋	＋		＋			＋		
18		20091109	20091124	＋	＋	＋	＋			＋	＋	＋				＋		＋	＋	
19	20090900	20090911	20091208	＋	＋			＋				＋		＋				＋	＋	
計				19	16	11	12	8	7	12	15	16	4	4	5	9	3	15	14	3

※異常プリオン蛋白の検出による診断（1 件）

#9 シナプス型

※プリオン蛋白遺伝子検査による診断（5 件）

#3 コドン 129 の多型（M/M）、コドン 219 の多型（E/E）
#5 コドン 129 の多型（M/M）、コドン 180 の異常
#6 コドン 129 の多型（M/M）、コドン 219 の多型（E/E）
#9 コドン 129 の多型（M/M）
#19 コドン 129 の多型（M/M）

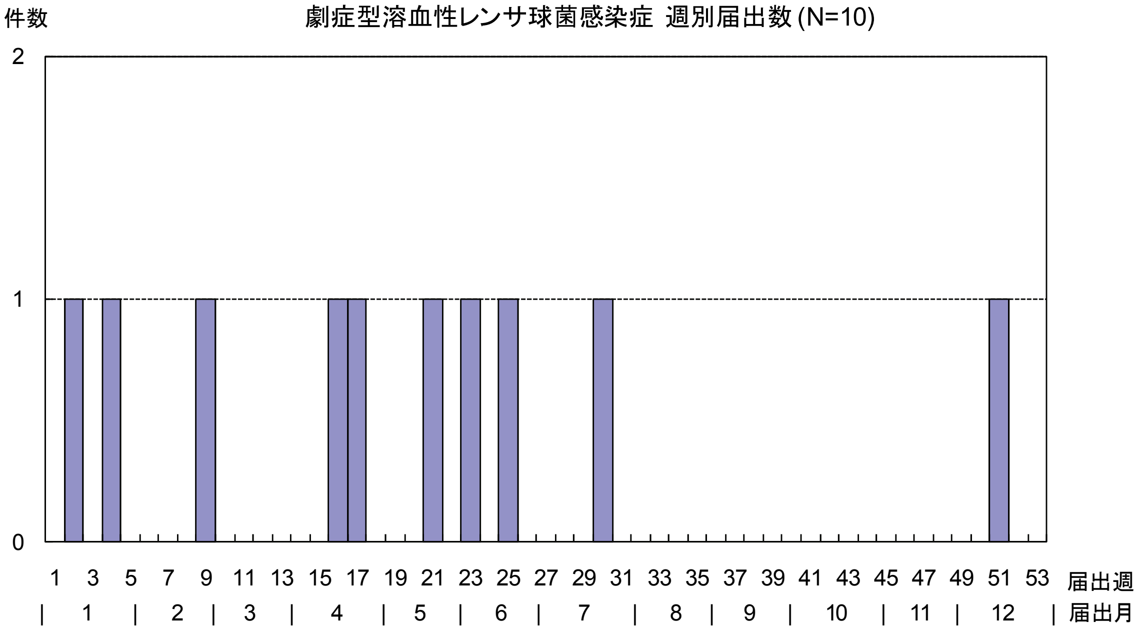
⑥　劇症型溶血性レンサ球菌感染症

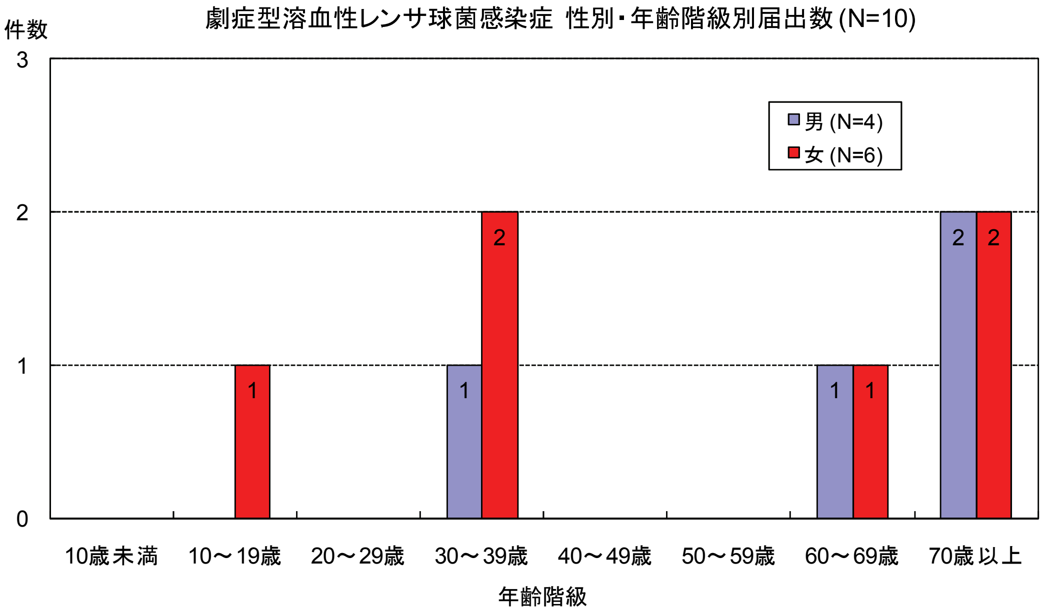
劇症型溶血性レンサ球菌感染症は 10 件届出があった。血清群別は A 群 5 件、B 群 1 件、G 群 2 件、不明 2 件であった。

性別は男性 4 人、女性 6 人で、年齢別は 10 歳代 1 人、30 歳代 3 人、60 歳代 2 人、70 歳以上 4 人であった。

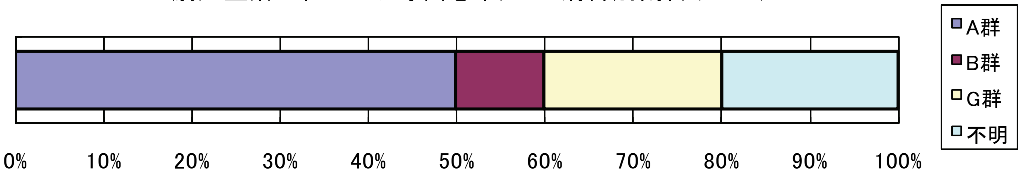
推定感染地は全て国内で、推定感染原因は、創傷感染 5 件、飛沫・飛沫核感染 1 件、接触/創傷感染 1 件、その他 3 件であった。

死亡は 2 件（60 歳代 1 件、70 歳以上 1 件）報告された。





劇症型溶血性レンサ球菌感染症 血清群別割合(N=10)



劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (N=10)

受理日	受理週	性別	年齢	血清群	症状	推定感染原因	備考
1/5	2	男	73	A 群	ショック、肝不全、DIC、軟部組織炎	創傷感染(右膝)	死亡
1/21	4	女	77	B 群	ショック、肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC、軟部組織炎、全身性紅斑性発疹、中枢神経症状	創傷感染(仙骨褥瘡)	
2/25	9	女	19	不明	ショック、腎不全、DIC、中枢神経症状	飛沫・飛沫核感染	
4/15	16	男	61	A 群	ショック、肝不全、腎不全、DIC	その他(足白癬)	死亡
4/20	17	女	34	A 群	ショック、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状	不明	
5/22	21	女	76	G 群	ショック、腎不全、DIC、中枢神経症状	創傷感染(類天疱瘡瘢痕)	
6/3	23	女	62	G 群	ショック、腎不全、DIC、軟部組織炎	創傷感染(下腹部擦過傷)	
6/16	25	女	35	A 群	ショック、腎不全、中枢神経症状	接触感染(子供)/創傷感染(アトピー性皮膚炎)	
7/21	30	男	33	A 群	ショック、腎不全、軟部組織炎	創傷感染(左下肢)	
12/18	51	男	74	不明	ショック、軟部組織炎、中枢神経症状	不明	

⑦ 後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は 471 件届出があった。HIV 感染者 303 人、AIDS 患者 102 人、その他 66 人であった。

HIV・その他について記述すると、性別は男性 354 人、女性 15 人で、年齢別は 10 歳代 6 人、20 歳代 100 人、30 歳代 159 人、40 歳代 66 人、50 歳代 26 人、60 歳代 7 人、70 歳以上 5 人であった。

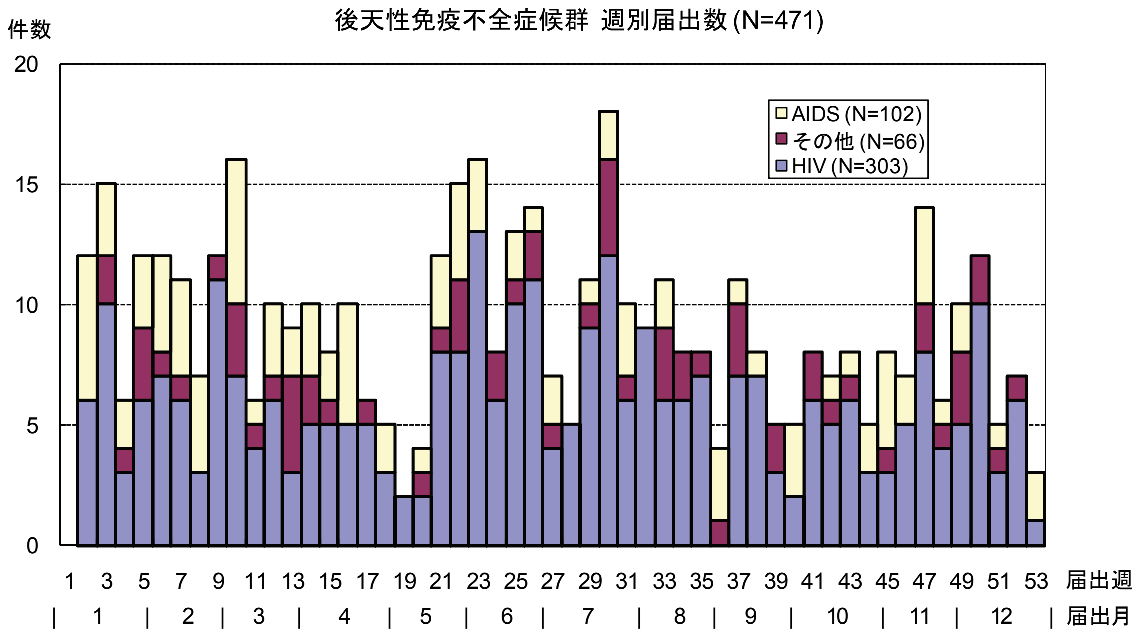
AIDS について記述すると、性別は男性 97 人、女性 5 人で、年齢別は 20 歳代 7 人、30 歳代 32 人、40 歳代 33 人、50 歳代 15 人、60 歳以上 10 人、70 歳以上 5 人であった。

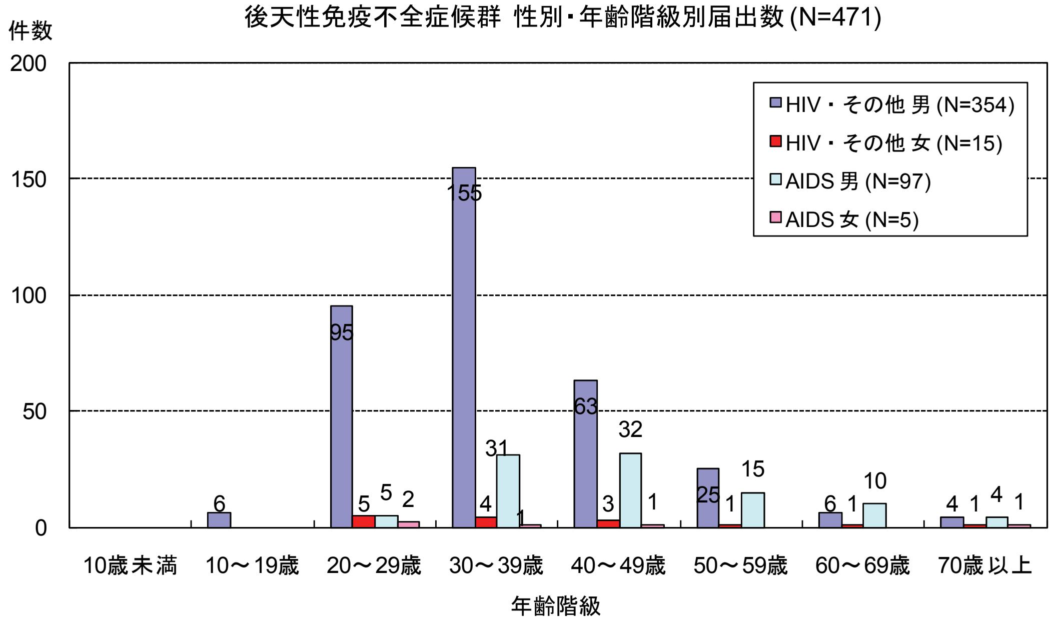
推定感染地は国内 393 件、国外 22 件、不明 56 件であった。国外感染例 22 件を推定感染地域別にみると、東南アジア 9 件、東アジア 4 件、北アメリカ 3 件、アフリカ 2 件、2 地域以上が 2 件、渡航先不明 2 件であった。推定感染国別にみると、タイ 4 件、インドネシア 3

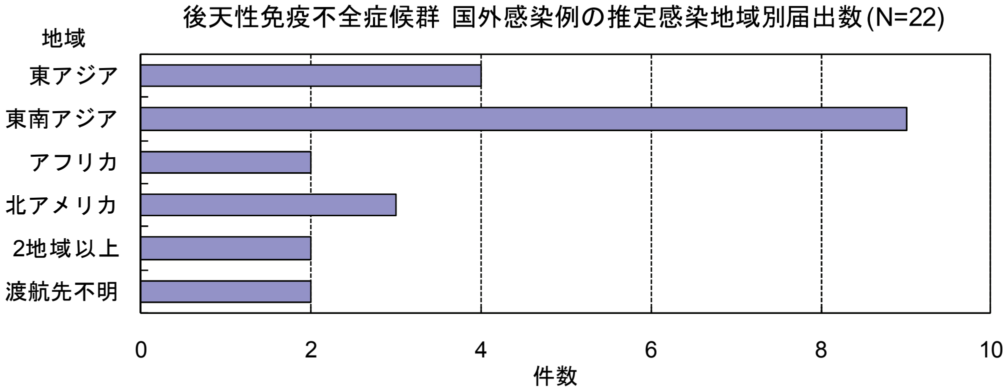
件、中国 3 件、アメリカ 2 件、エチオピア 1 件、ガーナ 1 件、カナダ 1 件、フィリピン 1 件、マレーシア 1 件、台湾 1 件、インドネシア/タイ 1 件、カンボジア/タイ 1 件、渡航先不明 2 件であった。

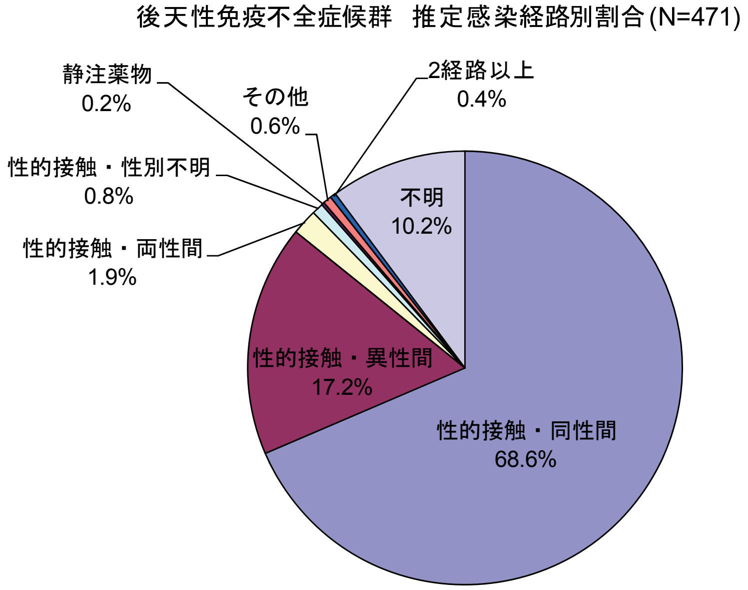
推定感染経路は性的接触 417 件（同性間 323 件、異性間 81 件、両性間 9 件、性別不明 4 件）、静注薬物 1 件、その他 3 件（血液の接触 2 件、注射針共用 1 件）、2 経路以上 2 件（同性間性的接触/静注薬物 1 件、異性間性的接触/静注薬物 1 件）、不明 48 件であった。

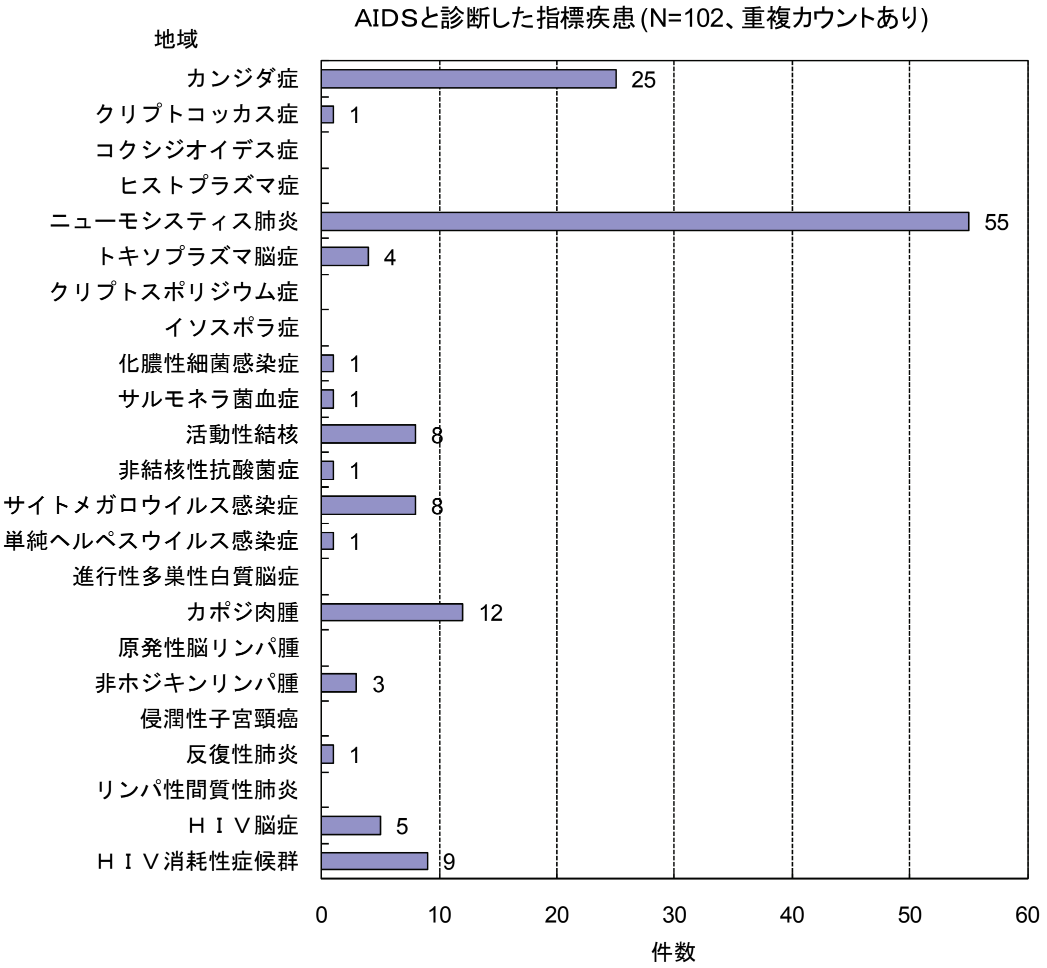
AIDS と診断した指標疾患は 102 件中、ニューモシスティス肺炎 55 件、カンジダ症 25 件、カポジ肉腫 12 件、HIV 消耗性症候群 9 件、活動性結核 8 件、サイトメガロウイルス感染症 8 件、HIV 脳症 5 件、トキソプラズマ脳症 4 件、非ホジキンリンパ腫 3 件、クリプトコッカス症 1 件、化膿性細菌感染症 1 件、サルモネラ菌血症 1 件、非結核性抗酸菌症 1 件、単純ヘルペスウイルス感染症 1 件、反復性肺炎 1 件であった。これらの中には複数疾患発症者の報告 21 件が含まれている（2 疾患 14 人、3 疾患 4 人、4 疾患 2 人、5 疾患 1 人）。死亡は 3 件報告された。




後天性免疫不全症候群 性別・年齢階級別届出数 (N=471)
件数
200
150
100
50
0
HIV・その他 男 (N=354)
HIV・その他 女 (N=15)
AIDS 男 (N=97)
AIDS 女 (N=5)
6
95
5
5
2
155
4
31
1
63
3
32
1
25
1
15
6
1
10
4
1
4
1
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級


後天性免疫不全症候群 国外感染例の推定感染地域別届出数 (N=22)
地域
東アジア
東南アジア
アフリカ
北アメリカ
2地域以上
渡航先不明
0
2
4
6
8
10
件数


後天性免疫不全症候群　推定感染経路別割合 (N=471)
静注薬物
0.2%
その他
0.6%
2経路以上
0.4%
性的接触・性別不明
0.8%
不明
10.2%
性的接触・両性間
1.9%
性的接触・異性間
17.2%
性的接触・同性間
68.6%



⑧　ジアルジア症

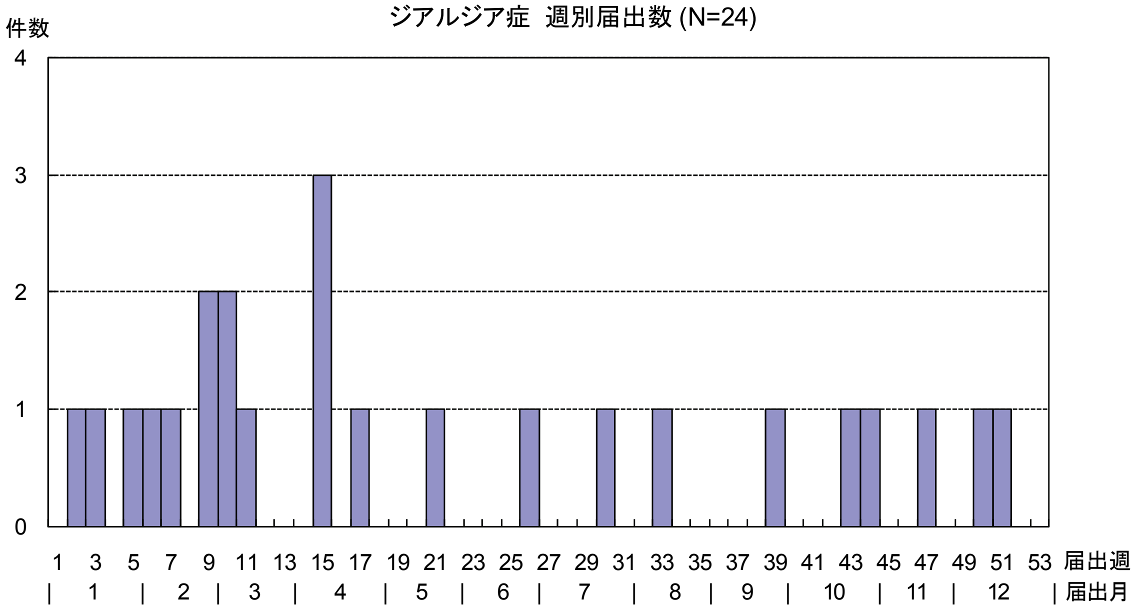
ジアルジア症は 24 件届出があった。

性別は男性 15 人、女性 9 人で、年齢別は 20 歳代 9 人、30 歳代 9 人、40 歳代 4 人、50 歳代 2 人であった。

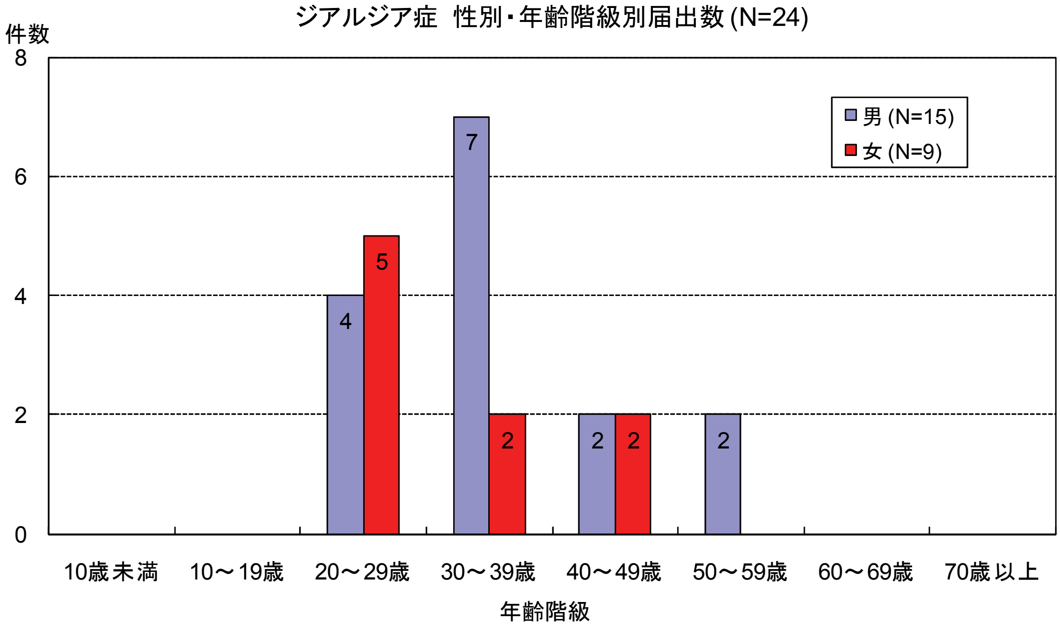
推定感染地は国内 6 件、国外 17 件、その他 1 件（国内/インドネシア）であった。国外感染例 17 件を推定感染地域別にみると、東南アジア 2 件、南アジア 7 件、アフリカ 5 件、ヨーロッパ 1 件、オセアニア 2 件で、推定感染国別にみると、インド 6 件、タイ 2 件、マラウイ 2 件、ケニア 1 件、ジブチ 1 件、パキスタン 1 件、バヌアツ 1 件、パプアニューギニア 1 件、フランス 1 件、ブルキナファソ 1 件であった。

推定感染経路は飲食物による経口感染 13 件、性的接触 2 件（異性間 1 件、両性間 1 件）、水系感染 1 件、飲食物による経口感染/水系感染 3 件、不明 5 件であった。

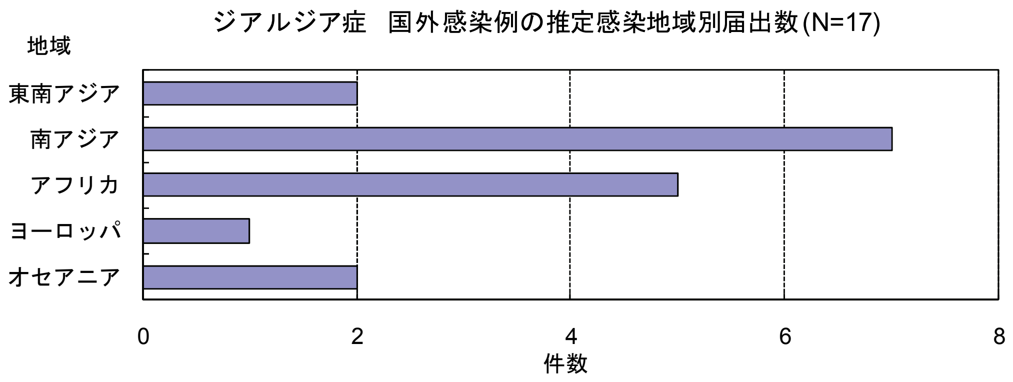
推定感染地タイの 1 件は、アメーバ赤痢にも重複感染していた。



ジアルジア症 週別届出数 (N=24)
件数
0
1
2
3
4
1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 届出週
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 届出月

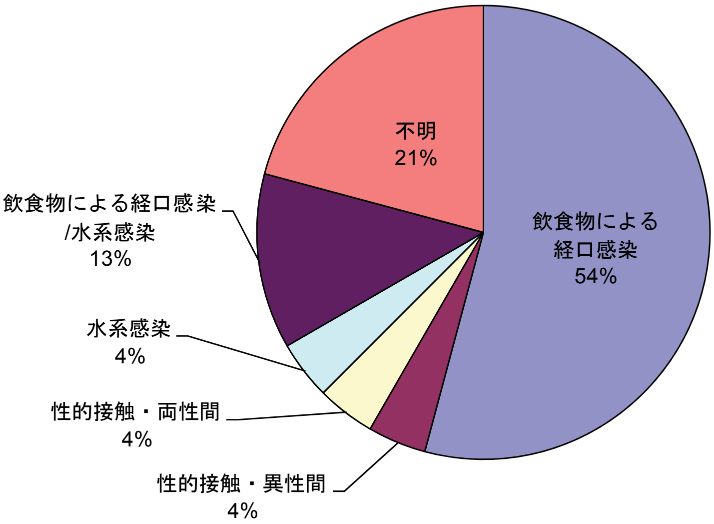


ジアルジア症 性別・年齢階級別届出数 (N=24)
件数
男 (N=15)
女 (N=9)
4
5
7
2
2
2
2
0
2
4
6
8
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級



ジアルジア症 国外感染例の推定感染地域別届出数 (N=17)
地域
東南アジア
南アジア
アフリカ
ヨーロッパ
オセアニア
0
2
4
6
8
件数

ジアルジア症　推定感染経路別割合 (N=24)



⑨　髄膜炎菌性髄膜炎

髄膜炎菌性髄膜炎は 1 件届出があった。血清群は Y 群であった。

70 歳以上の男性で、推定感染地は国内であった。

髄膜炎菌性髄膜炎 （N=1）

受理日	受理週	性別	年齢	血清群	症状	推定感染地	推定感染経路
5/28	22	男	74	Y群	頭痛、発熱、意識障害、項部硬直	国内	飛沫･飛沫核感染

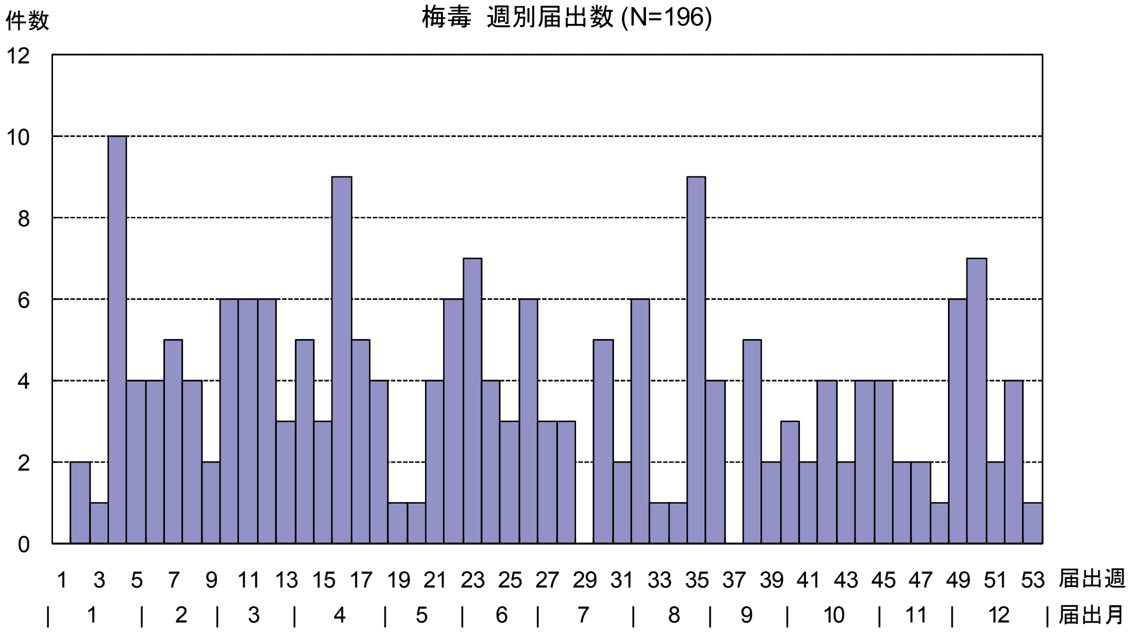
⑩　梅毒

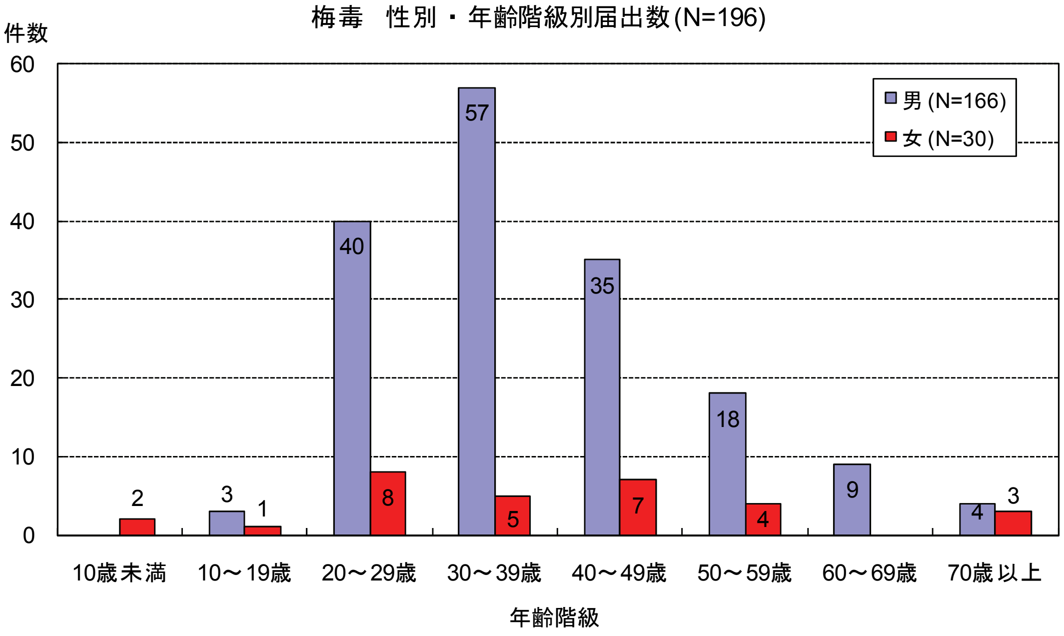
梅毒は 196 件届出があった。早期顕症梅毒 I 期 32 件、早期顕症梅毒 II 期 86 件、晩期顕症梅毒 8 件、先天梅毒 2 件、無症候 68 件であった。

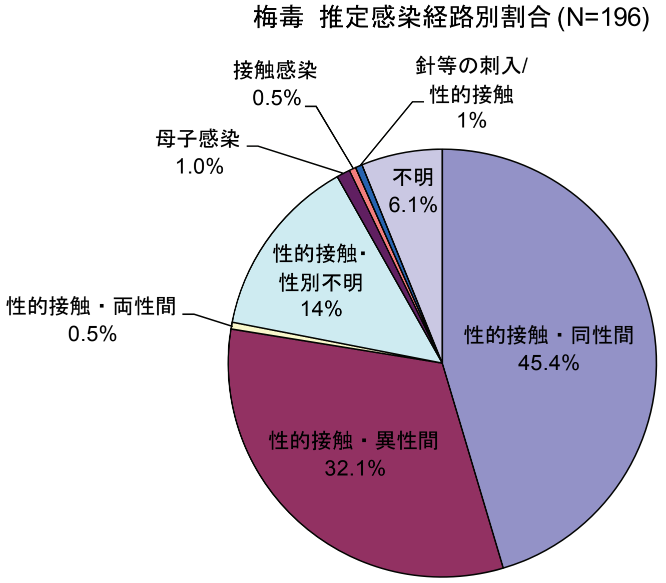
性別は男性 166 人、女性 30 人で、年齢別は 5 歳未満 2 人、10 歳代 4 人、20 歳代 48 人、30 歳代 62 人、40 歳代 42 人、50 歳代 22 人、60 歳代 9 人、70 歳以上 7 人であった。

推定感染地は国内 186 件、国外 7 件、その他 3 件（国内/中国 1 件、国内/アメリカ 1 件、国内/渡航先不明 1 件）で、国外感染例 7 件の内訳は、タイ 2 件、中国 2 件、フィリピン 1 件、ボツワナ 1 件、渡航先不明 1 件であった。

推定感染経路は性的接触 180 件（同性間 89 件、異性間 63 件、両性間 1 件、性別不明 27 件）、母子感染 2 件、接触感染 1 件、針等の刺入/性的接触 1 件、不明 12 件であった。


梅毒 週別届出数 (N=196)
件数
12
10
8
6
4
2
0
1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 届出週
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 届出月


梅毒 性別・年齢階級別届出数(N=196)
件数
60
50
40
30
20
10
0
男 (N=166)
女 (N=30)
2
3
1
40
8
57
5
35
7
18
4
9
4
3
10歳未満
10～19歳
20～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～69歳
70歳以上
年齢階級



⑪ 破傷風

破傷風は 7 件届出があった。

性別は男性 3 人、女性 4 人、年齢別は 20 歳代 1 人、40 歳代 1 人、50 歳代 1 人、60 歳代 2 人、70 歳以上 2 人であった。

破傷風 （2009 年 東京都 7 件）

受理日	受理週	性別	年齢	診断方法	症状	推定感染地	推定感染経路
1/5	2	女	44	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、発語障害、強直性痙攣、呼吸困難（痙攣性）、易興奮性、反弓緊張	国内	針等の鋭利なものの刺入による感染（美容整形手術）
4/24	17	男	58	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、強直性痙攣、呼吸困難（痙攣性）	国内	創傷感染（左手背の発赤・痂皮）
5/14	20	男	26	臨床決定	筋肉のこわばり、舌のもつれ、話しにくさ	国内	創傷感染（右手掌部の犬咬傷）
8/5	32	女	69	臨床決定	開口障害、嚥下障害、痙笑、強直性痙攣、呼吸困難（痙攣性）、反弓緊張	国内	創傷感染（後頭部の割創）
9/2	36	男	83	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙笑	国内	創傷感染（右前頭部、右肩、右肘、右手、右側胸部、右大腿転子部、右膝の褥瘡）
9/29	40	女	60	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、強直性痙攣、反弓緊張	国内	創傷感染（右乳癌の壊死・汚染創）
11/9	46	女	79	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、強直性痙攣、呼吸困難（痙攣性）、易興奮性	国内	創傷感染（右第一足指爪下膿瘍）

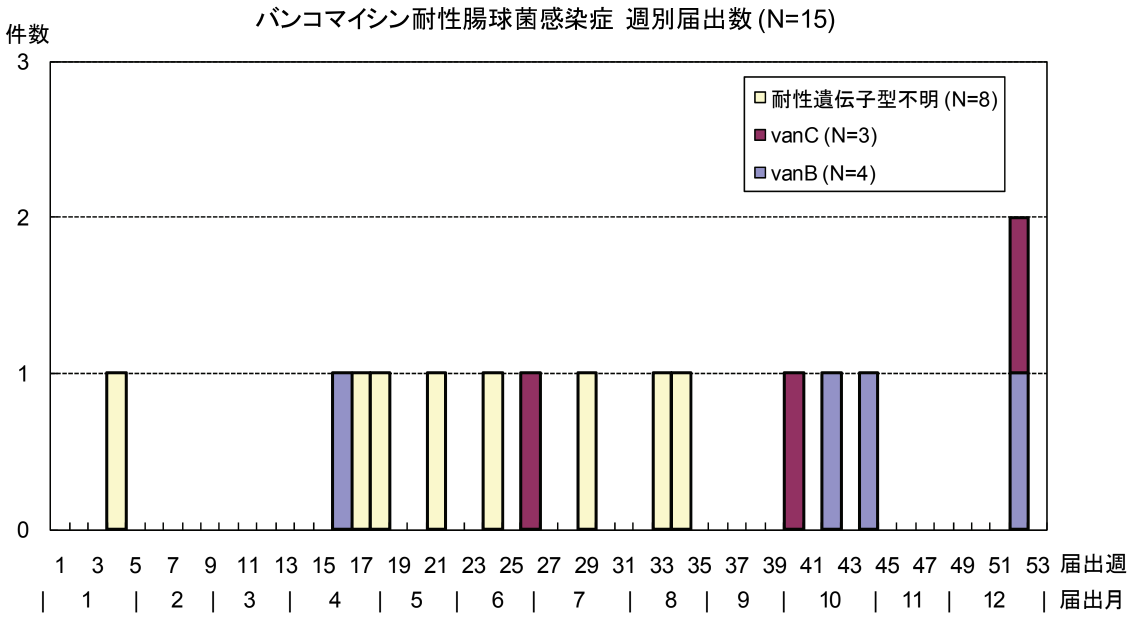
⑫　バンコマイシン耐性腸球菌感染症

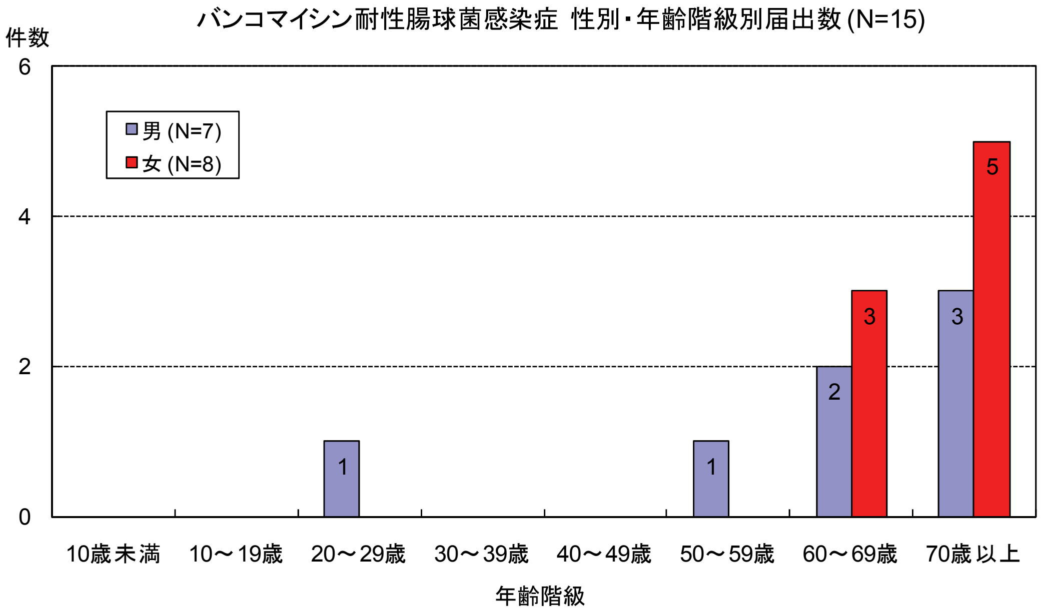
バンコマイシン耐性腸球菌感染症は 15 件届出があった。

菌種は *Enterococcus faecium* 7 件、*Enterococcus faecalis* 1 件、*Enterococcus gallinarum* 1 件、*Enterococcus casseliflavus* 1 件、不明 5 件で、耐性遺伝子型は *vanB* 4 件、*vanC* 3 件、不明 8 件であった。

性別は男性 7 人、女性 8 人で、年齢別は 20 歳代 1 人、50 歳代 1 人、60 歳代 5 人、70 歳以上 8 人であった。

70 歳以上の症例の死亡が 1 件報告されており、症状は発熱、菌血症、腸腰筋膿瘍で、感染経路は不明であった。





バンコマイシン耐性腸球菌感染症　菌種と耐性遺伝子型　(N=15)

菌種	*vanA*	*vanB*	*vanC*	不明	計
E. faecium		1		6	7
E. faecalis				1	1
E. gallinarum			1		1
E. casseliflavus			1		1
不明		3	1	1	5
計	0	4	3	8	15

バンコマイシン耐性腸球菌感染症　(2009 年　東京都　15 件)

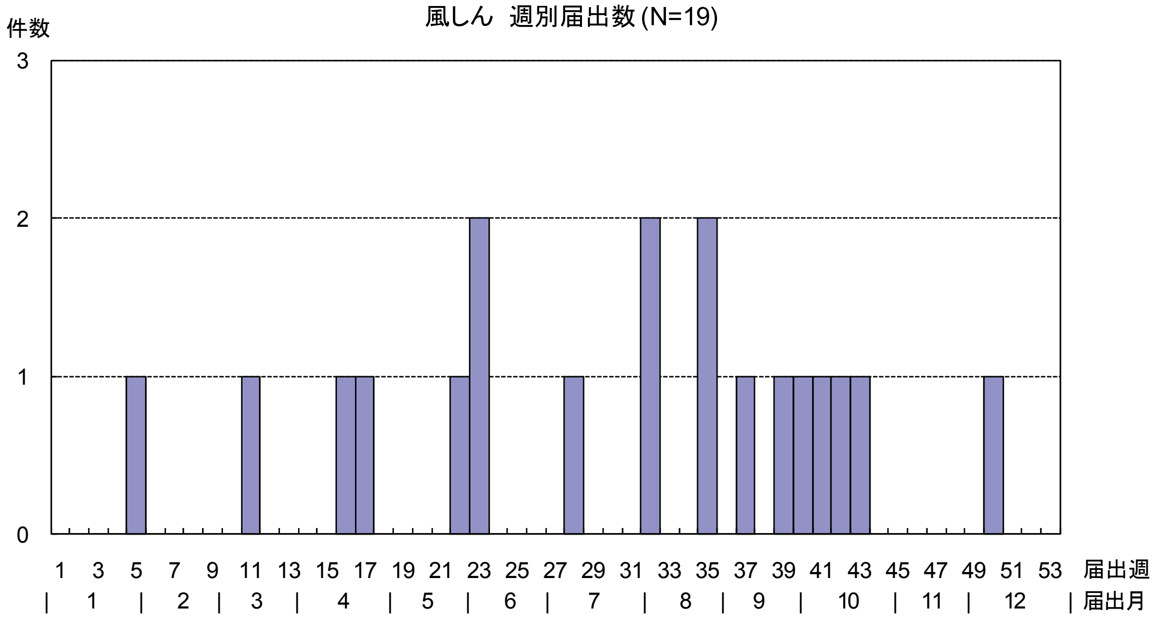
受理日	受理週	性別	歳	検体	菌種	耐性遺伝子型	症状	推定感染経路
1/20	4	男	52	尿	*E. faecium*	不明	尿路感染症	不明
4/13	16	男	68	血液、創部	不明	*VanB*	創部感染症	バンコマイシン長期使用による耐性
4/24	17	男	89	腸腰筋、肺嚢胞	*E. faecium*	不明	発熱、菌血症、腸腰筋膿瘍	不明
4/27	18	女	69	尿	*E. faecium*	不明	尿路感染症、倦怠感	不明
5/20	21	女	61	血液	不明	不明	発熱、菌血症	接触感染
6/8	24	女	89	尿	*E. faecium*	不明	尿路感染症	不明
6/22	26	女	97	胆汁	不明	*VanC*	胆嚢炎	不明
7/15	29	男	90	尿	*E. faecalis*	不明	尿路感染症	不明
8/13	33	女	74	開放膿	*E. faecium*	不明	創部感染症	接触感染(術中感染)
8/17	34	女	73	便、尿、痰、開放膿	*E. faecium*	不明	免疫不全、創部感染症(気管切開部)	接触感染
9/28	40	女	84	血液	*E. casseliflavus*	*VanC*	発熱	不明
10/16	42	女	63	便、カテーテル先端	不明	*VanB*	発熱、腸炎	不明
10/26	44	男	29	尿	不明	*VanB*	発熱、尿路感染症	不明
12/21	52	男	75	腹水	*E. gallinarum*	*VanC*	腹膜炎	腸管穿孔
12/25	52	男	66	腹水	*E. faecium*	*VanB*	腹膜炎	経口感染

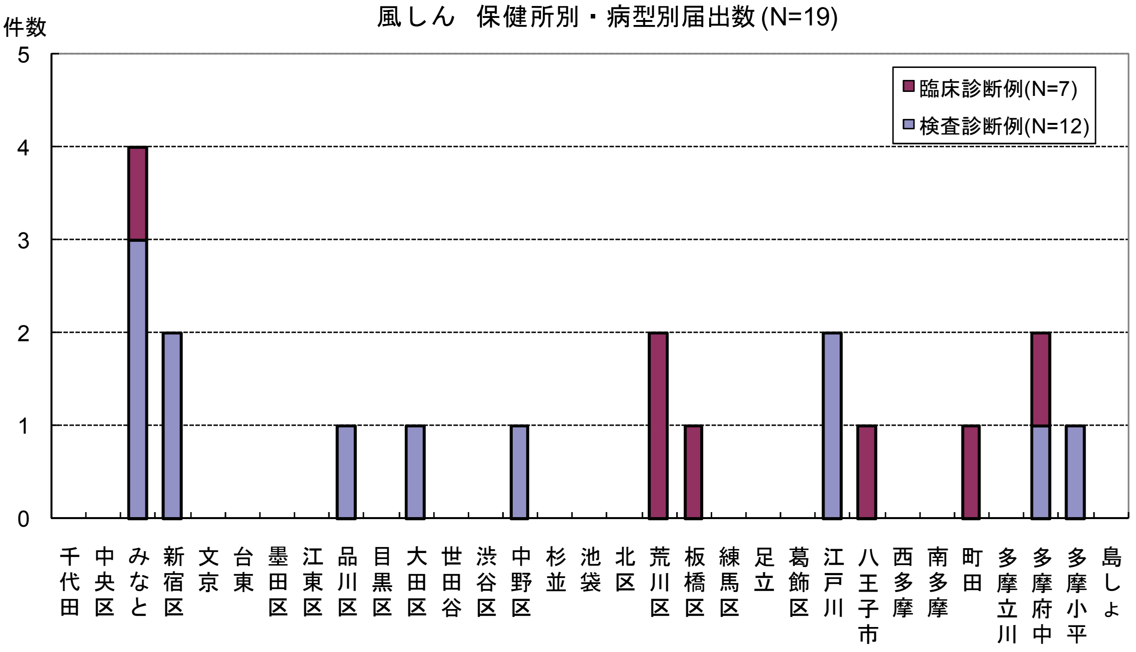
⑬　風しん

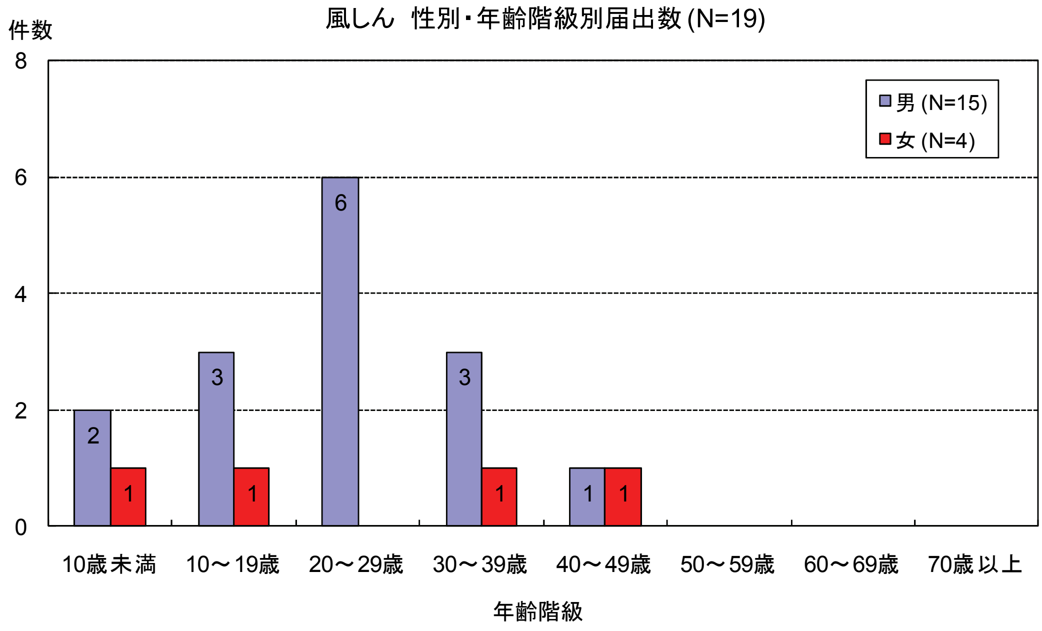
風しんは 19 件届出があった。検査診断例 12 件、臨床診断例 7 件であった。

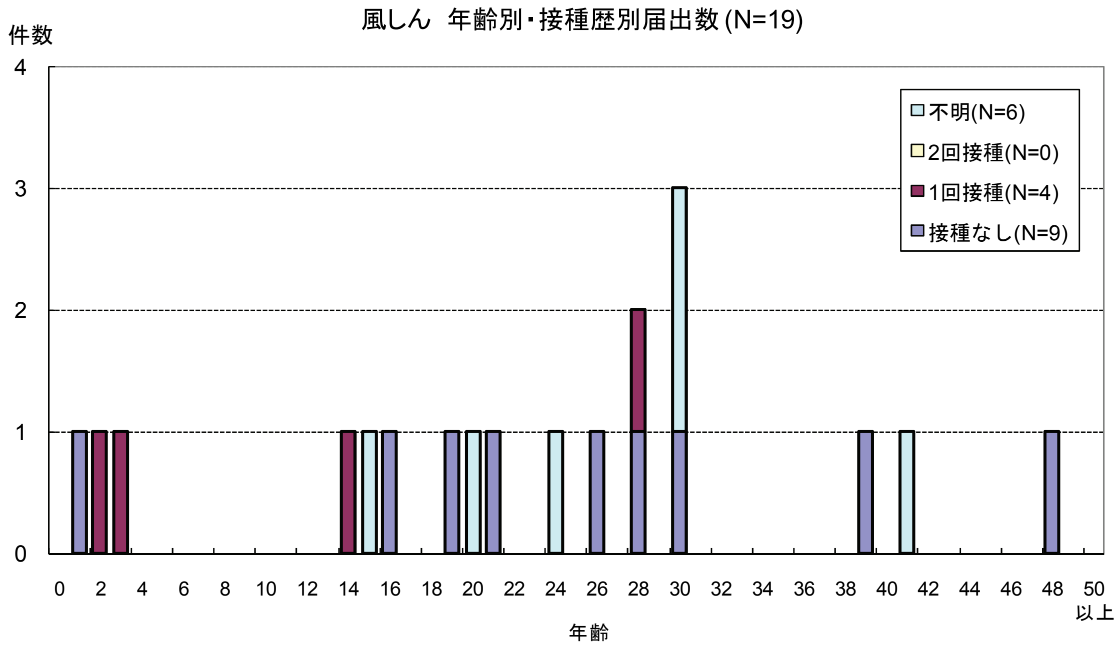
性別は男性 15 人、女性 4 人で、年齢別は 10 歳未満 7 人（うち 5 歳未満 3 人）、10 歳代 4 人、20 歳代 6 人、30 歳代 4 人、40 歳代 2 人であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、なし 9 人（47.4%）、1 回 4 人（21.0%）、不明 6 人（31.6%）であった。









⑭　麻しん

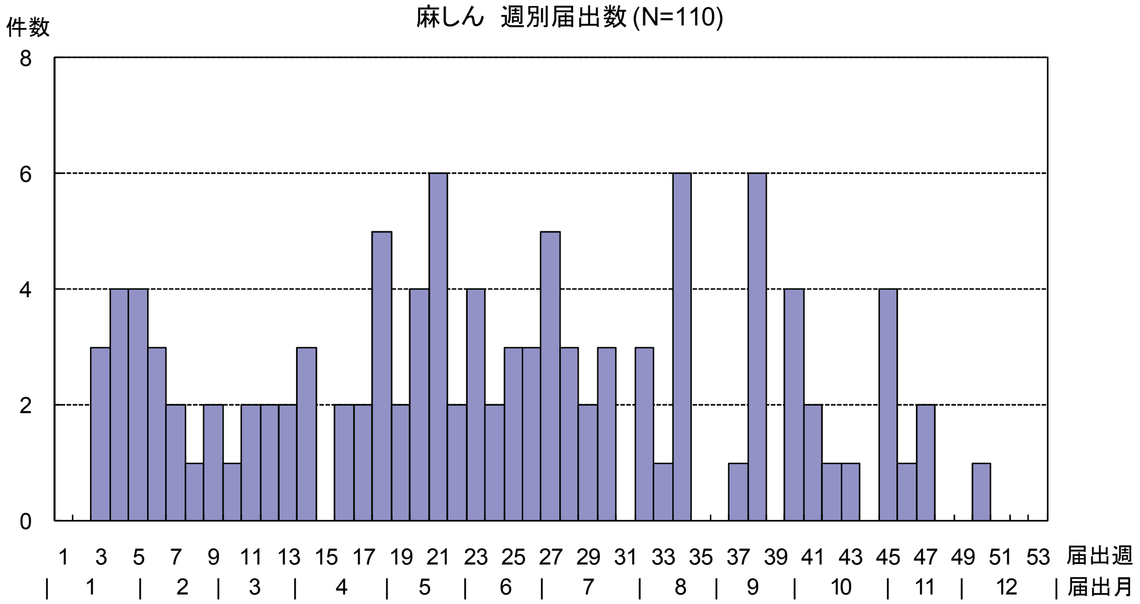
麻しんは 110 件届出があった。麻しん（検査診断例）30 件、麻しん（臨床診断例）43 件、修飾麻しん（検査診断例）37 件であった。

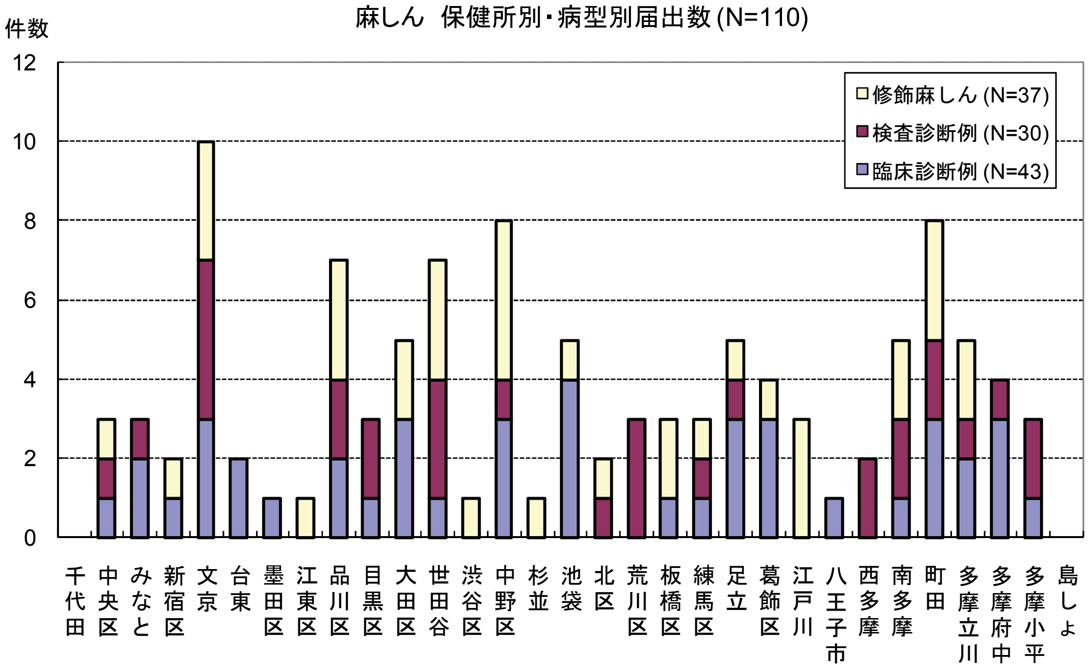
性別は男性 51 人、女性 59 人で、年齢別は 10 歳未満 44 人（うち 5 歳未満 38 人）、10 歳代 17 人、20 歳代 14 人、30 歳代 21 人、40 歳代 10 人、50 歳代 3 人、60 歳代 1 人であった。

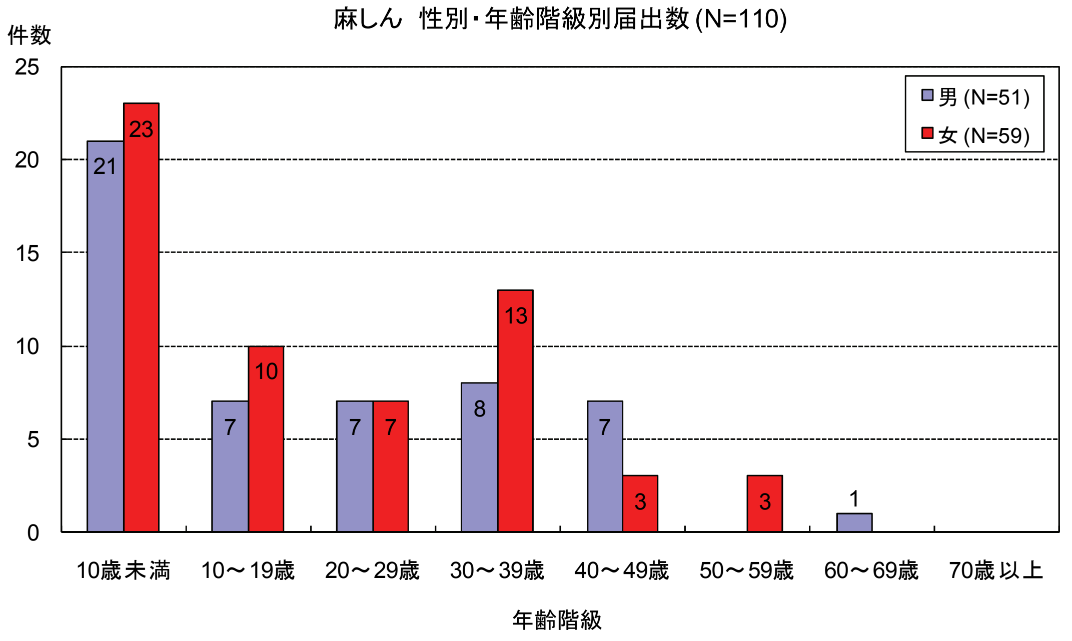
麻しん含有ワクチン接種歴は、なし 16 人（14.5%）、1 回 52 人（47.3%）、2 回 2 人（1.8%）、

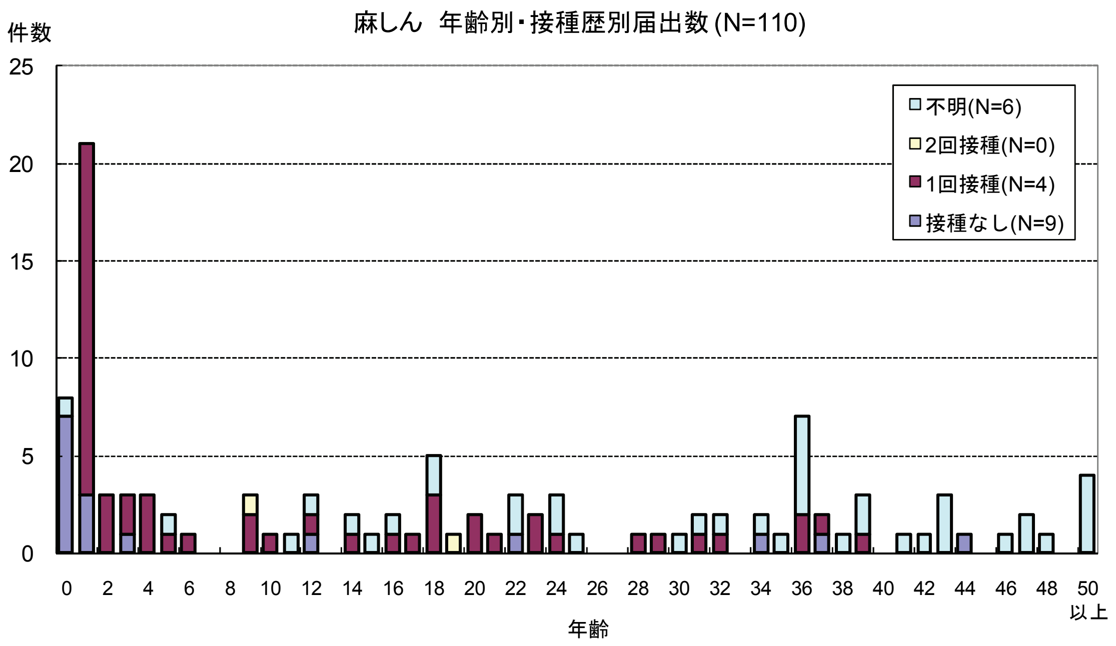
不明 40 人（36.4%）であった。

肺炎合併の報告は 1 件あり、症例は 39 歳女性で麻しん含有ワクチン接種歴は 1 回であった。脳炎合併の報告はなかった。









⑮　その他の五類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症

カ　新型インフルエンザ等感染症

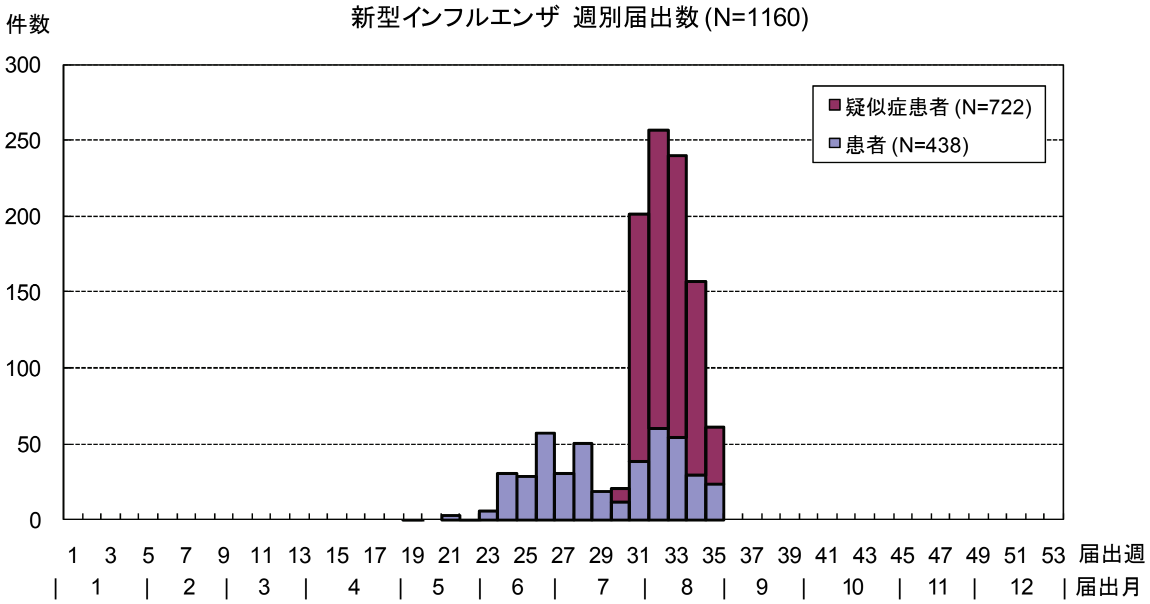
①　新型インフルエンザ

新型インフルエンザは 1160 件届出があった。患者 438 件、疑似症患者 722 件であった。

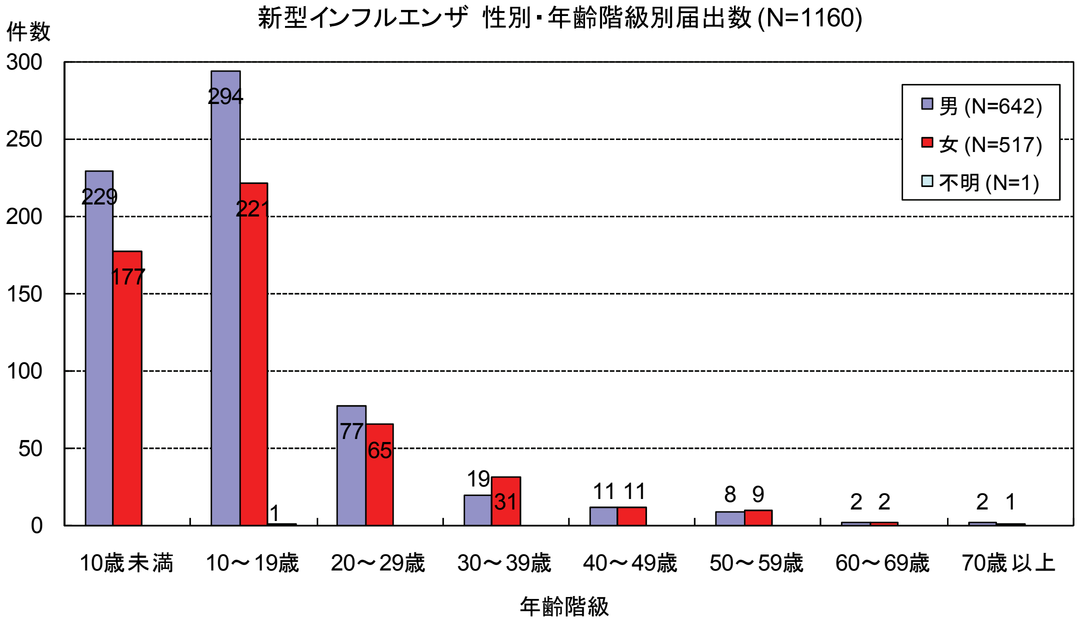
性別は男性 642 人、女性 517 人、性別不明 1 人で、年齢別は 10 歳未満 406 人（うち 5 歳未満 116 人）、10 歳代 516 人、20 歳代 142 人、30 歳代 50 人、40 歳代 22 人、50 歳代 17 人、60 歳代 4 人、70 歳以上 3 人であった。

推定感染地は国内 1064 件、国外 94 件、不明 2 件で、国外感染例 94 件を推定感染地域別にみると、北アメリカ 69 件、オセアニア 17 件が多く、推定感染国別にみると、アメリカ 65 件、オーストラリア 14 件、カナダ 4 件、ニュージーランド 3 件、フィリピン 3 件、シンガポール 1 件、トルコ 1 件、チリ 1 件、アメリカ/ブラジル 1 件、アメリカ/フィリピン 1 件であった。

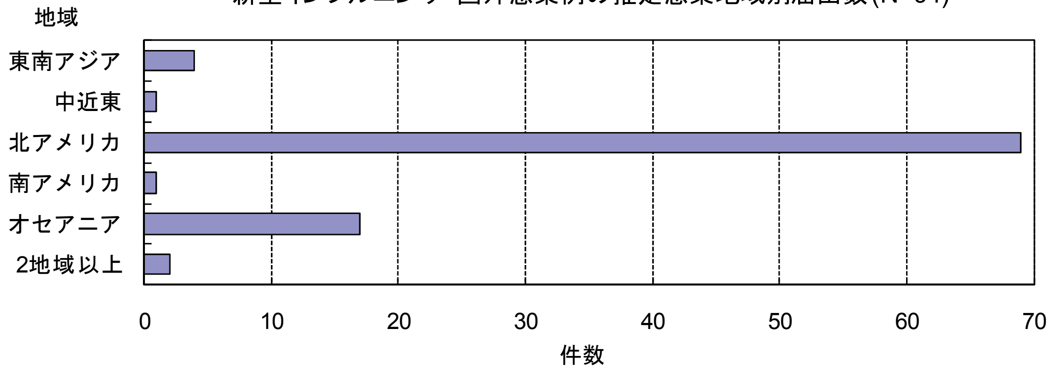
嘔吐、下痢など消化器症状を呈した患者報告は 112 件あり、年齢別では 1～4 歳 13 人、5～9 歳 54 人、10 歳代 35 人、20 歳代 7 人、30 歳代 2 人、40 歳代 1 人であった。肺炎合併の報告は 11 件あり、5～9 歳 7 人、10 歳代 4 人であった。届出期間中に脳炎合併の報告はなかった。



新型インフルエンザ 性別・年齢階級別届出数(N=1160)



新型インフルエンザ 国外感染例の推定感染地域別届出数(N=94)



消化器症状・肺炎合併のあった新型インフルエンザ症例の年齢群別報告数 （N=1160）

年代	報告数	消化器症状		肺炎	
		報告数	割合	報告数	割合
0歳	4				
1-4歳	112	13	11.6%		
5-9歳	290	54	18.6%	7	2.4%
10歳代	516	35	6.8%	4	0.8%
20歳代	142	7	4.9%		
30歳代	50	2	4.0%		
40歳代	22	1	4.5%		
50歳代	17				
60歳代	4				
70歳以上	3				
計	1160	112	9.7%	11	0.9%

３表－１（１）　一、二、三、四、五類全数把握疾病　週別患者報告数

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

週	期間	一類							二類					三類				
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核＊	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	インフルエンザ（H5N1）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
1	12.29～ 1. 4									8								
2	1. 5～ 1.11									89						1		
3	1.12～ 1.18									62					2	1		
4	1.19～ 1.25									59					1			
5	1.26～ 2. 1									87							1	
6	2. 2～ 2. 8									90								
7	2. 9～ 2.15									86								
8	2.16～ 2.22									87					1	3		
9	2.23～ 3. 1									75					4	2		
10	3. 2～ 3. 8									95					2		1	1
11	3. 9～ 3.15									85						1	2	
12	3.16～ 3.22									68						3		1
13	3.23～ 3.29									106								
14	3.30～ 4. 5									81						1	1	
15	4. 6～ 4.12									71						1	1	
16	4.13～ 4.19									93						3		
17	4.20～ 4.26									107					1	3	1	1
18	4.27～ 5. 3									105					1	1		
19	5. 4～ 5.10									33								
20	5.11～ 5.17									103					1	2		
21	5.18～ 5.24									108						3		
22	5.25～ 5.31									89					2	8		1
23	6. 1～ 6. 7									80				1		4		
24	6. 8～ 6.14									79					3	8		
25	6.15～ 6.21									87						6		
26	6.22～ 6.28									70						8	1	
27	6.29～ 7. 5									101					1	7	1	
28	7. 6～ 7.12									83						4		
29	7.13～ 7.19									100						14		
30	7.20～ 7.26									61					2	18		1
31	7.27～ 8. 2									80					1	22	1	1
32	8. 3～ 8. 9									99					1	16		
33	8.10～ 8.16									73					3	10		
34	8.17～ 8.23									72				1	4	18		
35	8.24～ 8.30									75						30		1
36	8.31～ 9. 6									73						13		
37	9. 7～ 9.13									98						21		
38	9.14～ 9.20									99					3	18		
39	9.21～ 9.27									44					1	7		1
40	9.28～10. 4									86					1	5		1
41	10. 5～10.11									94					1	6		1
42	10.12～10.18									58					2	4		1
43	10.19～10.25									92				1		9		
44	10.26～11. 1									81					1	7		
45	11. 2～11. 8									53						2		
46	11. 9～11.15									96					4	6		
47	11.16～11.22									83						3		
48	11.23～11.29									55					1	3		
49	11.30～12. 6									79					2	3		1
50	12. 7～12.13									81						3	1	
51	12.14～12.20									69						3		
52	12.21～12.27									82						2		
53	12.28～ 1. 3									34					2	4		
	合　計									4204				3	48	317	11	12

＊2010年4月6日現在の報告数

３表－１（２）　一、二、三、四、五類全数把握疾病　週別患者報告数

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

週	期間	四類											
		E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオイデス症	つつが虫病	デング熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病	レジオネラ症
1	12.29～ 1. 4												
2	1. 5～ 1.11			1				1	1		1		5
3	1.12～ 1.18						1		1				3
4	1.19～ 1.25								1				1
5	1.26～ 2. 1										1		1
6	2. 2～ 2. 8	1									1		
7	2. 9～ 2.15							1			1		2
8	2.16～ 2.22	2									2		
9	2.23～ 3. 1		2						1		1		1
10	3. 2～ 3. 8		1						1				1
11	3. 9～ 3.15										1		1
12	3.16～ 3.22												
13	3.23～ 3.29												
14	3.30～ 4. 5												1
15	4. 6～ 4.12										2		1
16	4.13～ 4.19								2		1		2
17	4.20～ 4.26												2
18	4.27～ 5. 3		1						1		1		
19	5. 4～ 5.10												
20	5.11～ 5.17		1		1								
21	5.18～ 5.24												
22	5.25～ 5.31	2	1						1				1
23	6. 1～ 6. 7		1						1				1
24	6. 8～ 6.14		1			1					1		1
25	6.15～ 6.21												
26	6.22～ 6.28		1								1		1
27	6.29～ 7. 5	1											
28	7. 6～ 7.12								2				1
29	7.13～ 7.19		1										2
30	7.20～ 7.26												1
31	7.27～ 8. 2											1	1
32	8. 3～ 8. 9										2		2
33	8.10～ 8.16										1		1
34	8.17～ 8.23								1				2
35	8.24～ 8.30		1						3		1		3
36	8.31～ 9. 6		3						1				2
37	9. 7～ 9.13		1						2		1		
38	9.14～ 9.20		1						3				2
39	9.21～ 9.27										1		1
40	9.28～10. 4		1						1		1		
41	10. 5～10.11								2	1	2		
42	10.12～10.18		1					1	1		1		
43	10.19～10.25										1		
44	10.26～11. 1		1						4				2
45	11. 2～11. 8		1						1				
46	11. 9～11.15		1					1					2
47	11.16～11.22		1										1
48	11.23～11.29								1				1
49	11.30～12. 6							3			1		2
50	12. 7～12.13							4					
51	12.14～12.20							1					2
52	12.21～12.27		2					2					
53	12.28～ 1. 3												
	合　計	6	24	1	1	1	1	14	32	1	26	1	53

３表－１（３）　一、二、三、四、五類全数把握疾病　週別患者報告数

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

週	期間	五類																新型
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	新型インフルエンザ
1	12.29～ 1. 4																	
2	1. 5～ 1.11	6	3			2	1	12	1			2	1					
3	1.12～ 1.18	4	1	1				15	1			1					3	
4	1.19～ 1.25	4		1			1	6				10			1		4	
5	1.26～ 2. 1	1	2	1				12	1			4				1	4	
6	2. 2～ 2. 8	4	1	1				12	1			4					3	
7	2. 9～ 2.15	2	1			1		11	1			5					2	
8	2.16～ 2.22	4		2				7				4					1	
9	2.23～ 3. 1		1				1	12	2			2					2	
10	3. 2～ 3. 8	3	1	1				16	2			6					1	
11	3. 9～ 3.15	2	1					6	1			6				1	2	
12	3.16～ 3.22	2		1				10				6					2	
13	3.23～ 3.29	3	2					9				3					2	
14	3.30～ 4. 5	2	1		1			10				5					3	
15	4. 6～ 4.12	4	1					8	3			3						
16	4.13～ 4.19	2	1	1		3	1	10				9			1	1	2	
17	4.20～ 4.26	4	1				1	6	1			5	1		1	1	2	
18	4.27～ 5. 3	2				1		5				4			1		5	
19	5. 4～ 5.10	1	1					2				1					2	1
20	5.11～ 5.17	5				1		4				1	1				4	
21	5.18～ 5.24	1		1			1	12	1			4			1		6	3
22	5.25～ 5.31	1	3					15		1		6				1	2	1
23	6. 1～ 6. 7	3	1	1		2	1	16				7				2	4	6
24	6. 8～ 6.14	2	2					8				4			1		2	30
25	6.15～ 6.21	1					1	13				3					3	28
26	6.22～ 6.28	1						14	1			6			1		3	57
27	6.29～ 7. 5	4		1				7				3					5	30
28	7. 6～ 7.12	4				1		5				3				1	3	50
29	7.13～ 7.19	3						11							1		2	18
30	7.20～ 7.26	1	1	2			1	18	1			5					3	20
31	7.27～ 8. 2	4						10				2						201
32	8. 3～ 8. 9	7						9				6	1			2	3	257
33	8.10～ 8.16	3						11	1			1			1		1	240
34	8.17～ 8.23	2	1	1				8				1			1		6	157
35	8.24～ 8.30	1		2		1		8				9				2		61
36	8.31～ 9. 6	4	1					4				4	1					
37	9. 7～ 9.13	4		2				11								1	1	
38	9.14～ 9.20	2	1					8				5					6	
39	9.21～ 9.27	1						5	1			2				1		
40	9.28～10. 4	5		2				5				3	1		1	1	4	
41	10. 5～10.11	3	1	4				8				2				1	2	
42	10.12～10.18	2		1	1			7				4			1	1	1	
43	10.19～10.25	2	1	7				8	1			2				1	1	
44	10.26～11. 1	3	1	1				5	1			4			1			
45	11. 2～11. 8	4		1		2		8				4					4	
46	11. 9～11.15	1		1	1	1		7				2	1				1	
47	11.16～11.22	1	1	3		2		14	1			2					2	
48	11.23～11.29	2		2	1			6				1						
49	11.30～12. 6	3	1			1		10				6						
50	12. 7～12.13	2		3				12	1			7				1	1	
51	12.14～12.20	7	2			1	1	5	1			2						
52	12.21～12.27			1				7				4			2			
53	12.28～ 1. 3	1						3				1						
	合　計	140	35	45	4	19	10	471	24	1		196	7		15	19	110	1160

３表－２（１）　一、二、三、四、五類全数把握疾病　保健所別患者報告数

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

保健所	一類							二類					三類				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 ＊	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	インフルエンザ（H5N1）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
千代田									86						7		1
中央区									40					3	10		
みなと									94					3	16	1	1
新宿区									249					1	12	3	
文京									104				1	2	1	2	2
台東									125					1	5		
墨田区									122					6	12		3
江東区									143				1	2	6		1
品川区									117					1	5		
目黒区									70					4	15		
大田区									168				1	3	18	1	
世田谷区									215					2	20		
渋谷区									81					2	9		1
中野区									137						8		
杉並									123					4	3		
池袋									141					2	6		
北区									164								
荒川区									115						2		
板橋区									179						14		
練馬区									180						8		
足立									214						19	1	1
葛飾									154					1	8		
江戸川									153					1	15	1	
西多摩									68					1	3		
南多摩									102					2	4		1
町田									135						13	1	
多摩立川									113					1	17		
多摩府中									261					3	32	1	1
多摩小平									232					2	21		
島しょ									6								
八王子市									113					1	8		
合　計									4,204				3	48	317	11	12

＊2010年4月6日現在の報告数

３表－２（２）　一、二、三、四、五類全数把握疾病　保健所別患者報告数

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

保健所	四類											
	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオイデス症	つつが虫病	デング熱	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
千代田	1	1										1
中央区								1	1	1		
みなと	1	1						2		4	1	3
新宿区	1	7						15		13		1
文京		1						5		1		2
台東		1										
墨田区								3		3		3
江東区				1								3
品川区												2
目黒区		1	1			1		1				2
大田区		1					1	3				2
世田谷区		1										6
渋谷区							1			1		3
中野区	1											1
杉並							1					1
池袋												1
北区		1										1
荒川区	1											1
板橋区					1							2
練馬区										1		
足立		1										1
葛飾												
江戸川												
西多摩	1	2					2					1
南多摩		2										
町田		1										2
多摩立川								1				5
多摩府中		3						1		2		3
多摩小平												4
島しょ							9					1
八王子市												1
合　計	6	24	1	1	1	1	14	32	1	26	1	53

３表－２（３）　一、二、三、四、五類全数把握疾病　保健所別患者報告数

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

保健所	五類																新型
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バイコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バイコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	新型インフルエンザ（A/H1N1）
千代田	1	1					3				7						14
中央区	8	1	7			1	4				7	1		3		3	20
みなと	15	3			2	1	43	3			17	1			4	3	49
新宿区	23	11		4	2	1	153	9			79			1	2	2	38
文京	11	2	1		4	2	42				23	1				10	35
台東	1						5				6					2	25
墨田区	2		7				12				2					1	85
江東区	4				2	1					1					1	54
品川区	3	1					4	1			2				1	7	43
目黒区	3	4	1		2		6							1		3	9
大田区	7	1	1			1	5	1	1		1			1	1	5	58
世田谷区	7		1		1		5	3			5					7	44
渋谷区	7	1	3				92	1			2			2		1	20
中野区	5						12				8				1	8	19
杉並		1					10				1					1	61
池袋	2		4		1		7				5					5	20
北区							2									2	36
荒川区	1		3				6	1			1	1		2	2	3	31
板橋区	7		2			2	9	3			3			1	1	3	27
練馬区	4		1			1	4				1	1				3	20
足立	3						5				4			3		5	23
葛飾	2	1					4				4					4	84
江戸川	2	2					4				3				2	3	66
西多摩	3	2	5		1		2									2	26
南多摩	3	1					1									5	38
町田							3								1	8	30
多摩立川		1	1		1		4				4	1		1		5	25
多摩府中	6		3		1		15	2			7	1			2	4	78
多摩小平	6		5		2		4				2				1	3	44
島しょ																	6
八王子市	4	2					5				1				1	1	32
合　計	140	35	45	4	19	10	471	24	1		196	7				110	1160

３表－３（１）　一、二、三、四、五類全数把握疾病　年齢階級別患者報告数

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

年齢階級	一類							二類					三類				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 ＊	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳									31						1		
1～4歳									45					2	26		
5～9歳									32					3	41		1
10～14歳									28					1	37		
15～19歳									60					1	18		1
20～24歳									201					8	43		3
25～29歳									316				1	11	35	3	
30～34歳									311				1	7	26	2	
35～39歳									295					4	19	1	2
40～44歳									264					4	19	2	1
45～49歳									227						9	1	
50～54歳									215					2	5	1	
55～59歳									306				1		13	1	
60～64歳									309					2	7		3
65～69歳									273					2	8		
70歳以上									1291					1	10		1
合　計									4,204				3	48	317	11	12

＊2010年4月6日現在の報告数

３表－３（２）　一、二、三、四、五類全数把握疾病　年齢階級別患者報告数

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

年齢階級	四類											
	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオイデス症	つつが虫病	デング熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病	レジオネラ症
0歳												
1～4歳												
5～9歳		1										
10～14歳								1		1		
15～19歳		1				1		1	1			
20～24歳		1					1	5		4		
25～29歳		3						5		9		
30～34歳		3					2	1		2		1
35～39歳	1	4						6		3		
40～44歳	1	2						6		1		2
45～49歳	1							1		3		2
50～54歳	1	2		1	1		3	3		2	1	2
55～59歳		2						2				7
60～64歳	1	3					3			1		6
65～69歳	1	1	1				3					7
70歳以上		1					2	1				26
合　計	6	24	1	1	1	1	14	32	1	26	1	53

３表－３（３）　一、二、三、四、五類全数把握疾病　年齢階級別患者報告数

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

五類																新型
アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	新型インフルエンザ
		1								2					8	4
	1	16												3	30	112
		15													6	290
		4												1	7	266
	2	1			1	6				4				3	10	250
5	2	1	2			35	5			24				3	11	80
4	6	1				72	4			24	1		1	3	3	62
19	7			1	2	93	7			25				3	7	28
24	6	1	2		1	98	2			37				1	14	22
18	5	1				55	2			28	1			1	6	15
17	1					44	2			14				1	4	7
15	2			1		17	2			6			1		2	13
14	1			1		24				16	1				1	4
17	2	2		3	2	11				5	1		2			2
3				4		6				4	1		3		1	2
4		2		9	4	10		1		7	2		8			3
140	35	45	4	19	10	471	24	1		196	7				110	1160

(2) 小児科・内科疾患

ア　インフルエンザ

2008/09 シーズン（2008 年第 36 週/9 月～2009 年第 35 週/8 月）のインフルエンザの流行は、全国的に見ると、季節性インフルエンザの A ソ連型（AH1 亜型）と A 香港型（AH3 亜型）が先行して流行し、1 月末にピークになった後、B 型が 3 月に 2 つ目のピークを作った。流行が終息に向っていた 4～5 月に A 香港型が再増加し、5 月以降は新型インフルエンザ（A/H1N1pdm）が大きく増加するという例年にない特異な流行パターンとなった。

東京においても全国と同様の傾向が見られ、2008 年 49 週（12 月 1 日～7 日）に、定点当り患者報告数が 1.67 件と流行開始の指標となる 1.00 件をはじめて超え 2009 年第 4 週（1 月 19 日～25 日）には 31.94 件とピークに達した。その後 8 週（2 月 16 日～22 日）に患者報告数が 7.61 件まで減少したが、再度増加に転じ、11 週（3 月 9 日～13 日）には 14.40 件と 2 度目のピークが見られた。

2008/09 シーズン（2008 第 36 週～2009 第 35 週）のインフルエンザ定点医療機関からの定点当り患者報告数の累計は過去 10 年間で、2004/05 シーズン（242.40 件）に次いで 2 番目（228.20 件）となり、季節性インフルエンザの流行としても大規模な流行になった。

その後 2009 年 4 月にメキシコではじめて新型インフルエンザ患者の発生が確認され 5 月 9 日には、カナダから帰国した高校生が国内で最初の新型インフルエンザと確定診断された。東京都では 5 月 20 日にニューヨークから帰国した高校生が新型インフルエンザに感染したことが確認された。

新型インフルエンザの患者は当初海外からの帰国者がほとんどであったが、6 月に入ると国内での感染者も見られるようになり、6 月中旬には海外感染者と国内感染者の数が同程度となり、7 月中旬には、ほとんどが国内での感染者となった。都内の定点医療機関から搬入された検体から検出されたウイルスは年当初は A ソ連型が主流であったがその後 B 型と A 香港型が加わり、7 月に入ると検出されるウイルスのほとんどが新型インフルエンザウイルスとなっている。

2009/10 シーズンが開始となる 2009 年 36 週（8 月 31 日～9 月 6 日）には、すでに定点当りの患者報告数は 3.66 件（前年同期 0.01 件）となり、島しょ地区を除く都内全域で流行の目安となる定点当りの患者報告数 1.00 件を超えている。

また 36 週にはインフルエンザ様疾患による集団感染が 350 件報告され、定点医療機関からの検体より、新型インフルエンザウイルスが 16 件、A ソ連型が 1 件検出された。

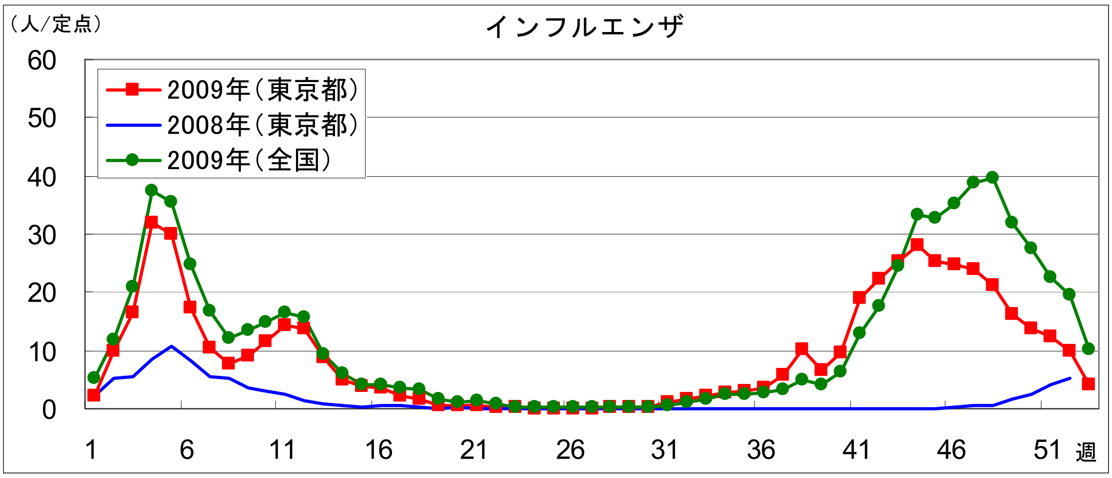
その後 38 週（9 月 14 日～20 日）には定点当り 10.21 件と増加し、流行注意報基準（定点当り 10 件を超えた保健所管内人口の合計が東京都全体の 30%を超えた場合）を超えたため東京都は「インフルエンザ流行注意報」を発令した。

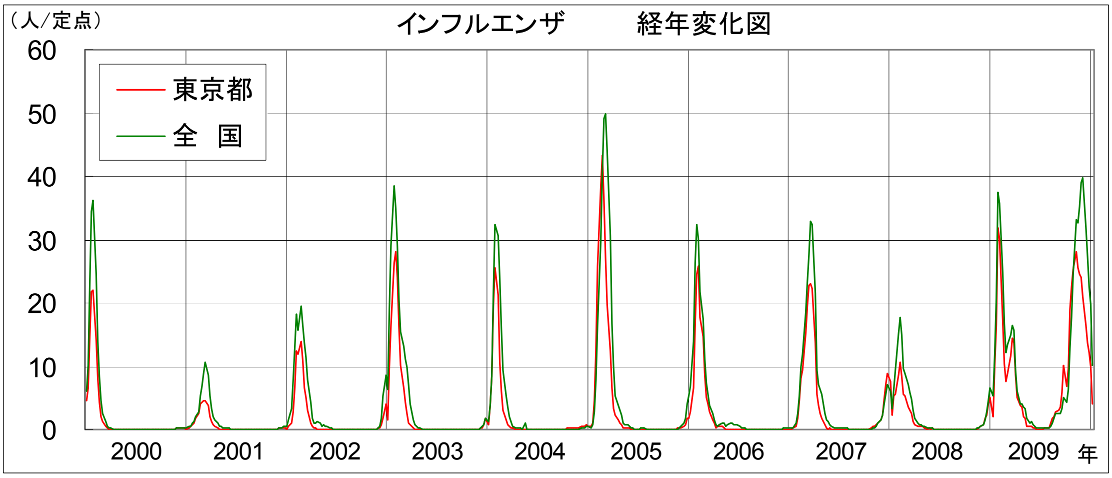
その後も患者報告数は増加を続け、43 週（10 月 19 日～25 日）には定点あたり 25.24 件となり、また町田（60.33 件）、八王子（48.50 件）、多摩小平（38.57 件）、南多摩（36.33 件）、葛飾（32.33 件）、江戸川（30.17 件）、世田谷（30.13 件）の 7 保健所管内では 30 件を超えたため、東京都は 10 月 28 日に「インフルエンザの流行警報（定点当り 30 件を超えた保健所管内の人口の合計が東京都全体の 30%を超えた場合)」を発令した。

44 週（10 月 26 日～11 月 1 日）には定点当りの報告数が 28.09 件に達しピークとなった。それ以降は減少に転じ、53 週（12 月 28 日～1 月 3 日）では定点当り 4.16 件となっていた。

2009 年のインフルエンザの流行は､4 週と 11 週に 2 つのピークを持つ季節性インフルエンザの流行と、7 月頃より始まり 44 週（10 月 26 日～11 月 1 日）にピークを持つ大きな新型インフルエンザの流行の 2 つが重なり、定点当り患者報告数の累計は、ここ 10 年では最多の 495.53 件という大流行の年となった。

参考資料　東京都インフルエンザ情報；2008/2009　6 号～32 号、
2009/2010　1 号～17 号；東京都健康安全研究センター





イ　RSウイルス感染症

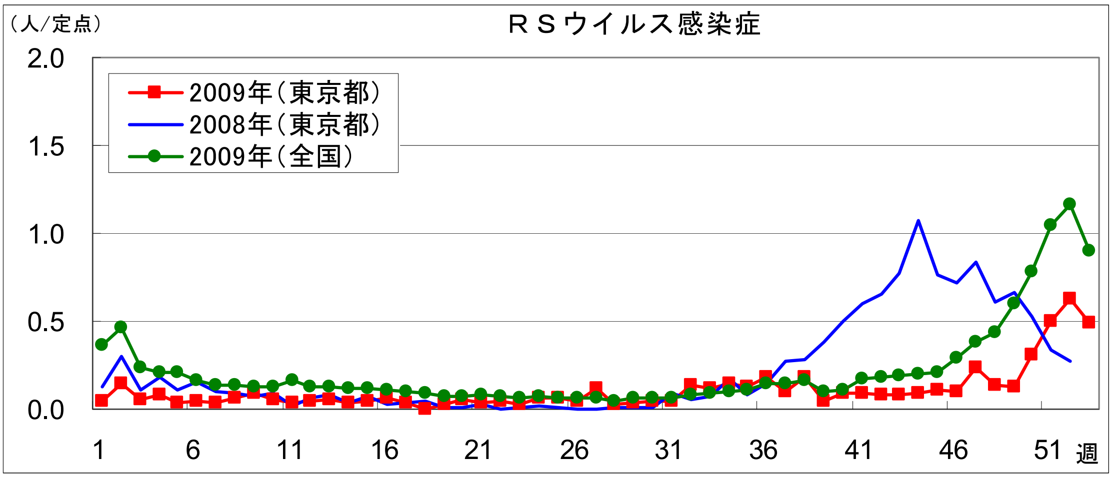
2009 年の報告数は 845 件、定点当たり 5.73 件であった。

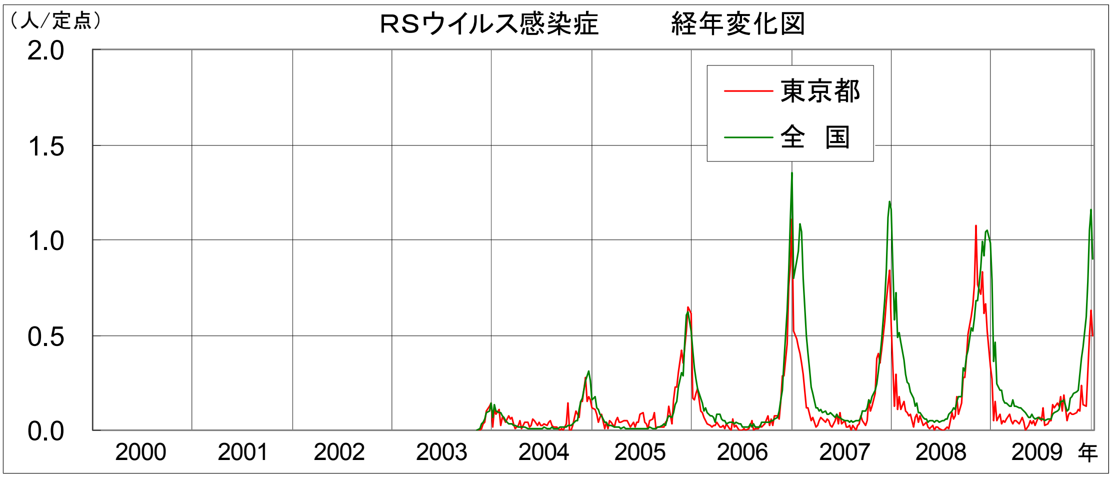
RS ウイルス感染症は 2003 年 11 月より五類定点把握対象疾患として調査が開始された。報告数は 2008 年まで年々増加する傾向にあったが 2009 年になり減少している。

週別報告数を見ると、定点当たり 0.20 件以上の報告があるものは、50 週～52 週（12 月 7 日～1 月 3 日）にかけてであり、ピークは 52 週（12 月 21 日～12 月 27 日）の 0.94 件である。

保健所管内別の定点当たり報告数が多いのは、多摩小平 26.13 件、みなと 21.57 件、台東 14.33 件、大田区 13.74 件となっている。

年齢階級別で見ると報告数 845 件中、6 ヶ月未満 130 件、12 ヶ月未満 205 件、 1 歳代 320 件と 1 歳以下が 77.5%を占めている。



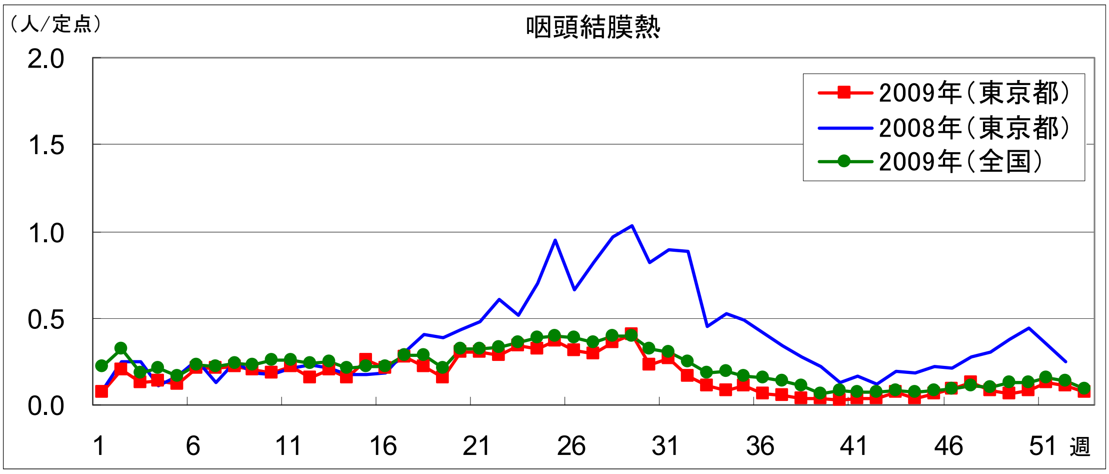


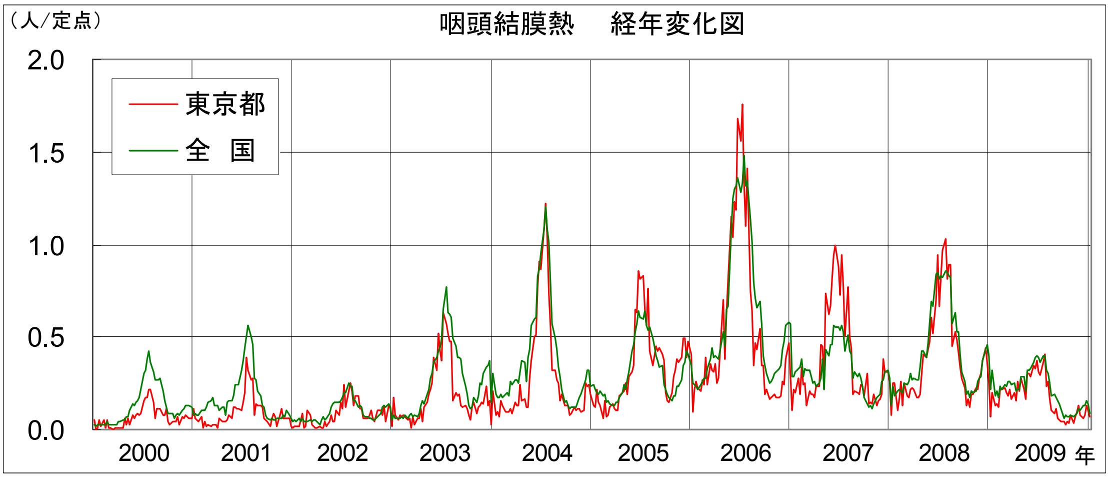
ウ　咽頭結膜熱

2009 年の報告数は 1,339 件、定点当たりの報告数は 9.07 件となっている。前年と比較すると報告数は半分以下となっており、ここ 10 年では 4 番目に低い報告数となっている。

週別報告数では、20 週（5 月 12 日～5 月 18 日）から 29 週（7 月 13 日～7 月 19 日）にかけて定点当たりの報告数が 0.30 件を超えるゆるやかな増加部分が見られる。保健所別報告数では定点当たり、大田区 36.75、江戸川 35.20、みなと 33.30 が多くなっている。

年令階級別では 1 歳代にピークがあり 5 歳以下で全報告数の 83.2%を占めている。





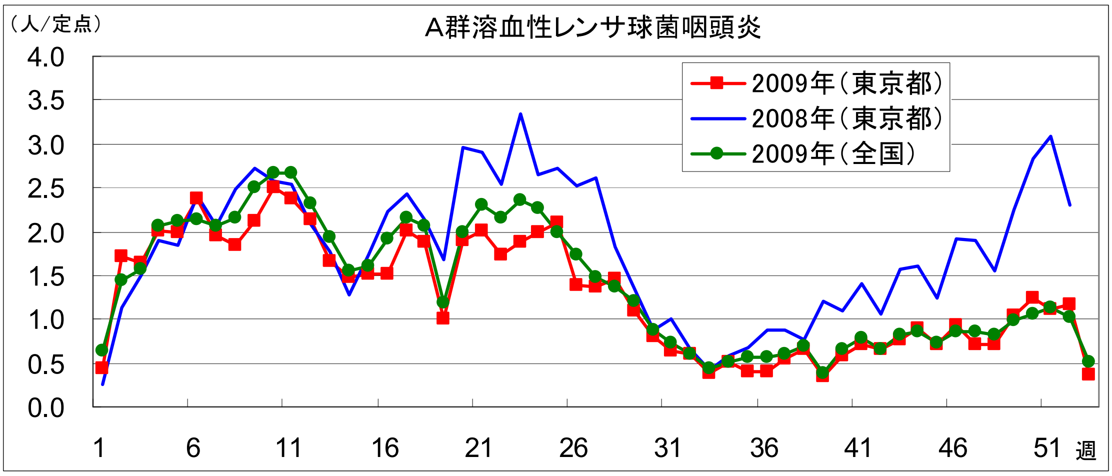
エ　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

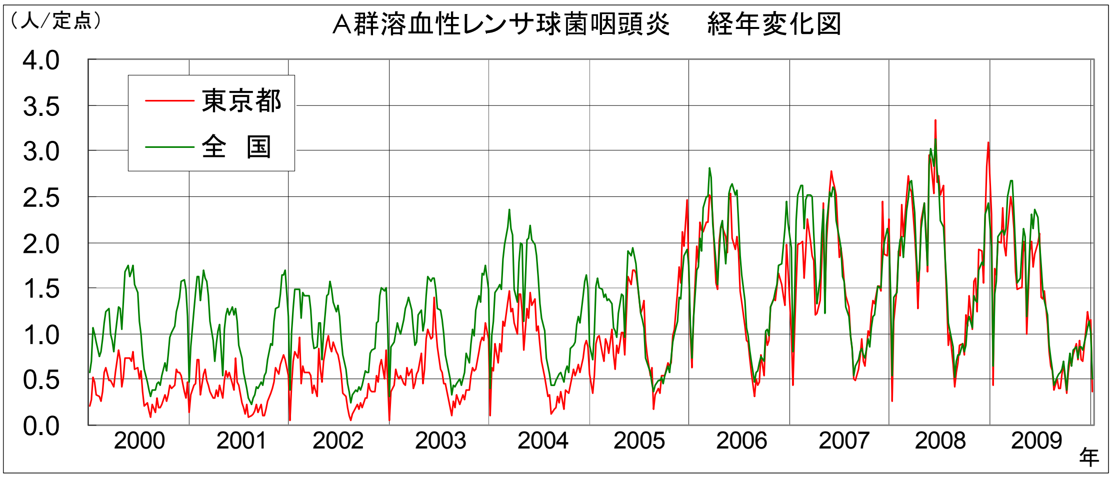
2009 年の報告数は 10,058 件、定点当たり報告数は 68.03 件となっている。ここ 10 年では 2008 年が定点当たり 93.97 件と最も多かったが、2009 年は前年比 0.72 と減少している。

週別報告数では 2 週～29 週（1 月 7 日～7 月 20 日）で定点当たり 1.00 件を超えており、10 週（3 月 3 日～3 月 9 日）が 2.50 件と最も多くなっている。

保健所別、定点当たり報告数は、八王子 399.58 件、町田 319.83 件、江戸川 227.95 件で報告数が多い。

年齢階級別報告数では過半数の 5,328 件が 4 歳～7 歳で占められている。





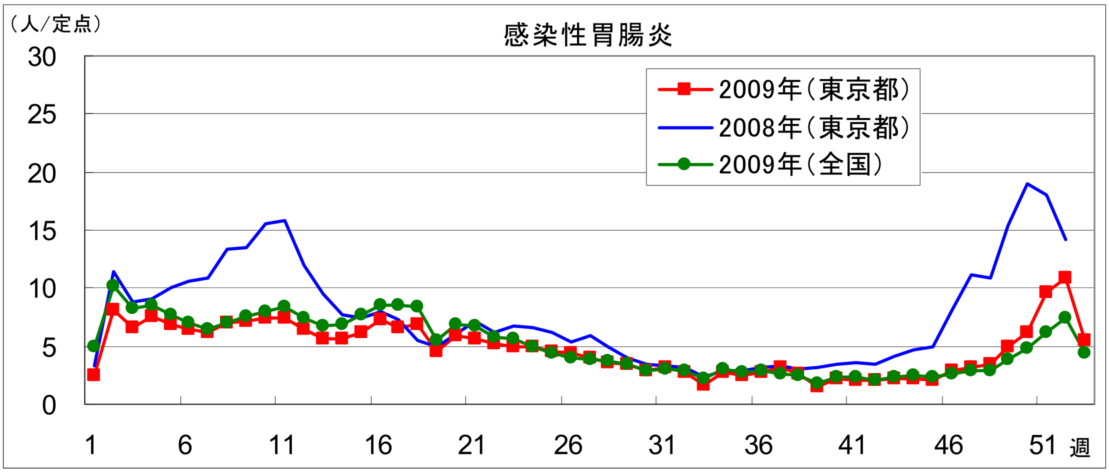
オ　感染性胃腸炎

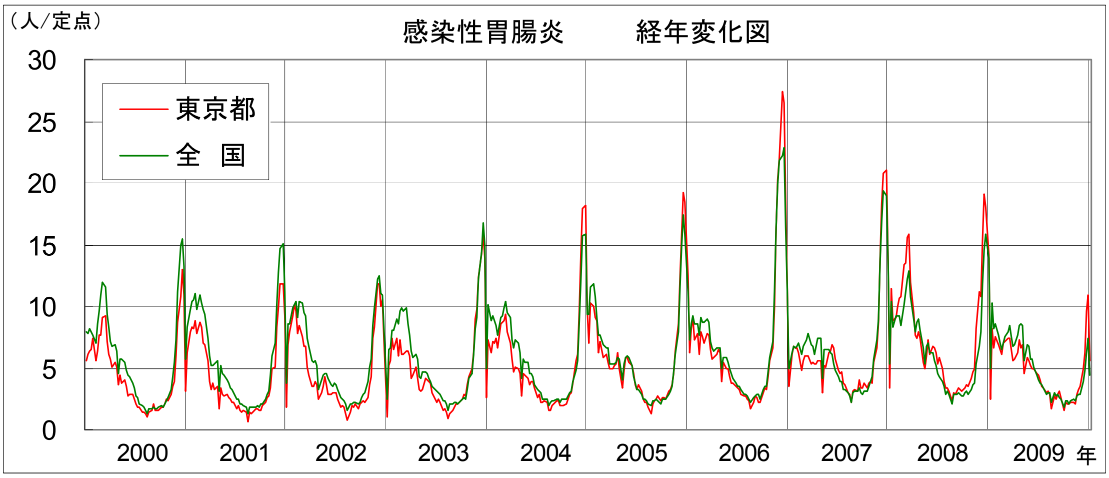
2009 年の報告数は 37,599 件、定点当たり 254.50 件で前年比 0.62 と減少している。ここ 10 年の定点当たりの報告数の平均は、286.38 件である。

週別報告数では 52 週（12 月 21 日～12 月 27 日）での定点当たり 10.87 例の報告数がピークで、39 週（9 月 22 日～9 月 28 日）の定点当たり 1.58 が最も少ない.冬期に多く夏から秋にかけて報告数が少なくなっている。

保健所別では定点当たりで八王子市 630.25 件、町田 584.33 件、江東区 537.75 件が多く報告された。

年令階級別報告数では 1 歳代にピークがあるのは前年と同様である。





カ　水 痘

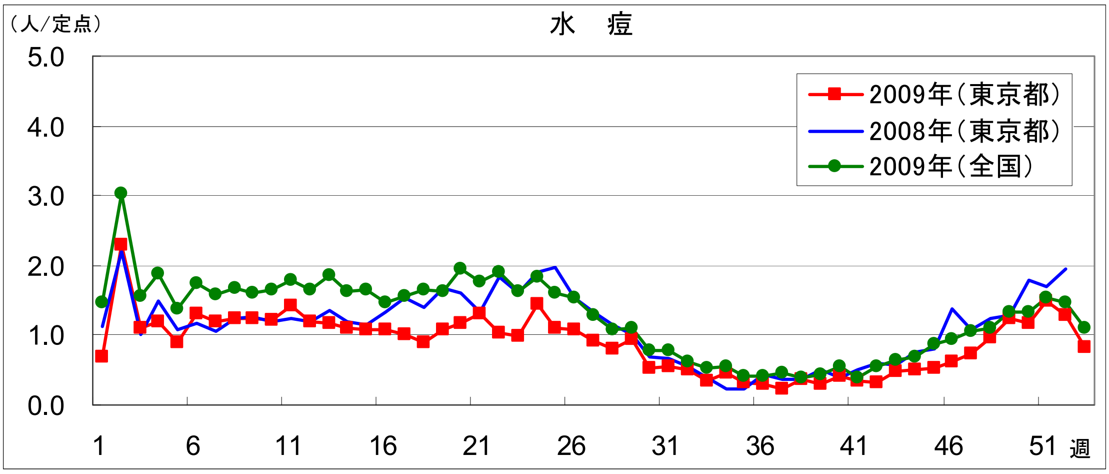
2009 年の報告数は 7,079 件、定点当たり 47.94 件であった。

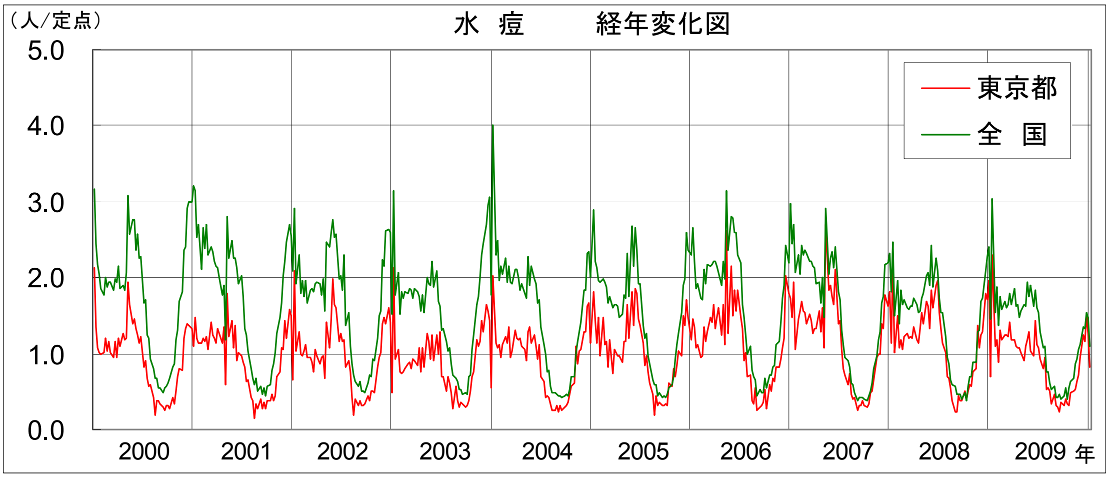
ここ 10 年の定点当たりの平均報告数は 52.04 件であり、大きな変動はない。

週別報告数は、定点当たりで見ると 2 週（1 月 7 日～1 月 13 日）が 2.30 件と最とも多くなっている。33 週から 43 週（8 月 11 日～10 月 26 日）にかけて報告数が 0.50 件を下まわる週が続いている。最も少ないのは 37 週（9 月 8 日～9 月 14 日）の 0.24 件である。

保健所別定点当たり報告数は、町田が 214.08 件（前年も最多の 162.75 件）、八王子市 153.92 件、葛飾区 99.75 件などが多くなっている。

年令階級別報告数では、2 歳代が 1,311 件と最も多く、1 歳～4 歳が 4,659 件と全報告の 65.8%を占めている。





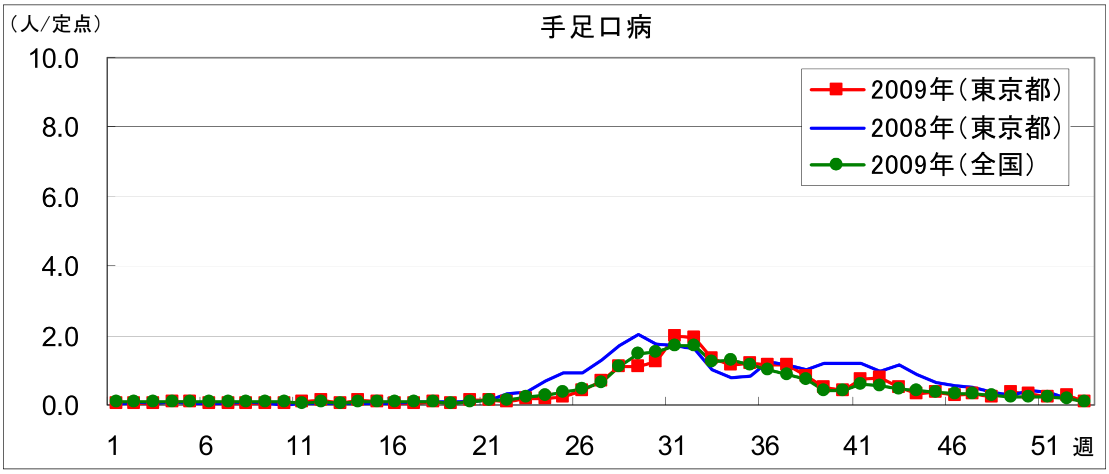
キ　手足口病

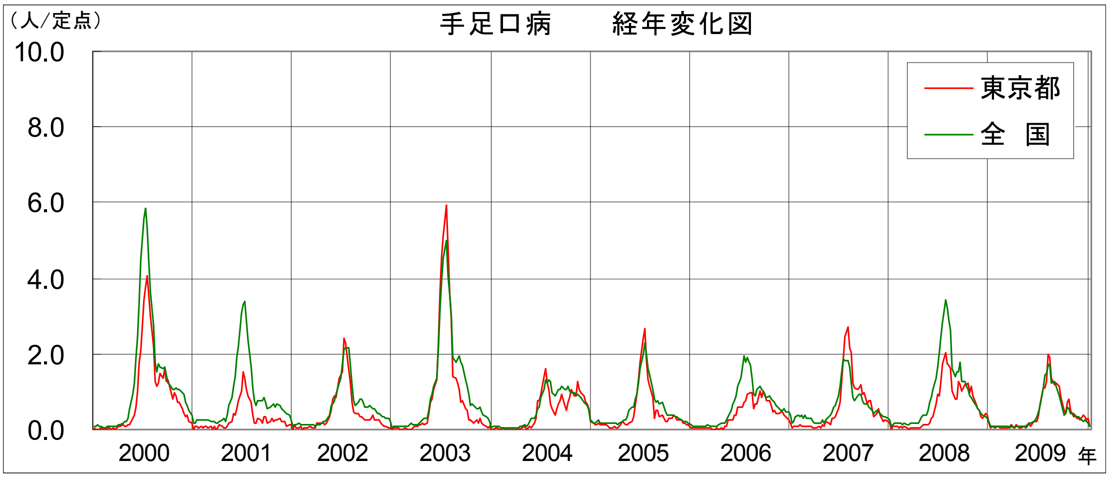
2009 年の報告数は 3,426 件、定点当たり 23.36 件であった。前年と比較すると前年比 0.76 と減少しているがここ 10 年の定点当たりの報告数の平均は 28.40 なので平年並の流行であったと考えられる。

週別の定点当たりの報告数を見ると、28 週～37 週（7 月 7 日～9 月 14 日）に報告数が 1.00 件を超え、31 週（7 月 28 日～8 月 3 日）に 1.98 件とピークになっている。

保健所別定点当たり報告数では､前年 7.00 件であった島しょが 2009 年には 56.00 件と増加している。

年令階級別報告数では 1 歳代が 986 件と最多であり、前年と同様である。





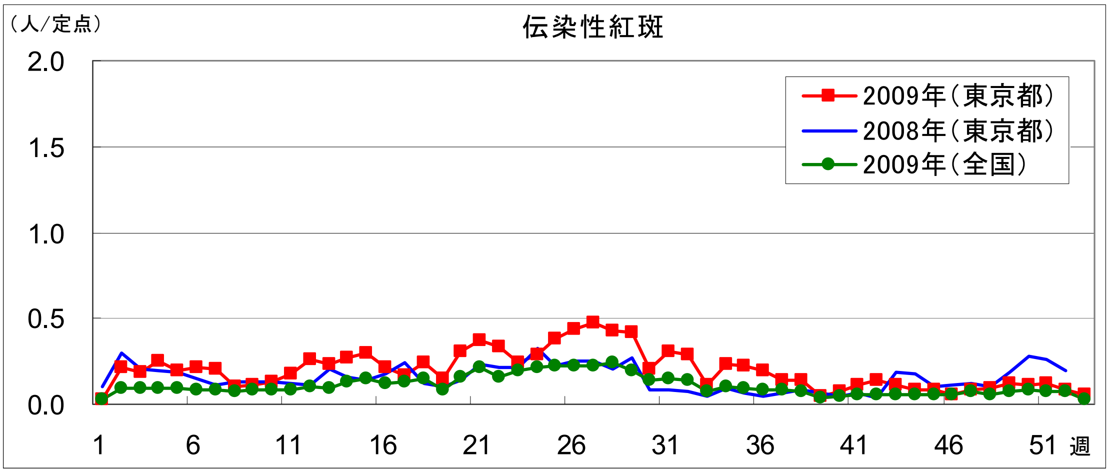
ク　伝染性紅斑

2009 年の報告数は 1,558 件、定点当たり 10.54 件で前年より増加したが、ここ 10 年の定点当たりの報告数 14.53 件と比較すると少なかった。

週別定点当たりの報告数では、26 週～29 週（6 月 23 日～7 月 20 日）にかけて報告数が 0.40 件を超え、27 週（6 月 30 日～7 月 6 日）が 0.47 件と最も多い報告があった。

保健所別定点当たり報告数では町田 67.83 件（前年 30.25 件）、大田区 24.00 件（前年 22.58 件）が報告数が多かった。

年齢階級別報告数では前年と同様 4～5 歳にピークが見られる。



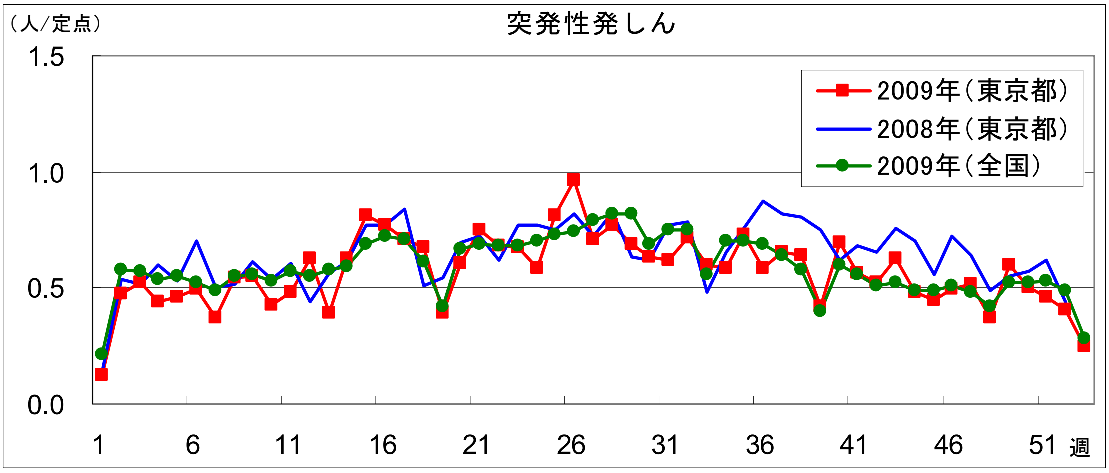
ケ　突発性発しん

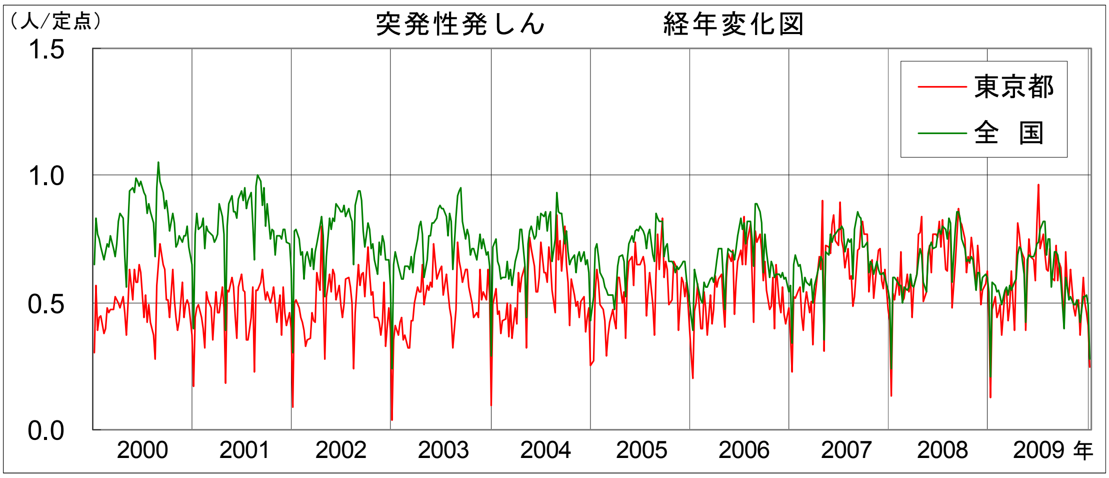
　2009 年の報告数は 4,463 件､定点当たり 30.24 件であり､ここ 10 年の定点当たりの平均報告数 28.44 件と比較して変わりがなかった。

　週別定点当たりの報告数は､26 週（6 月 23 日～6 月 29 日）に 0.97 件と小さなピークが見られるが､例年どおり季節変動は少ない。

　保健所別定点当たり報告数では、町田 77.92 件（前年 89.25 件）、八王子 71.00 件（前年 33.49 件）、多摩小平 54.93 件（前年 60.83 件）が多い。

　年令階級別では 4,463 件中 4,084 件（91.4%）が 1 歳以下である。





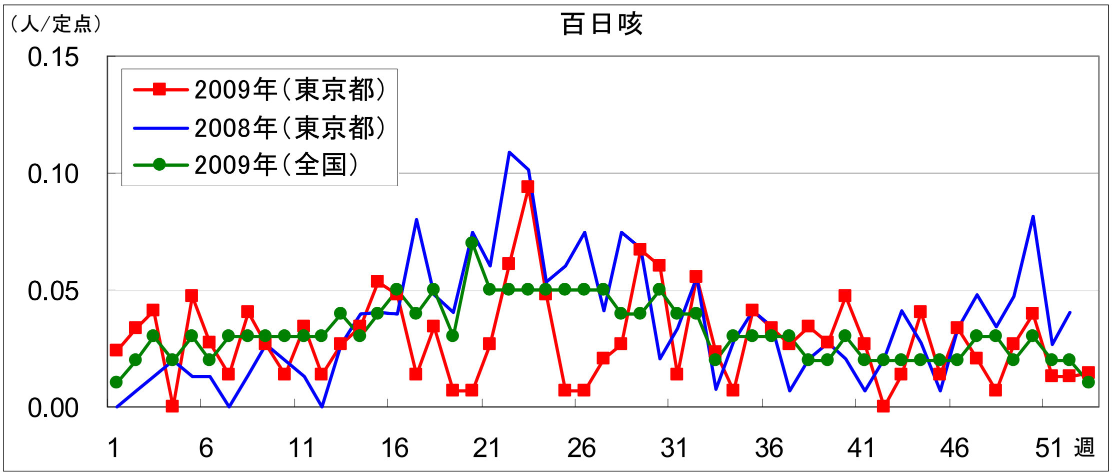
コ　百日咳

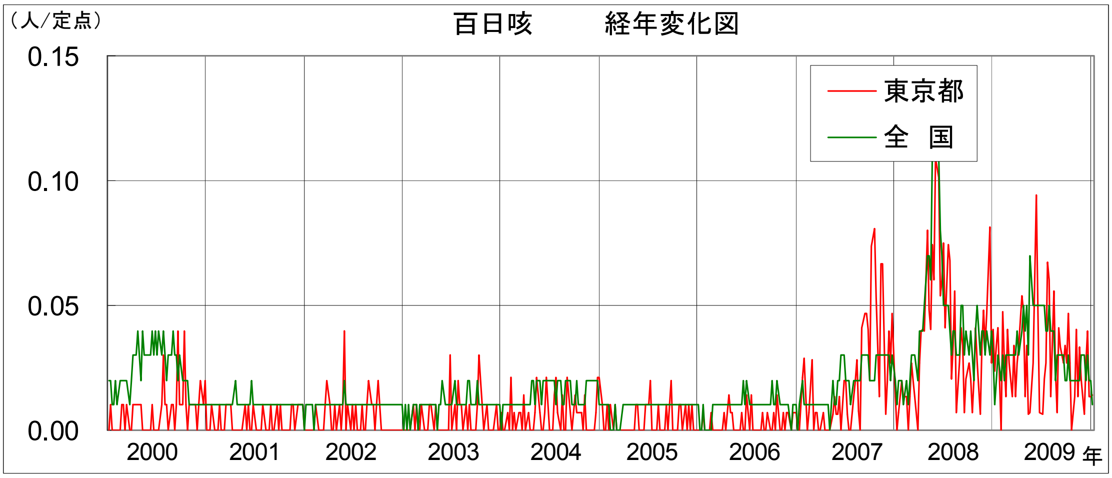
2009年は225件、定点当たり1.53件が報告された。

週別報告数では、23週（6月1日～6月7日）に14件が報告され、週別では最も多いが通年にわたって少数ではあるが報告されている。

保健所別では大田区が76件（定点当たり8.78件）、八王子市29件（定点当たり7.25件）が多い。

年令階級別では0～4歳47件、5～9歳16件、10～14歳25件、15～19歳9件、20歳以上128件が報告された。





サ　ヘルパンギーナ

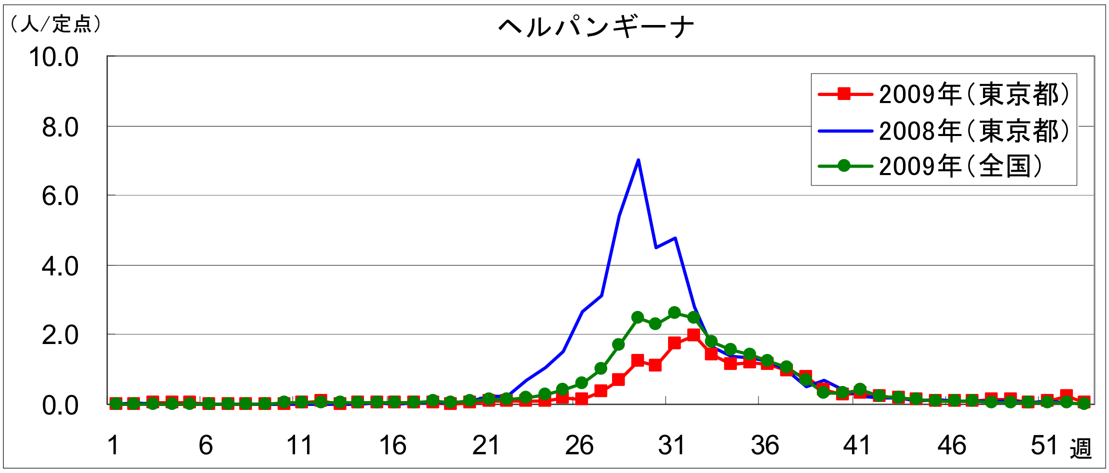
2009 年の報告数は 2,574 件、定点当たりの報告数は 17.63 件である。

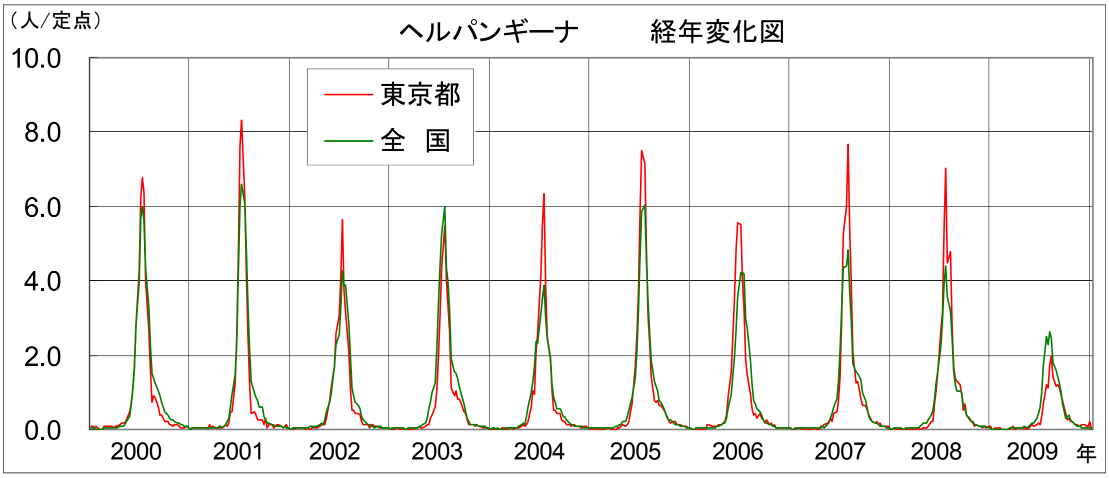
ここ 10 年の定点当たりの平均報告数は 39.73 件であり、2009 年はここ 10 年で最も少ない報告数となっている。

週別定点当たり報告数は 29 週～36 週（7 月 14 日～9 月 7 日）で 1.00 件を上まわり 32 週（8 月 4 日～8 月 10 日）が 1.99 件と最も多くなっている。

保健所別定点当たりの患者報告数は、町田 92.25 件、江戸川 51.75 件と前年と同様に多く報告されている。

年令階級別では 2,574 件中 2,069 件が 5 歳未満であり 80.4%を占めている。





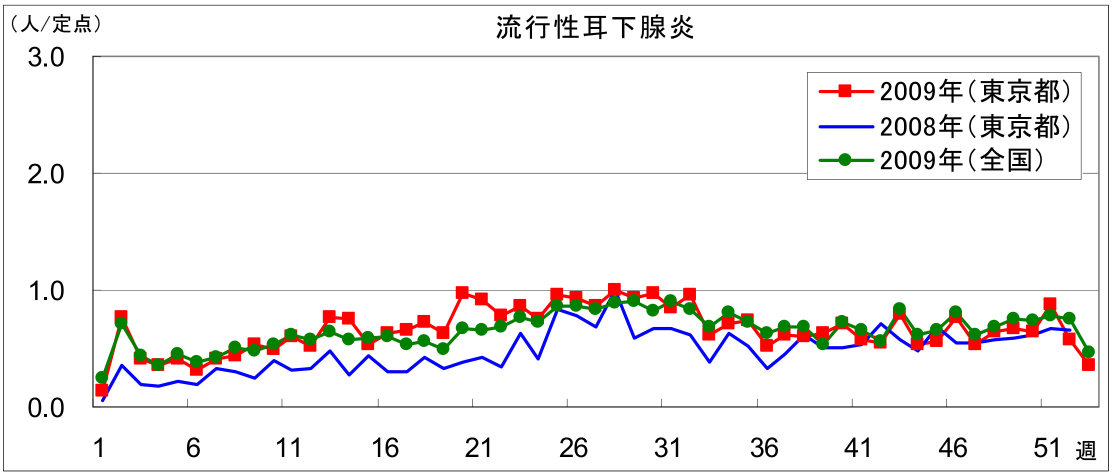
シ　流行性耳下腺炎

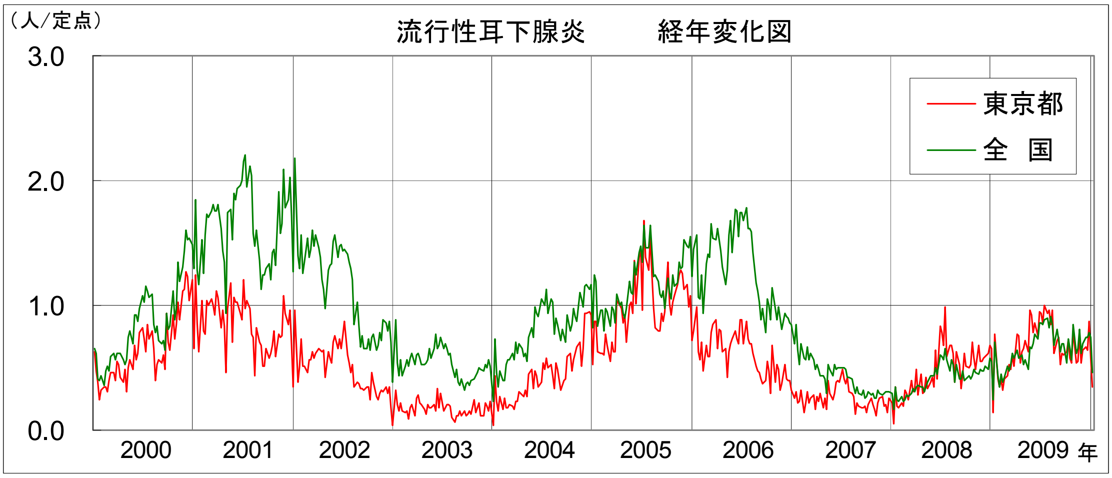
2009 年の報告数は 5,175 件、定点当たり 35.05 件であり前年より増加している。またここ 10 年の定点当たりの平均報告数 29.22 件を上まわっている。

週別定点当たりの報告数が 1.00 件を超えたのは 28 週（7 月 7 日～7 月 13 日）だけであり、この週前後にゆるやかな山が見られる。

保健所別定点当たり報告数は町田 193.92 件、西多摩 92.30 件が多く、前年 192.00 件と最も多かった荒川区は本年は 18.00 と減少している。

年令階級別報告数では 5,175 件中、4 歳代が 864 件と最も多く、その前後の 3 歳～6 歳で 3,016 件 58.3％を占めている。





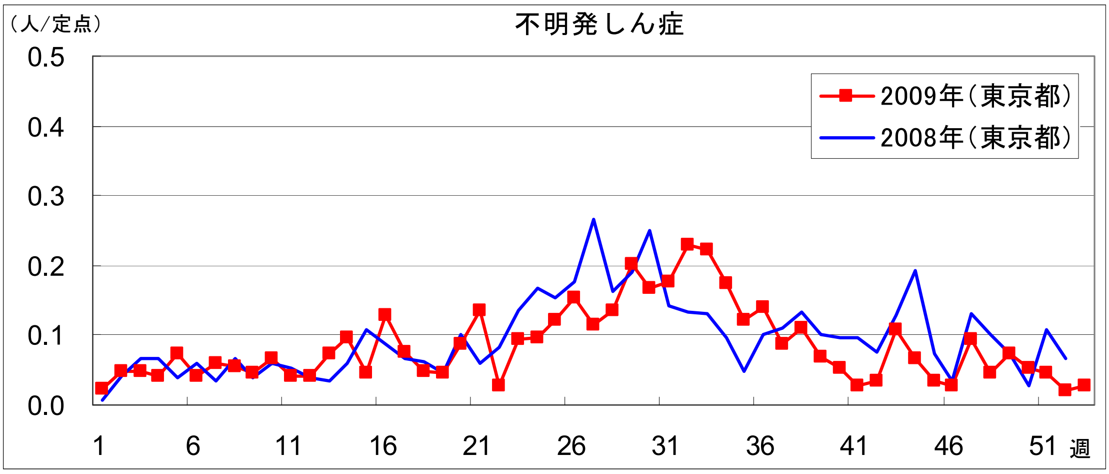
ス　不明発しん症

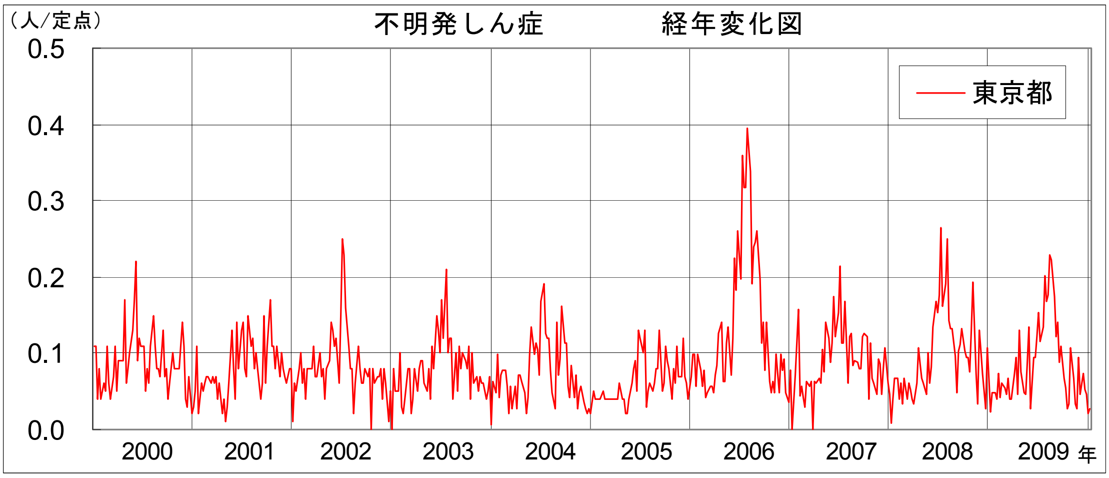
2009 年は 657 件が報告された。定点当たりの報告数は 4.48 件でここ 10 年の定点当たりの報告数の平均 4.49 件と同様であった。

週別定点当たり報告数では 32 週～33 週（8 月 4 日～8 月 17 日）で 0.20 件を超え、この前後に山が見られる。前年も 27 週（6 月 30 日～7 月 6 日）と 30 週（7 月 21 日～7 月 27 日）に 0.20 件を超えている。

保健所別定点当たり報告数は町田 38.42 件（前年 21.25 件）、荒川区 13.00 件（前年 17.00 件）の両地域に報告数が多く見られた。

年令階級別報告数では、1 歳代が 195 件と最も多く、3 歳以下が 657 件中 512 件であり 77.9%を占めている。



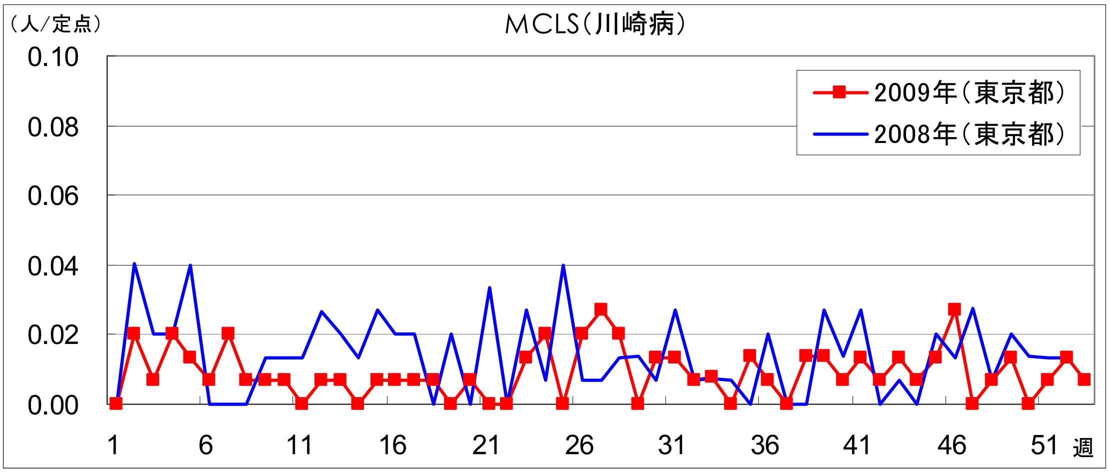


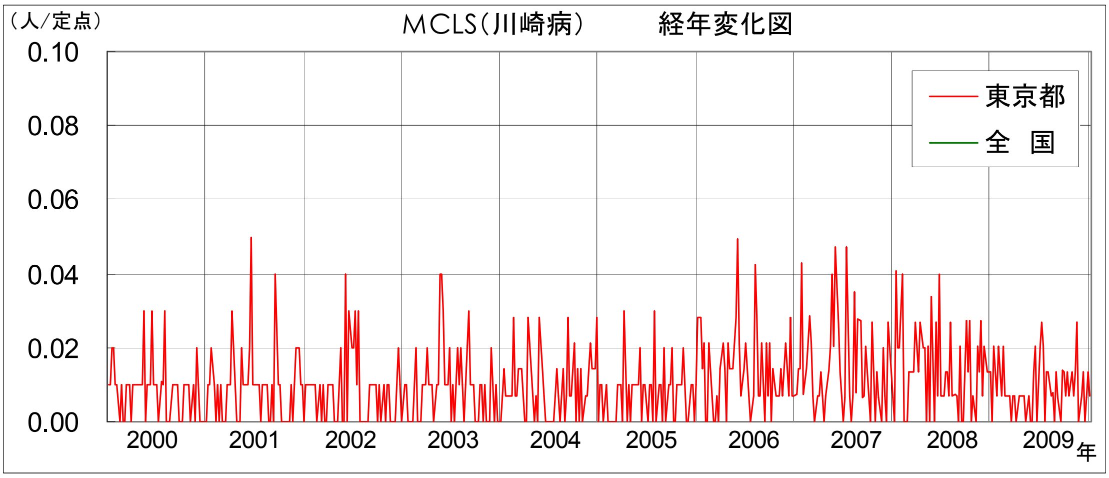
セ　MCLS（川崎病）

2009 年の報告数は 71 件、定点当たり 0.48 件であった。前年の 109 件定点当たり 0.73 件と比して減少しており、ここ 10 年の定点当たりの平均 0.54 件と比較しても少ない報告数である。

週別報告数は報告数が少ないため傾向はうかがえない。

年令階級別報告数では 1 歳以下が 71 件中 43 件で 60.6%を占めている。





(3)眼科疾患

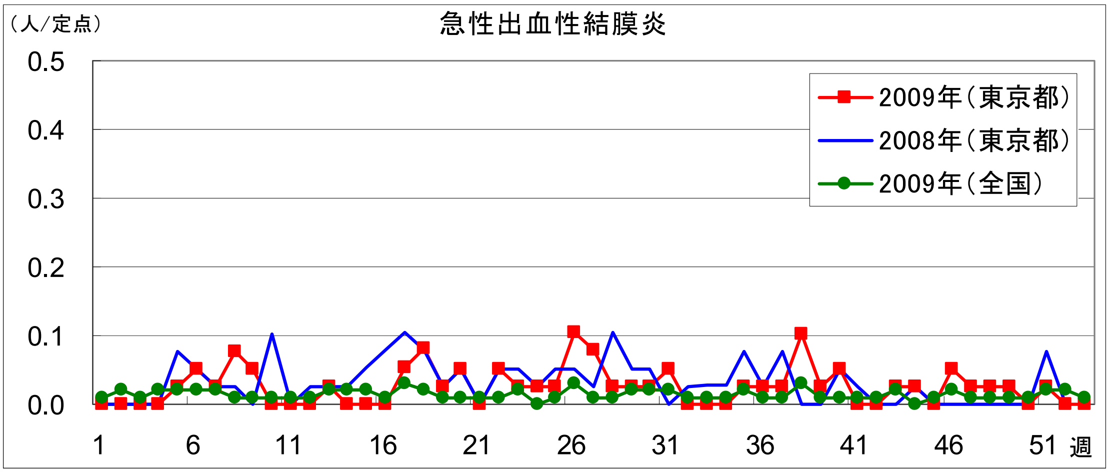
ア　急性出血性結膜炎

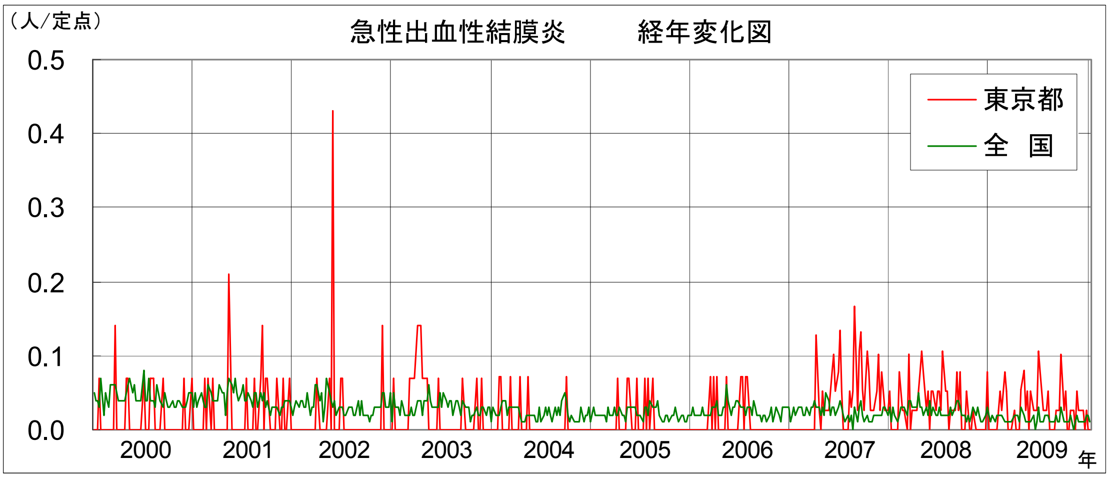
2009 年の報告数は 53 件（1.37／定点）で、前年（64 件、1.66／定点）比 82.8%と減少した。しかしながら、減少傾向にはあるが確実に存在しているということが引き続き示された。

患者発生数の推移では、第 8 週（2 月）、第 18 週（5 月）、第 26 週（6 月）、第 38 週（9 月）と小さなピークが 4 回見られたが、その他は 10 月から 12 月にかけて少数散発を認めるのみで、大きなピークは見られず、平均的に分散していた。週別の定点当たり報告数は 0～0.11 で、平均すると 0.03／定点／週という発生となり、2008 年と同じ値であった。全国の発生動向は、定点当たり発生数ではほとんどピークが見られず、東京よりもさらに低いレベルで分散した発生となっていた。

地域的には、昨年同様足立区が 13.50／定点と突出しており、次いで葛飾区が 8.00／定点、品川区が 2.00／定点であり、眼科定点のある 12 医療圏のうち、報告のあったのは 9 医療圏で、区部が全体の 91%を占めた。また、区中央部圏、西多摩圏、北多摩北部圏からは報告がなかった。

罹患年齢では、30 歳代をピークに 30～59 歳で全体の 60%を占め、さらに 10～29 歳で 20%を占めており、活動範囲との相関が推測された。また、1 歳未満の発生報告はなかった。





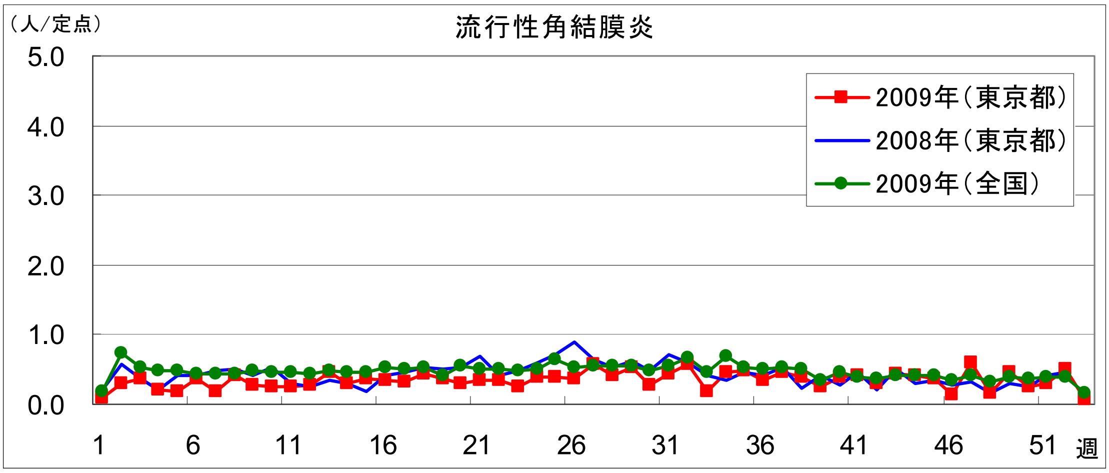
イ　流行性角結膜炎

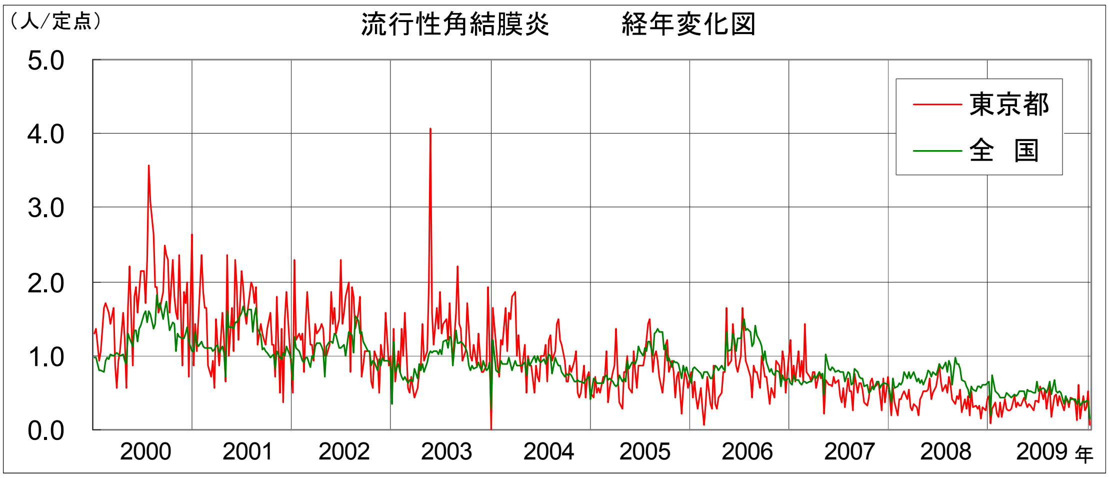
2009 年の報告数は 703 件（18.28／定点）で、前年（865 件、22.41／定点）比 81.27%と減少した。定点当たりの報告数は 2000 年（88.57／定点）をピークに以後毎年減少し、2005 年に 50.00／定点を割り、2006 年に 40.00／定点を割り、本年は 20.00／定点をも割り込んだ。

患者発生は全週に見られ、一週当たりの発生件数は 2～23 件で推移していた。週当たり 20 件を超えたのは第 27 週（6～7 月）、第 32 週（8 月）、第 47 週（11 月）の 3 回だけで、その一方 10 件未満の報告は 53 週中 8 週に過ぎず、概ね 10 件台の発生で推移しており、特別なピークは見られなかった。週別の定点当たり報告数では 0.06～0.61 となり、平均すると 0.34／定点／週という発生であった。全国でも週別の発生は 1.00／定点を割る低い発生状況で大きな変動は見られないが、東京は本年もさらに低いレベルで同様に推移していた。

地域的には全ての地区から報告があり、新宿区の 56.50／定点を筆頭に、文京、多摩小平、中央区が突出しており、いずれも 30.00／定点を越えていた。その一方で、町田、池袋の 2 地区が 5.00／定点を割っていた。なお、新宿区と文京は大学施設が定点に含まれていることが影響していると考えられた。23 区部での発生は 537 件（19.89／定点）で、多摩地区では 166 件（13.83／定点）であった。

罹患年齢の傾向は例年通りで、全ての年齢階級から報告がなされたが、20 歳から 39 歳が 347 件と約半数を占め、20 歳から 59 歳が 507 件（72.1%）であった。10 歳未満は 72 件（10.2%）であったが、うち 54 件が 5 歳以下であった。



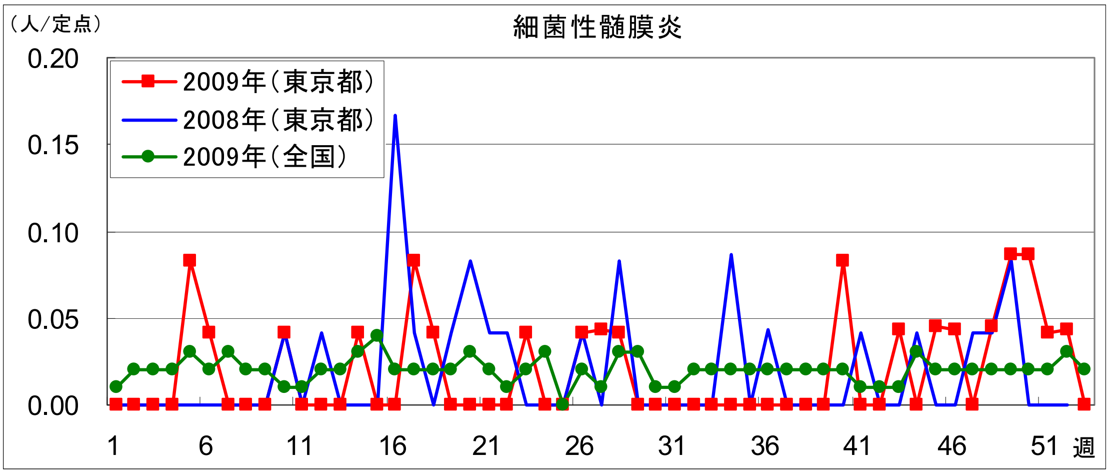


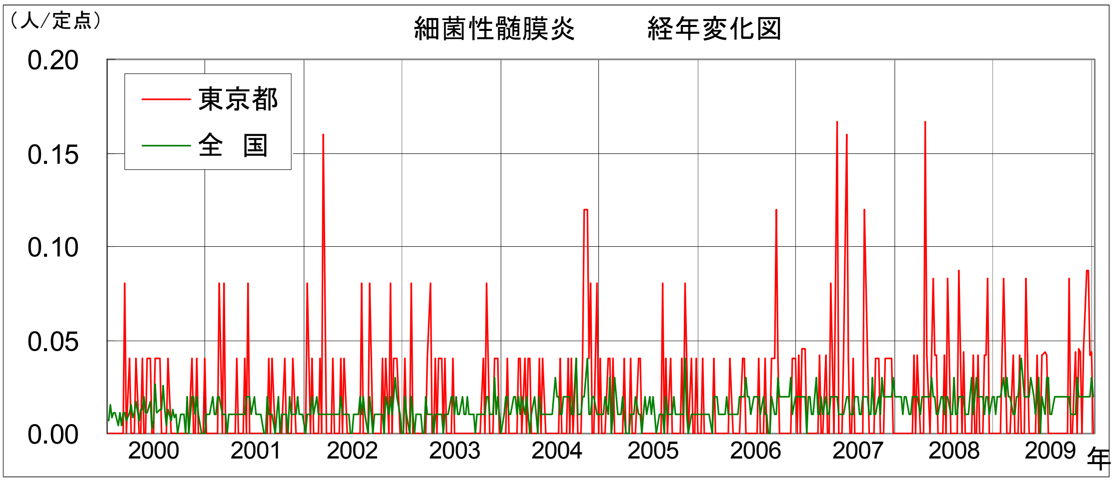
（4）基幹定点における週報告疾病

ア　細菌性髄膜炎

2009 年の患者報告数は 24 件で前年と同数である。定点当たりは 1.02 件でこの 10 年の平均 0.82 件よりやや多い。

週別報告数を見ると、報告数が無いか、1～2 件の報告数にとどまり、特に集積していると思われる週は見られない。保健所別報告数で見ると、24 件中 12 件が多摩府中より報告されており、前年の 3 件に比して増加している.また年齢階級別報告数を見ると、2 歳以下が 13 件で 54.2%を占める。



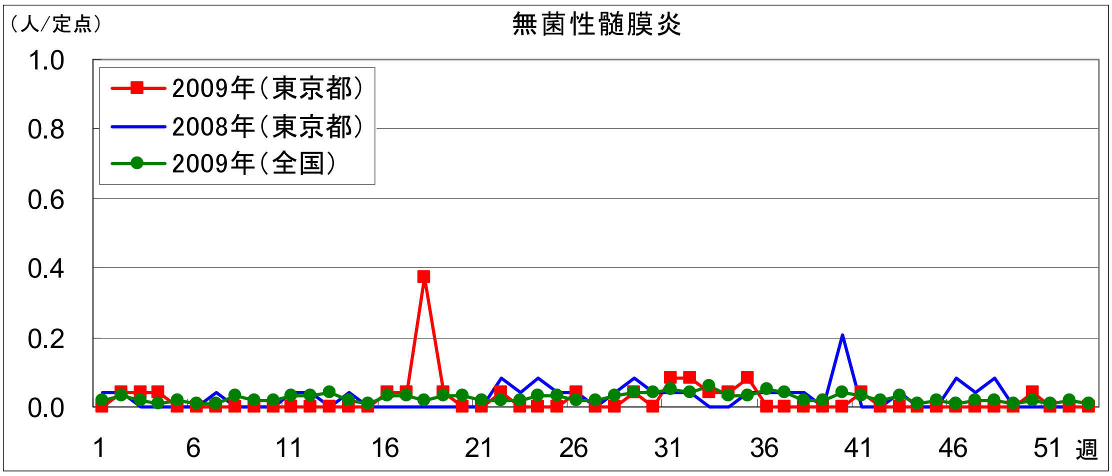


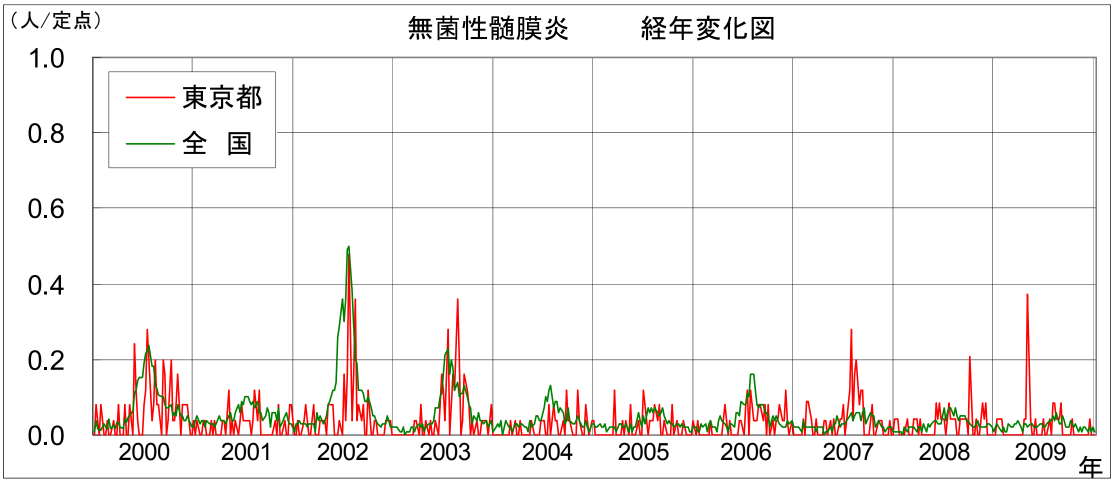
イ　無菌性髄膜炎

2009 年の報告数は 28 件で定点当たり 1.17 件である。ここ 10 年の定点当たりの平均 1.72 件と比して少ない。

週別報告数を見ると 18 週（4 月 28 日～5 月 4 日）にとび抜けて多い 9 件の報告があった。保健所別報告数では、新宿区が前年の 6 件より 12 件と増加し、最も多くなっている。

年齢層別報告数では 10 歳未満が 21 件と 75%を占めている。

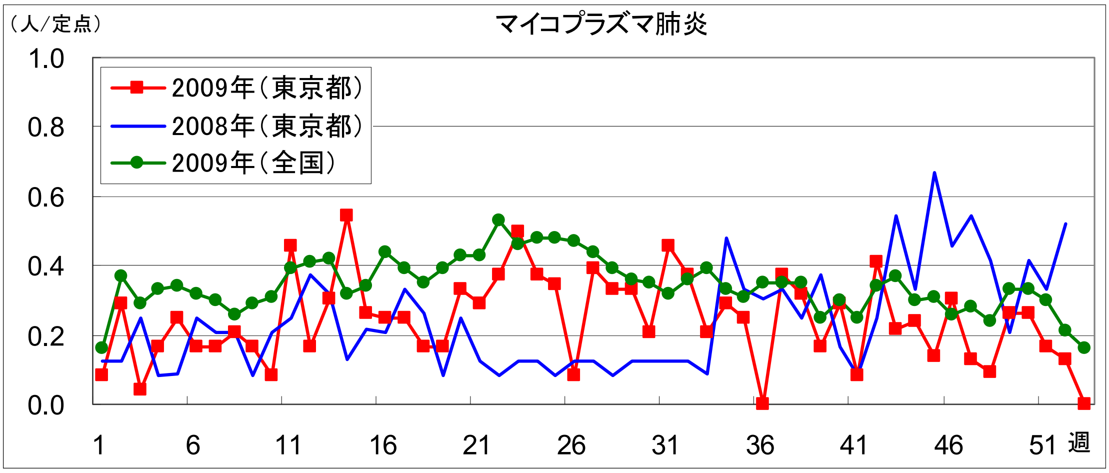


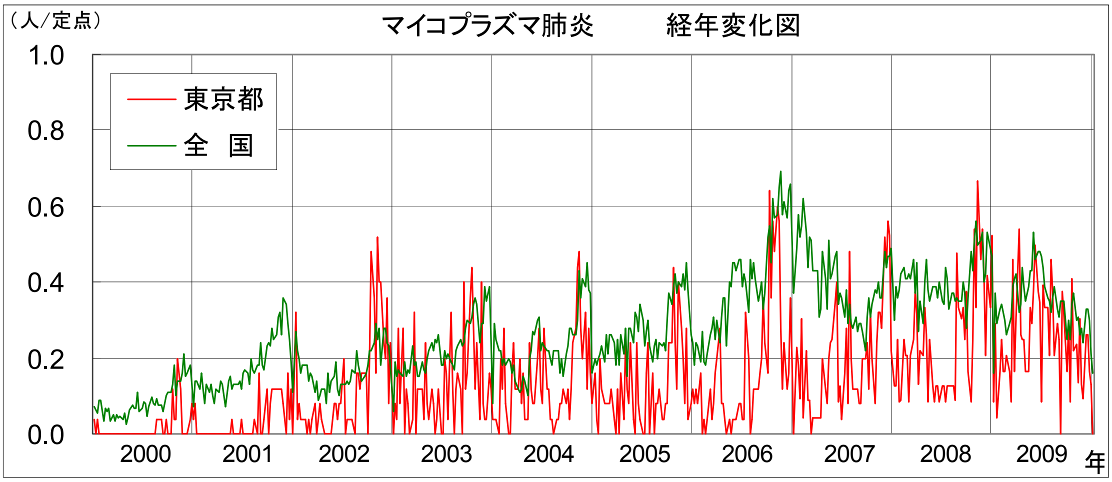


ウ　マイコプラズマ肺炎

2009 年の報告数は 305 件で、定点当たり報告数は 12.93 件でここ 10 年では最多となっている。

週別定点当たり報告数が 0.50 を超える週は、14 週（3 月 31 日～4 月 6 日）と 23 週（6 月 2 日～6 月 8 日）に見られるが、明らかな季節変動は見られない。保健所別定点当たり報告数では、葛飾区が 131.00 件（前年 134.00 件）、新宿区 34.00 件（前年 26.00 件）、多摩府中 28.50 件（前年 13.00 件）が多く報告されている。



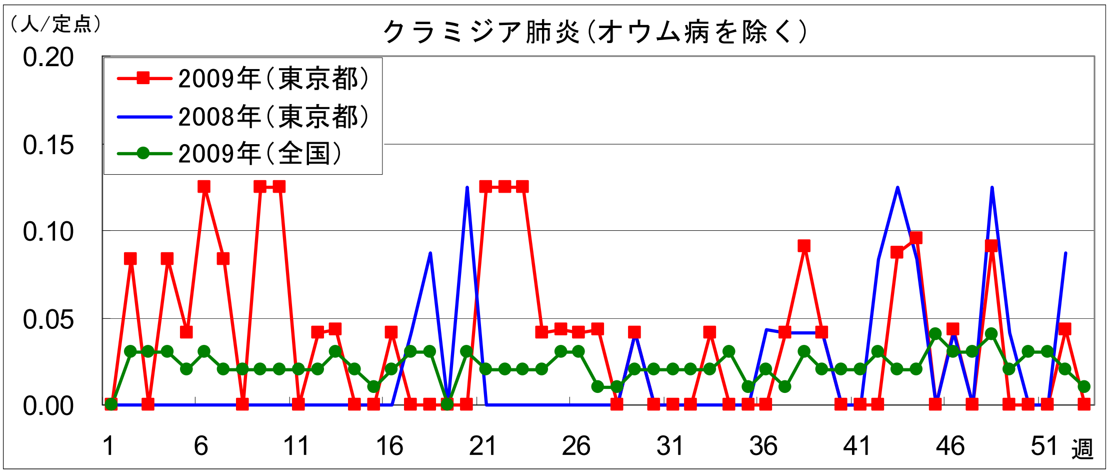


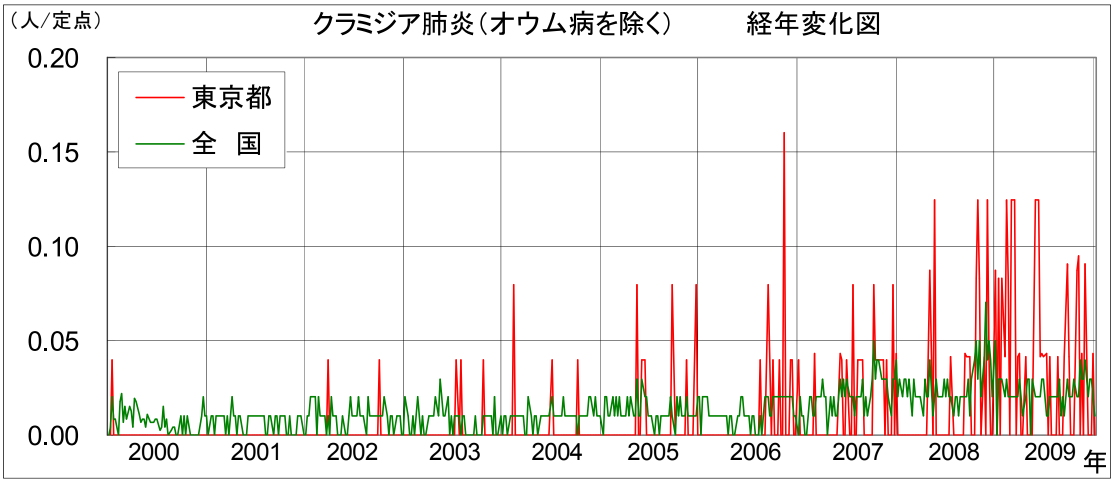
エ　クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2009 年の報告数は 46 件、定点当たりの報告数は 1.96 件でこの 10 年で最多である。

週別定点当たり報告数で 0.10 を超える週が、6 週（2 月 4 日～2 月 10 日）、9 週～10 週（2 月 25 日～3 月 9 日）、21 週～23 週（5 月 19 日～6 月 8 日）に見られたが、年によって変動があり季節性ははっきりしない。

保健所別報告数では葛飾区が 33 件であり全都の 71.7%を占めている。年令階級別では 60 歳以上が 31 件で全体の 67.4%である。





(5) 基幹定点における月報告疾病

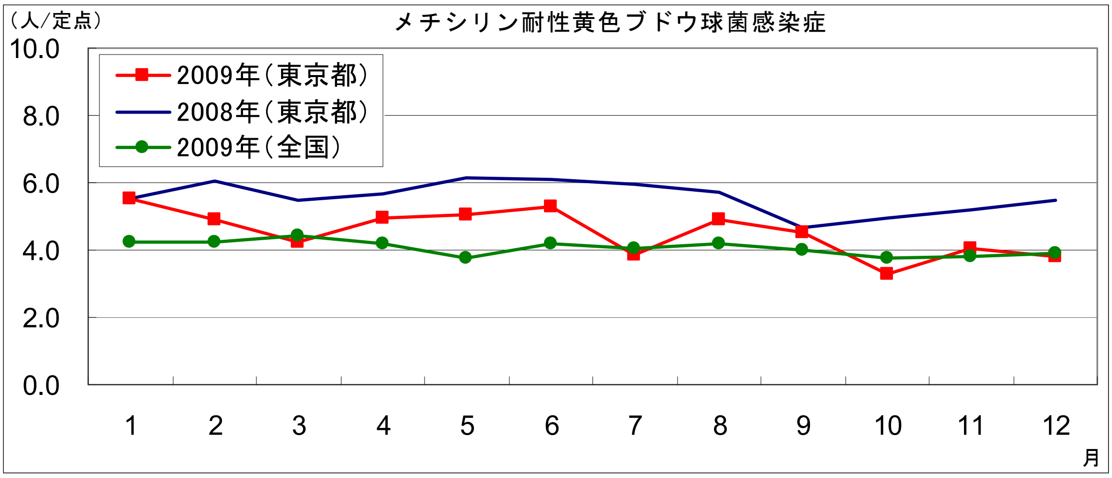
ア　メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

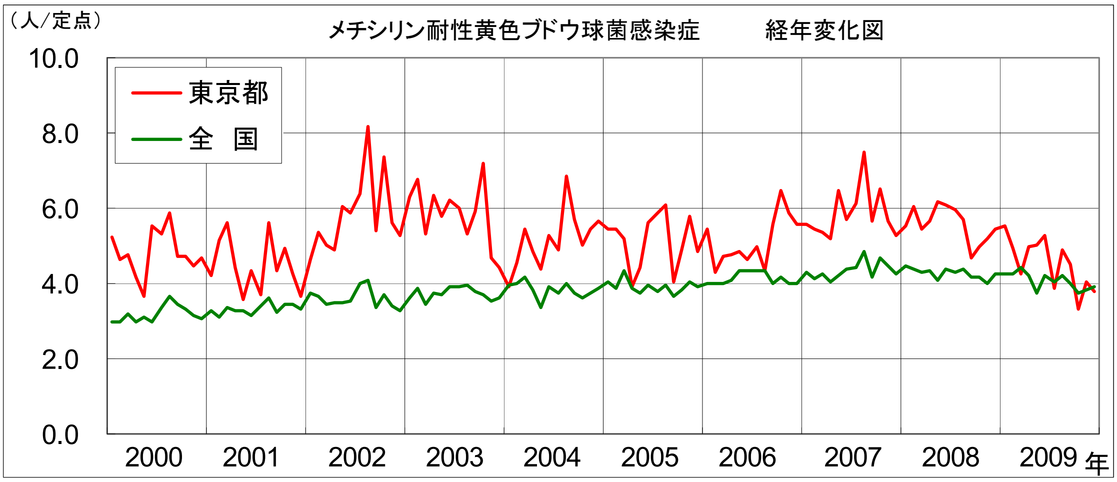
2009 年の報告数は 1,290 件、定点当たりの報告数も 54.44 件と前年を下まわっており、ここ 10 年で最も少ない報告数になっている。

月別定点当たり報告数は最少が 10 月の 3.30 件であり、最多が 1 月の 5.54 件となっており、季節変動ははっきりしない。

男女別では男性 821 件、女性 469 件の報告数があり、男性が多いが男女とも報告数は前年を下まわっている。

年令層別では 60 歳以上が 69.8%を占めている。



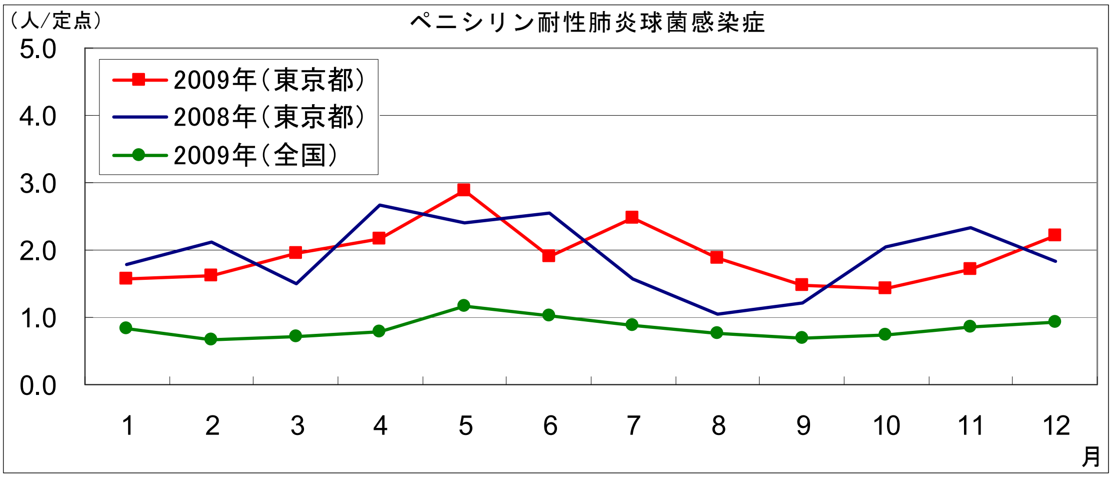


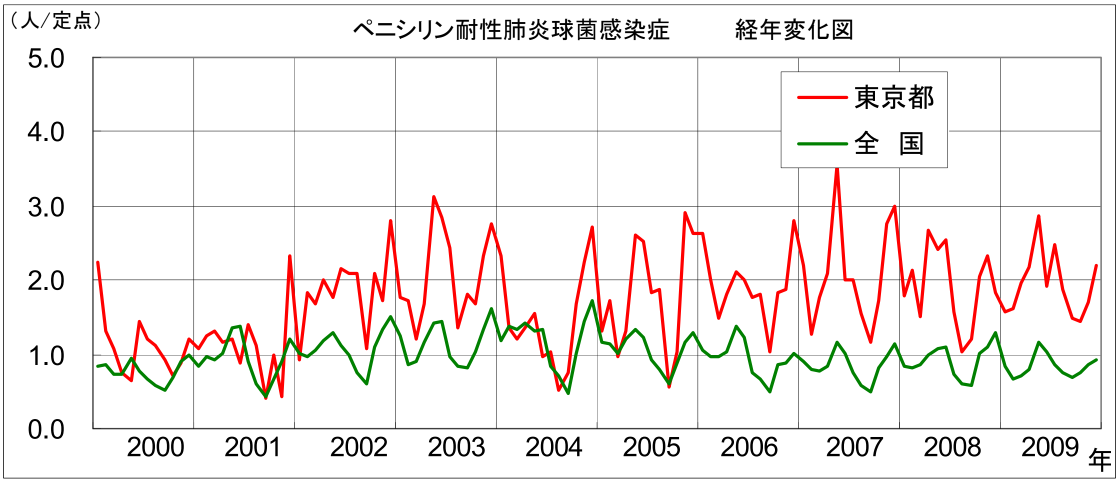
イ　ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2009 年の報告数は 552 件、定点当たり報告数は 23.30 と前年とほぼ変わりはない。月別報告数を定点当たりで見ると、1.43 件（10 月）～2.88 件（5 月）に分布している。

男女別では男性 317 件、女性 235 件と男性に多いが、前年比では男性はやや減少、女性はやや増加となっている。

年令層別では 4 歳以下が 352 件で全体の 63.8%を占めている。





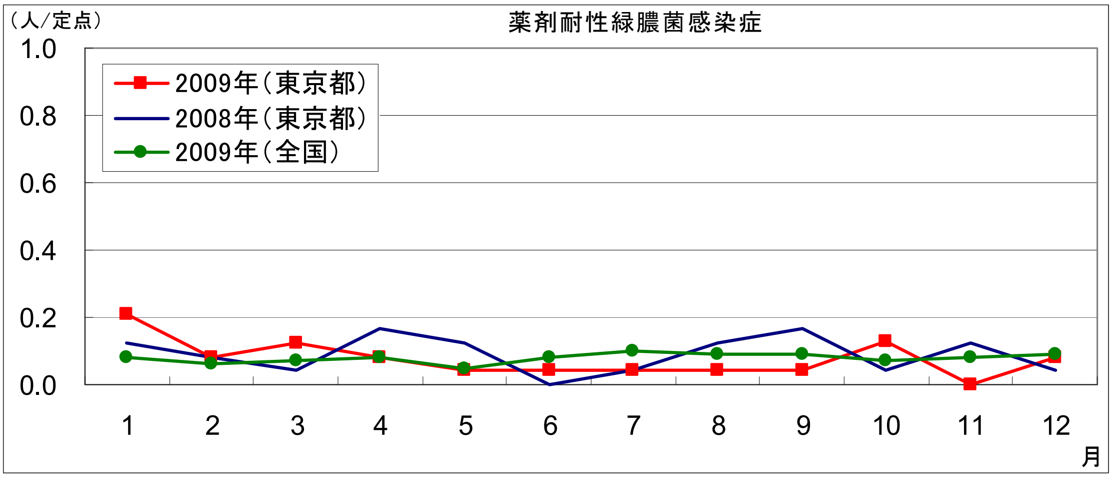
ウ　薬剤耐性緑膿菌感染症

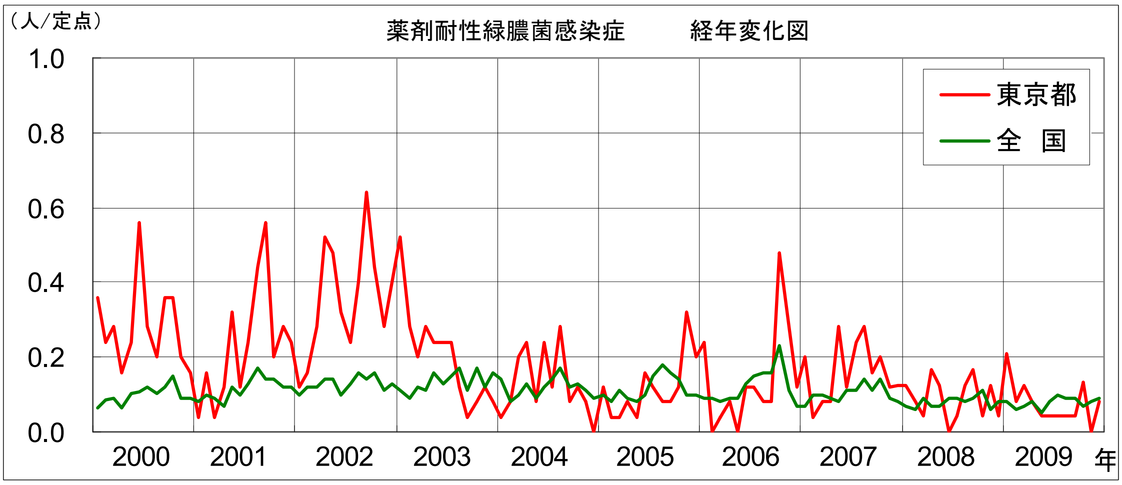
2009 年の報告数は 22 件、定点当たり 0.93 件の報告数であり、この 10 年で最も少ない報告数であった。

月別報告数は 1 月が 5 件と最多であったが、前年は 4 月と 9 月が多く、季節性は明確でない。

男女別では男性 14 件、女性 8 件で、前年比では男性が減少する一方、女性では増加が見られた。

年令層別では 60 歳以上が 12 件で 54.5%を占めている。



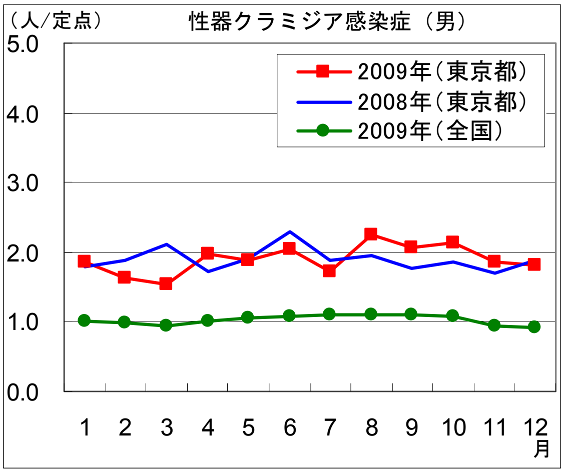


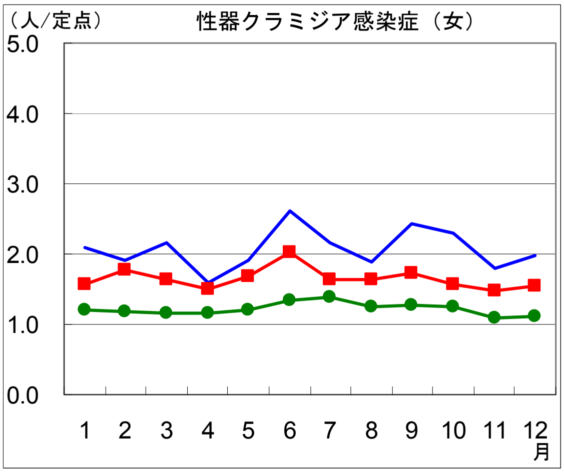
（6）性感染症（STI）

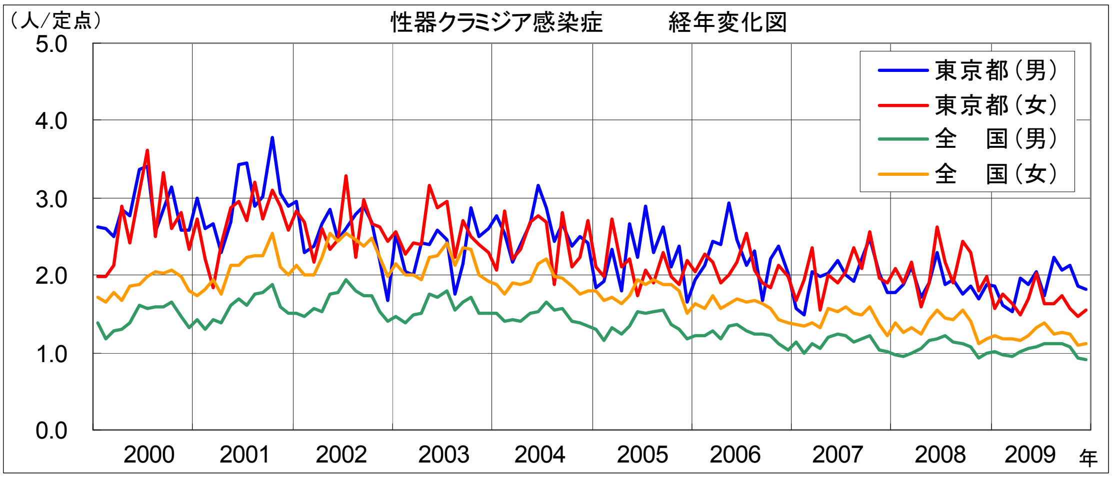
感染症抑制には、疫学の嚆矢となった「ロンドンの上水汚染によるペスト流行の原因解明による終息」の故事によるまでもなく、的確な疫学調査による高リスク者の把握、情報公開と根拠に基づく適切な対策が必要である。HIV／エイズの症例数は、他の STI の減少傾向とは異なり、2008 年まで増加したが、2009 年は都で 13.4%減少した。STI も HIV／エイズも抑制不可能ではなく、高リスク層への普及啓発により抑制可能である。最近の映像伝達技術の発展により性活動は性器に限らず全身接触に変化し、淋菌の咽頭、直腸感染に代表されるように「STI 起因菌の性器外感染」が多発している。医療はこの現況に追いつかず、例えばクラミジア抗体陽性症例診療において「尿のみの病原体検査陰性」によりクラミジア感染を否定するなどの不正確な対応となっている。性器外感染の増加から STI 病原体検出について性器とともに咽頭、直腸など複数部位からの同時検体採取の保険適用が求められる。サーベイランスについても性器外感染を報告に含める必要がある。日本で発見、命名された成人 T 細胞白血病は、サーベイランス対象外であるが、感染の大部分を占める母子感染は「断乳による防止」が可能である。本年産婦人科学会により妊婦検診が提案されたことは遅ればせではあるが喜ばしい。

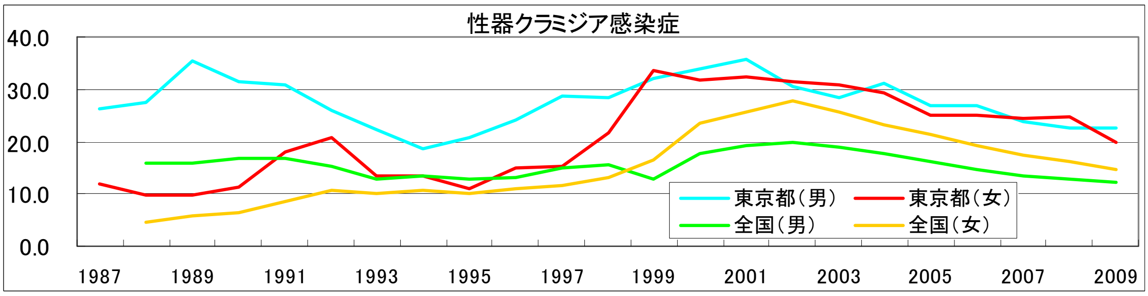
ア　性器クラミジア感染症

定点当たり報告数は男子 12.74（22.67）、女子 19.77（24.84）。一般的には「クラミジア感染は減少していない」と云われがちであるが、サーベイランスでは東京都、全国ともに 2000 年代の右肩下りの減少傾向が明白である。南新宿検査・相談室の被検者における梅毒抗体陽性率は男女とも 1%以下であるのに対して、クラミジア抗体陽性率は非 MSM20%超、女子 30%超で減少傾向はない。本症の知識の一般化、アジスロマイシンによる単回投与療法の普及にもかかわらず、抑制が顕著でないのは、本症が STI の中でも特に自覚症状を欠くためであろう。保健所などでの HIV 匿名無料検査の際にクラミジア抗体検査が行なわれることが多いが、一般の疾患に対する理解が不十分で、保健所などでも正しい説明がなされないために抗体検出の目的が達せられない場合が多い。IgA 抗体は活動性感染を意味するのではなく、IgA 抗体と IgG 抗体との間に臨床的意義の相違はない。また IgA 抗体の陽性率は IgG 抗体陽性率より低く、IgG 抗体のみ陽性の感染者も多い。そのため IgA 抗体検出の必要性は低い。クラミジアの治癒は感冒などの抗菌薬服用の際に偶然に起こっている場合が多い。治癒後の抗体陰性化は男子では約 1 年後、女子では約 2 年後であり、抗体陽性はその時点での感染者と治癒後の既往者を含む。抗体陽性で受診しても医師によるクラミジア検出は性器に限られ、咽頭、直腸の感染の有無は不明のままとなる。服薬による陰性化は全ての部位で生じる。以上からクラミジア抗体陽性は約 2 年以内の直近の感染を意味し、その経時的チェックは自分の STI 感染リスクの推移の指標となる。


（人/定点）
性器クラミジア感染症（男）
2009年（東京都）
2008年（東京都）
2009年（全国）
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月

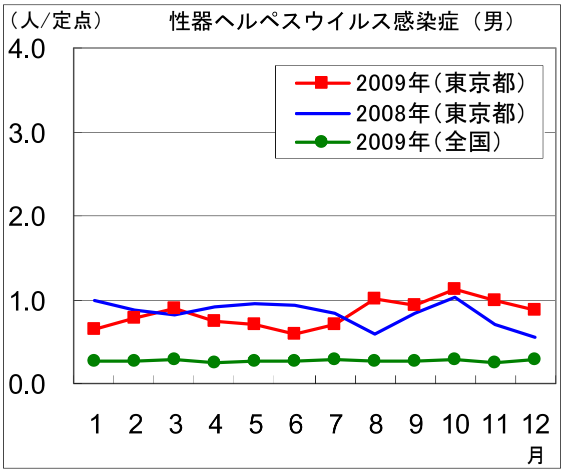

（人/定点）
性器クラミジア感染症（女）
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月

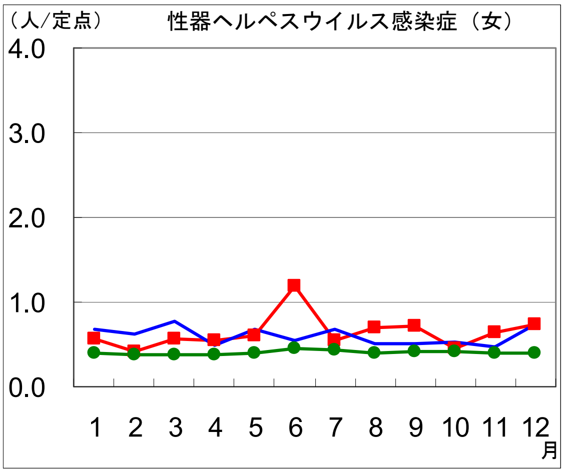

（人/定点）
性器クラミジア感染症　経年変化図
東京都（男）
東京都（女）
全　国（男）
全　国（女）
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
年

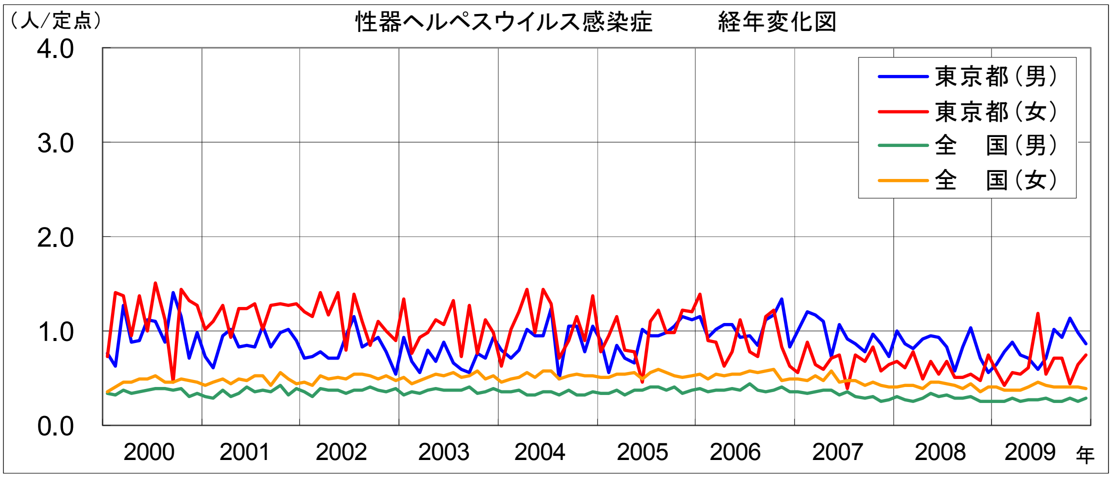

性器クラミジア感染症
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
東京都（男）
東京都（女）
全国（男）
全国（女）
1987
1989
1991
1993
1995
1997
1999
2001
2003
2005
2007
2009

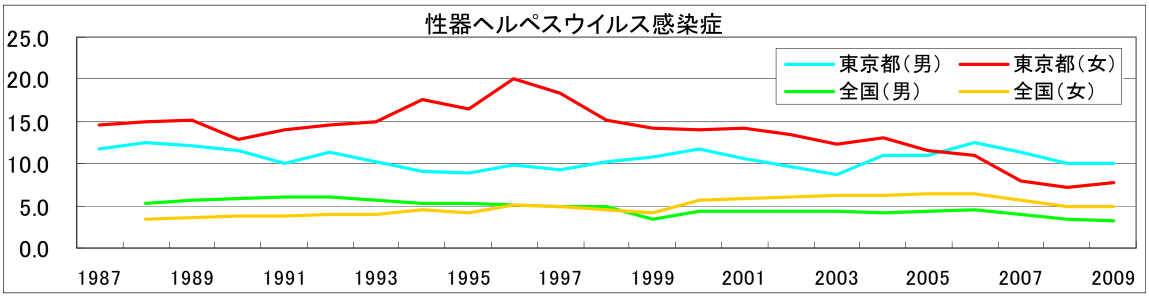
イ 性器ヘルペスウイルス感染症

定点当たり症例数は男子 10.00（10.03）、女子 7.69（7.22）で、経年変化図にみるように東京都では全国と異って、2005 年以後はそれまで長期間男子を上廻り続けた女子が男子を下廻り続けている。HSV は初感染による皮疹をつくった後、その領域を支配する神経根細胞に潜在し、過労、ストレスなどにより同一部位に皮疹発症をくり返す。男子では再発は少ないが、女子では症例は少ないが執拗に再発をくり返す症例がある。本症の女子の報告症例数は他の STI に比べて 40 歳以上の年令層の比率が高く、再発症例の報告が含まれるためといわれる。初発と再発との臨床的識別は容易でないが、サーベイランス報告は初発症例に限るとされている。都では高年令層の比率の低下があり、再発症例の報告の減少による可能性がある。



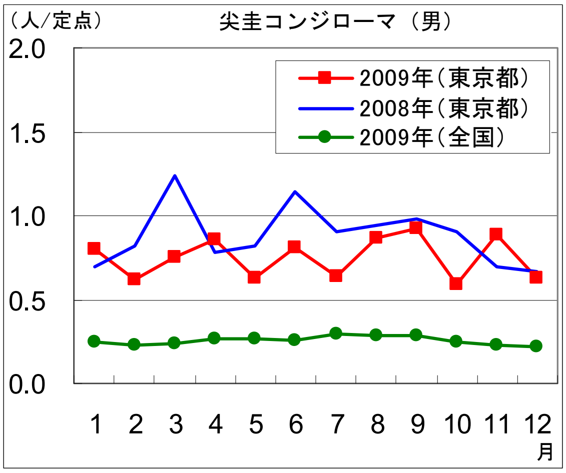




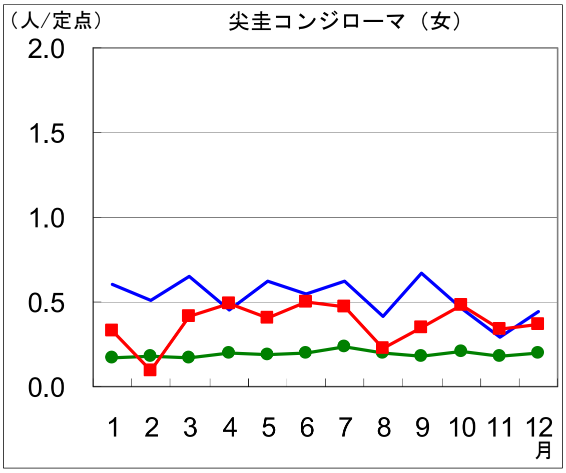


ウ　尖圭コンジローマ

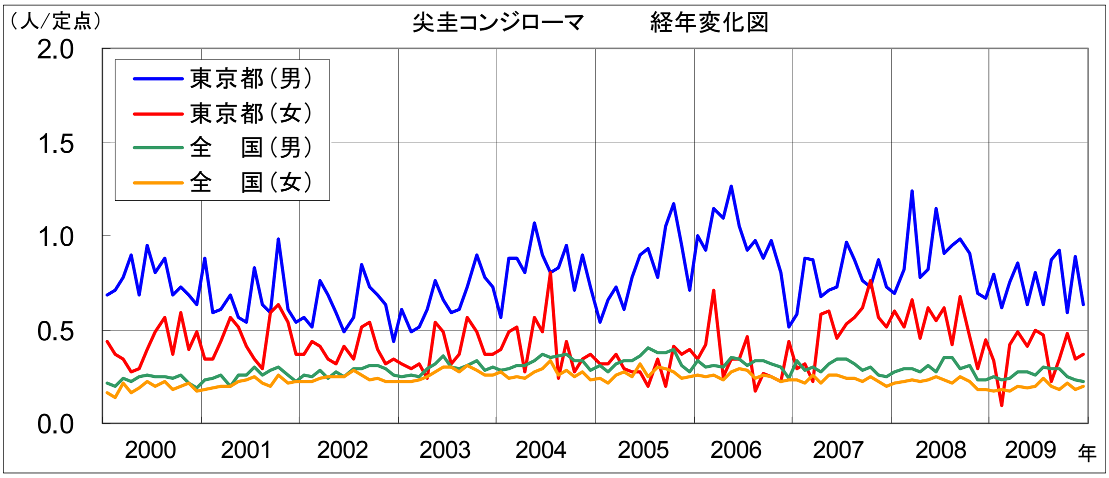
定点当たり報告数は男子 9.0（10.59）、女子 4.47（6.29）で、ともに減少した。HPV は 100 種以上存在し、その中に 6、11 型など半年以内の短い潜伏期間で良性である本症を起こすものと、16、18 型など長い潜伏期間の後、子宮頸癌の起因となるものが含まれる。このような HPV に対して日本でも昨年からワクチン使用が開始された。頸癌は日本で年間約 1 万人発症し、約 3000 人死亡すると言われている。頸癌に対しては細胞診による早期診断、治療法が確立されている。頸癌の細胞には、半世紀継代された Hela 細胞にもみられるように HPV のゲノムが存在する。成人女子の約 80%に HPV の感染歴があると言われるが、大多数は自然に陰性化し、発癌は 1/1000 以下である。感染の経路は性交といわれるが、男子の感染率はきわめて低く、クラミジア抗体陽性率の約 30%と比べてもあまりに多い女子の感染源は不明確である。自然感染の場合、抗体量は少なく検出困難で、抗体があるにしても再感染を防がない。HPV は人工培養不可能で、ワクチンの抗原は遺伝子工学で作られる HPV の骨格タンパクだけのウイルス様粒子（VIP）で増殖力はない。そのためワクチンは 3 回接種、対象は 10 歳以上の女子とされる。ワクチンは日本では高価なため、接種者は少数に留まると思われる。頸癌の予防効果を評価するには困難が予想される。潜伏期が短い本症のサーベイランス報告数がワクチンの有効性の指標となるかもしれない。



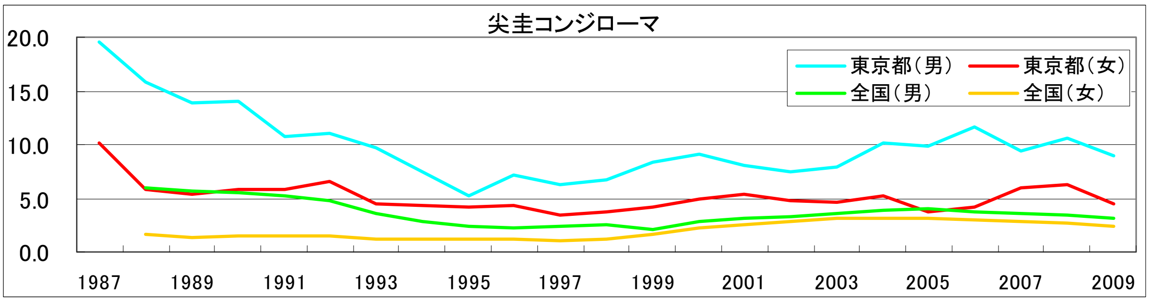
（人/定点）
尖圭コンジローマ（男）
2009年(東京都)
2008年(東京都)
2009年(全国)
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
月



（人/定点）
尖圭コンジローマ（女）
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
月



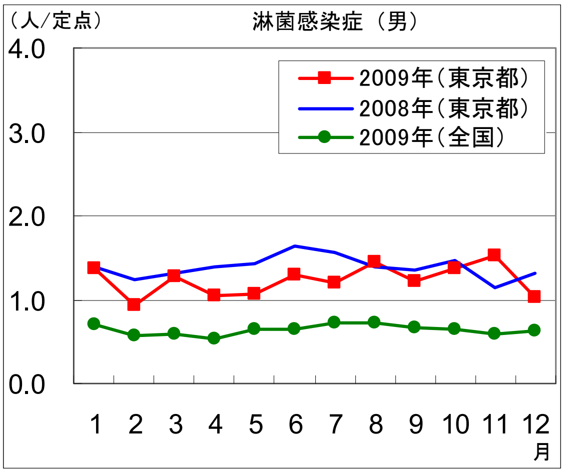
（人/定点）
尖圭コンジローマ　経年変化図
東京都(男)
東京都(女)
全　国(男)
全　国(女)
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009
年

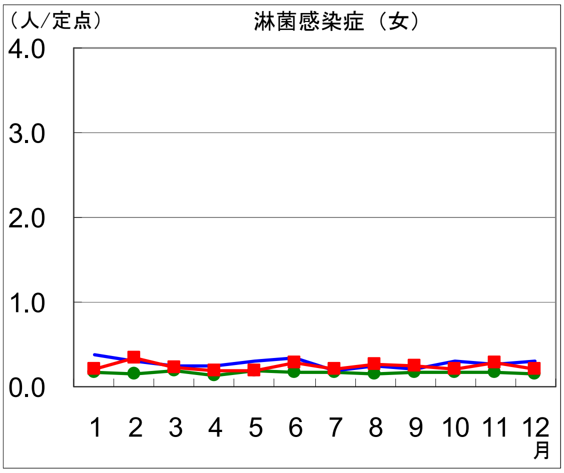


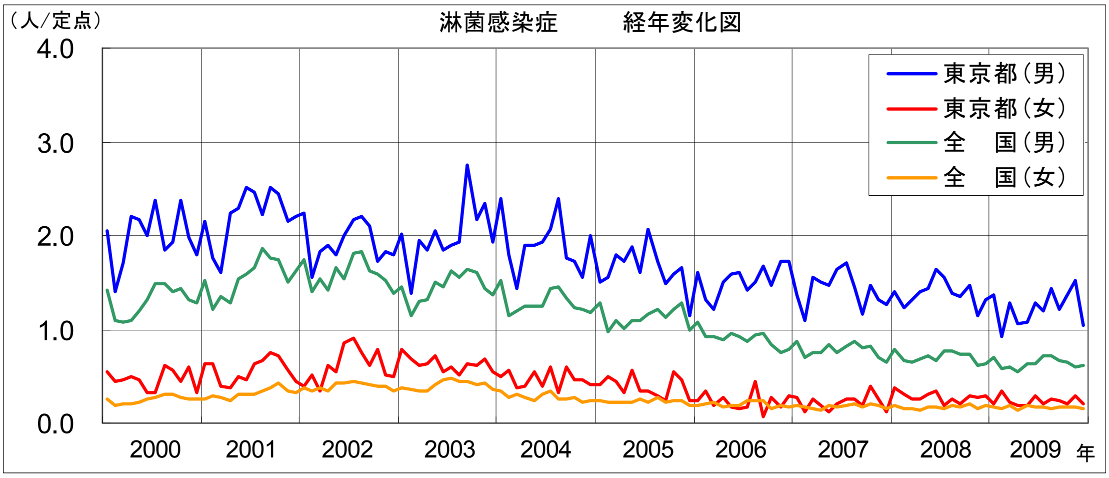
尖圭コンジローマ
東京都(男)
東京都(女)
全国(男)
全国(女)
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
1987 1989 1991 1993 1995 1997 1999 2001 2003 2005 2007 2009

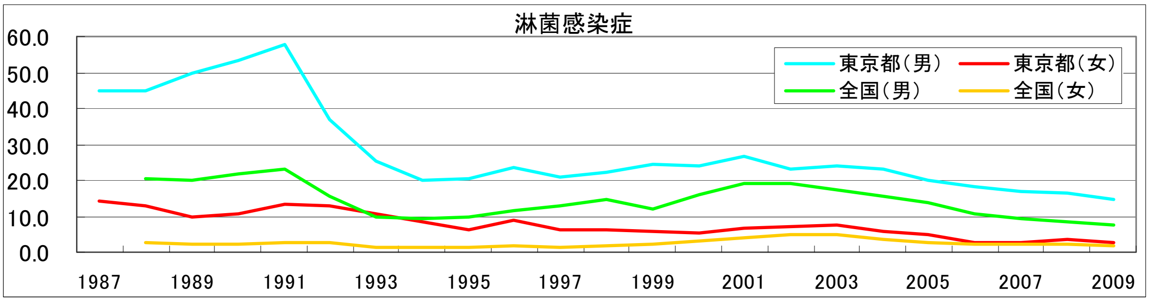
エ　淋菌感染症

定点当たり報告数は男子 14.80（16.63）、女子 2.87（3.36）で、経年変化図にみるように東京都、全国ともに 2003 年以後減少傾向が続いている。淋菌はとくに薬剤耐性化が速く、サルファ剤、ペニシリン、キノロンとかつての第 1 選択薬に対して次々と「淋菌陰性化不可能となる耐性化」を獲得してきた。日本での耐性化が世界にさきがけて早かったのは、「薬剤に接触した淋菌の生き残りを許さない」という抗菌薬使用の鉄則に基づく「治療後の淋菌陰性化の確認」、「単回投与療法」が十分に行われなかったことによる。現在用いられるロセェフィン（CTRX）の「単回投与後の淋菌 MIC をこえる血中濃度の持続時間」が淋菌陰性化に十分であることが、2000 年代淋菌の薬剤耐性が著しくない理由である。



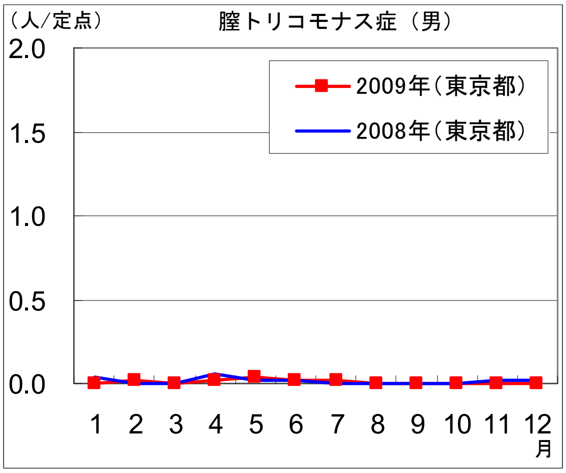


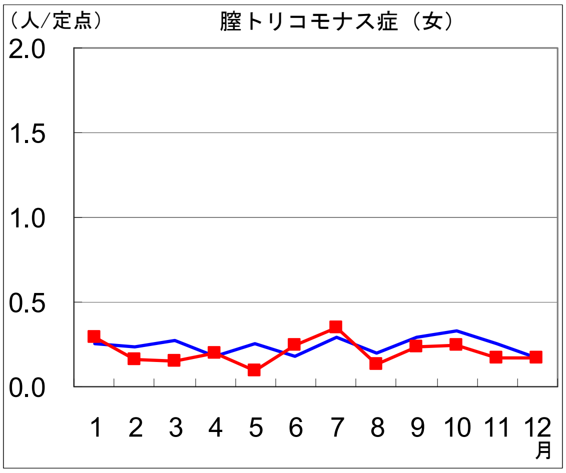


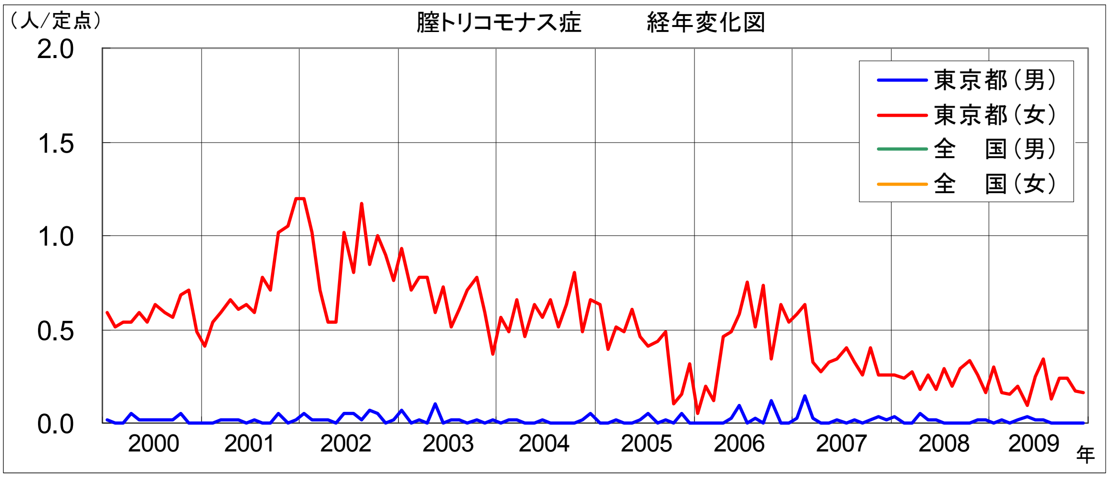


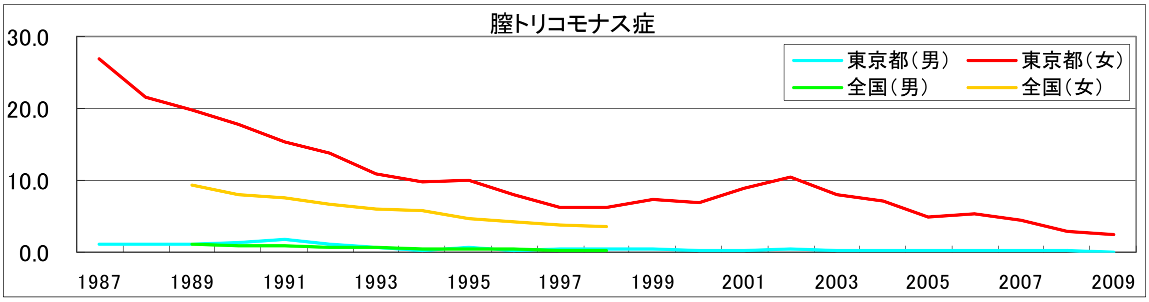
オ　膣トリコモナス症

定点当たり報告数は 0.11（0.16）、女子 2.44（2.92）とともに減少している。東京都の本症報告数はおおむね順調に減少している。



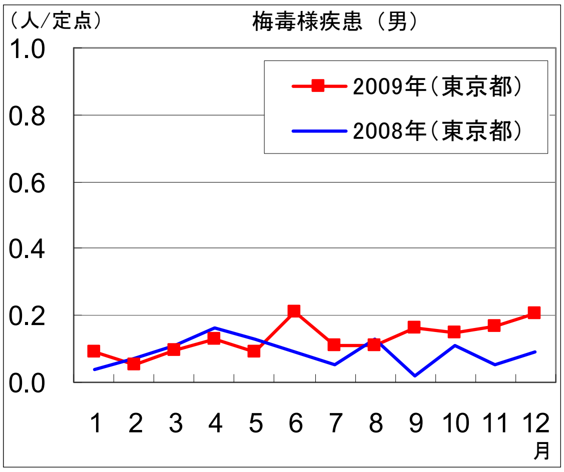


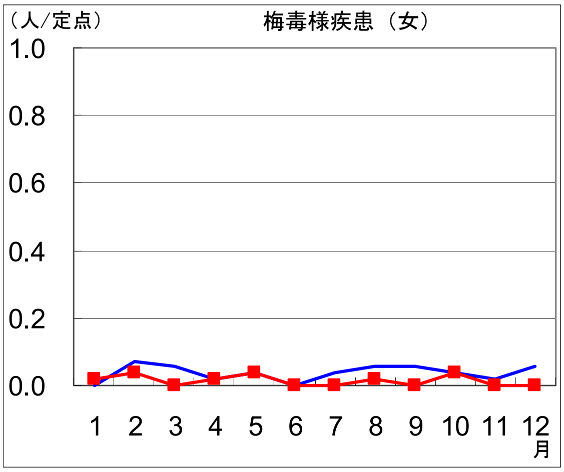


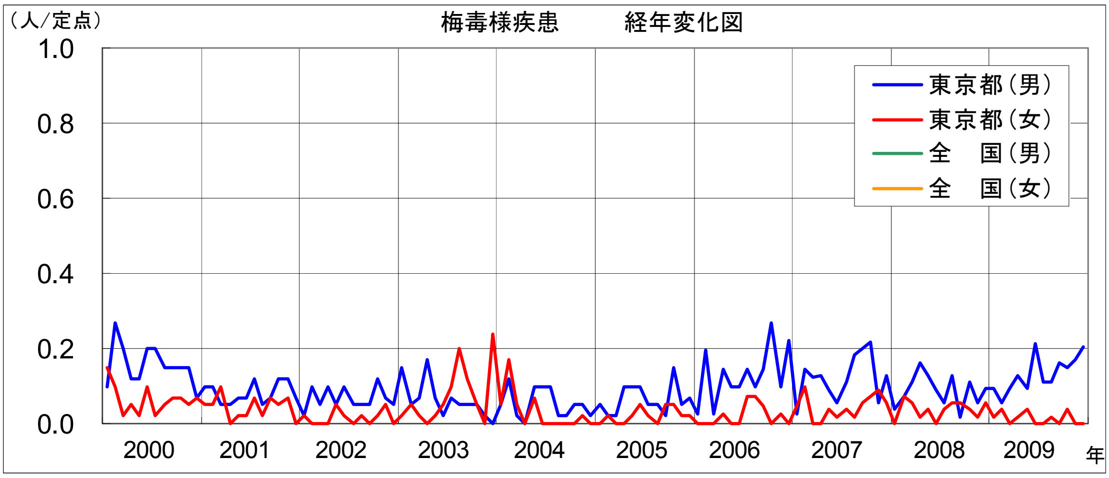


カ　梅毒様疾患

定点当たり報告数は男子 1.58（1.06）、女子 0.17（0.44）で前年比は男子で増加、女子で減少している。男子の増加は、「多数の MSM が受診する新宿区の 1 クリニックが STI 定点に加えられた」ためであることが第 9 表の新宿区の本症報告数からうかがわれている。南新宿検査・相談室の被検者の梅毒抗体陽性率は、女性 0.5%、非 MSM 男子 1.5%に過ぎないのに対して MSM では 7%と大差がある。STI については「HIV における MSM」のように高リスク群が存在し、サーベイランスでは定点の選定が問題となる。抗体陽性率が 30%に達する B 型肝炎についても同様であるが、高リスク群についての適切なサーベイランスによる把握をはじめとする対策が必要と思われる。







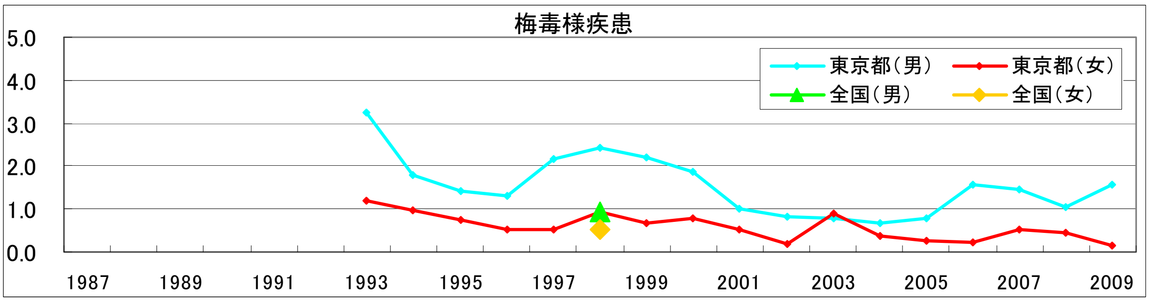


表４－１（1）　週別患者報告数（インフルエンザ・小児科）　2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人

週	期間	報告定点数インフルエンザ	インフルエンザ	報告小児科定点数	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1	12.29～ 1. 4	255	546	126	6	9	56	310	87	4	3	16	3	1	17
2	1. 5～ 1.11	286	2,861	148	22	30	253	1,206	341	10	32	70	5	2	113
3	1.12～ 1.18	286	4,736	147	8	19	242	980	162	4	28	77	6	4	61
4	1.19～ 1.25	287	9,166	148	12	21	297	1,124	175	12	37	65		6	52
5	1.26～ 2. 1	286	8,582	148	5	18	296	1,022	132	11	29	68	7	5	61
6	2. 2～ 2. 8	284	4,921	146	7	31	347	944	192	5	31	72	4	3	47
7	2. 9～ 2.15	287	3,013	149	6	32	291	913	176	7	30	55	2	3	62
8	2.16～ 2.22	287	2,183	148	9	33	274	1,040	183	6	15	80	6	2	64
9	2.23～ 3. 1	288	2,585	149	13	30	317	1,064	185	6	16	82	4	3	79
10	3. 2～ 3. 8	287	3,328	149	8	27	372	1,102	181	8	20	64	2	1	73
11	3. 9～ 3.15	286	4,119	147	5	32	348	1,083	208	11	26	71	5	6	89
12	3.16～ 3.22	287	3,946	149	7	24	319	972	176	18	39	93	2	11	77
13	3.23～ 3.29	287	2,499	148	8	30	247	828	174	7	34	58	4	3	114
14	3.30～ 4. 5	287	1,429	147	5	23	218	833	161	18	39	92	5	7	111
15	4. 6～ 4.12	289	1,095	149	7	39	225	930	160	12	44	121	8	7	80
16	4.13～ 4.19	287	991	147	10	31	222	1,075	157	6	32	113	7	4	93
17	4.20～ 4.26	286	609	147	6	41	296	976	150	9	25	104	2	9	96
18	4.27～ 5. 3	283	474	147		32	277	1,016	133	12	36	99	5	6	106
19	5. 4～ 5.10	289	175	149	4	24	149	672	162	10	22	58	1	3	93
20	5.11～ 5.17	287	127	148	8	45	281	867	174	20	45	90	1	9	143
21	5.18～ 5.24	288	159	148	5	45	298	830	192	22	55	111	4	13	136
22	5.25～ 5.31	287	84	148	7	42	257	766	154	14	49	101	9	16	116
23	6. 1～ 6. 7	288	42	149	4	51	279	743	146	29	36	100	14	11	128
24	6. 8～ 6.14	286	23	147	10	48	294	723	211	30	43	86	7	16	111
25	6.15～ 6.21	285	30	148	10	55	311	676	164	33	57	120	1	27	141
26	6.22～ 6.28	287	24	150	7	47	209	653	162	60	66	145	1	22	140
27	6.29～ 7. 5	288	20	148	17	44	203	590	136	99	70	105	3	51	127
28	7. 6～ 7.12	288	48	149	4	54	219	525	119	162	64	115	4	105	149
29	7.13～ 7.19	289	72	149	5	60	163	508	141	167	62	103	10	182	139
30	7.20～ 7.26	287	82	149	7	35	119	437	79	187	31	94	9	167	144
31	7.27～ 8. 2	286	277	148	7	39	95	459	81	293	45	92	2	257	126
32	8. 3～ 8. 9	280	466	144	19	24	86	404	74	276	41	103	8	286	139
33	8.10～ 8.16	258	550	130	15	14	50	218	44	176	14	78	3	183	80
34	8.17～ 8.23	275	737	143	21	12	73	392	65	168	33	84	1	166	102
35	8.24～ 8.30	284	856	147	19	16	58	362	47	179	33	107	6	178	109
36	8.31～ 9. 6	290	1,064	150	27	9	59	422	44	176	29	88	5	169	78
37	9. 7～ 9.13	287	1,696	148	15	8	82	469	35	171	21	97	4	143	91
38	9.14～ 9.20	282	2,845	146	27	6	97	385	53	123	21	93	5	115	88
39	9.21～ 9.27	284	1,908	147	7	6	51	232	45	75	7	62	4	61	93
40	9.28～10. 4	289	2,816	149	13	4	87	327	60	65	11	104	7	39	107
41	10. 5～10.11	286	5,405	148	14	6	105	312	50	106	16	83	4	46	85
42	10.12～10.18	289	6,481	149	12	5	98	315	47	119	21	78		32	81
43	10.19～10.25	288	7,301	148	12	11	114	324	72	75	16	93	2	29	117
44	10.26～11. 1	288	8,073	148	14	5	132	324	74	50	12	71	6	21	80
45	11. 2～11. 8	288	7,330	149	16	10	107	309	78	57	13	67	2	17	83
46	11. 9～11.15	289	7,119	149	15	14	138	431	93	42	8	74	5	15	115
47	11.16～11.22	288	6,905	148	35	19	105	474	107	46	13	76	3	11	79
48	11.23～11.29	288	6,065	149	20	12	105	514	143	37	14	55	1	19	96
49	11.30～12. 6	289	4,731	150	19	9	156	733	186	55	18	90	4	22	100
50	12. 7～12.13	290	3,987	150	47	12	187	934	174	50	17	75	6	10	97
51	12.14～12.20	290	3,555	150	75	20	168	1,435	225	35	18	69	2	11	131
52	12.21～12.27	287	2,859	150	94	16	174	1,631	191	43	13	61	2	33	86
53	12.28～ 1. 3	275	1,145	142	70	10	52	785	118	10	8	35	2	6	50
合　計			142,140		845	1,339	10,058	37,599	7,079	3,426	1,558	4,463	225	2,574	5,175

表４－１（２）　週別患者報告数（小児科・眼科・基幹）　2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人

週	期間	報告小児科定点数	不明発しん症	MCLS（川崎病）	報告眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病は除く）
1	12.29～ 1. 4	126	3		33		3	24			2	
2	1. 5～ 1.11	148	7	3	38		11	24		1	7	2
3	1.12～ 1.18	147	7	1	38		14	24		1	1	
4	1.19～ 1.25	148	6	3	38		8	24		1	4	2
5	1.26～ 2. 1	148	11	2	39	1	7	24	2		6	1
6	2. 2～ 2. 8	146	6	1	39	2	14	24	1		4	3
7	2. 9～ 2.15	149	9	3	39	1	7	24			4	2
8	2.16～ 2.22	148	8	1	39	3	16	24			5	
9	2.23～ 3. 1	149	7	1	39	2	11	24			4	3
10	3. 2～ 3. 8	149	10	1	39		10	24	1		2	3
11	3. 9～ 3.15	147	6		39		10	24			11	
12	3.16～ 3.22	149	6	1	39		11	24			4	1
13	3.23～ 3.29	148	11	1	39	1	18	23			7	1
14	3.30～ 4. 5	147	14		39		12	24	1		13	
15	4. 6～ 4.12	149	7	1	39		14	23			6	
16	4.13～ 4.19	147	19	1	39		13	24		1	6	1
17	4.20～ 4.26	147	11	1	37	2	12	24	2	1	6	
18	4.27～ 5. 3	147	7	1	37	3	16	24	1	9	4	
19	5. 4～ 5.10	149	7		39	1	14	24		1	4	
20	5.11～ 5.17	148	13	1	39	2	12	24			8	
21	5.18～ 5.24	148	20		38		13	24			7	3
22	5.25～ 5.31	148	4		39	2	13	24		1	9	3
23	6. 1～ 6. 7	149	14	2	39	1	10	24	1		12	3
24	6. 8～ 6.14	147	14	3	39	1	15	24			9	1
25	6.15～ 6.21	148	18		39	1	15	23			8	1
26	6.22～ 6.28	150	23	3	38	4	14	24	1	1	2	1
27	6.29～ 7. 5	148	17	4	38	3	22	23	1		9	1
28	7. 6～ 7.12	149	20	3	39	1	16	24	1		8	
29	7.13～ 7.19	149	30		39	1	21	24		1	8	1
30	7.20～ 7.26	149	25	2	39	1	11	24			5	
31	7.27～ 8. 2	148	26	2	39	2	17	24		2	11	
32	8. 3～ 8. 9	144	33	1	36		21	24		2	9	
33	8.10～ 8.16	130	29	1	34		6	24		1	5	1
34	8.17～ 8.23	143	25		38		17	24		1	7	
35	8.24～ 8.30	147	18	2	38	1	18	24		2	6	
36	8.31～ 9. 6	150	21	1	39	1	13	24				
37	9. 7～ 9.13	148	13		39	1	18	24			9	1
38	9.14～ 9.20	146	16	2	39	4	15	22			7	2
39	9.21～ 9.27	147	10	2	39	1	10	24			4	1
40	9.28～10. 4	149	8	1	39	2	15	24	2		7	
41	10. 5～10.11	148	4	2	39		16	24		1	2	
42	10.12～10.18	149	5	1	39		12	22			9	
43	10.19～10.25	148	16	2	39	1	17	23	1		5	2
44	10.26～11. 1	148	10	1	39	1	16	21			5	2
45	11. 2～11. 8	149	5	2	39		14	22	1		3	
46	11. 9～11.15	149	4	4	39	2	5	23	1		7	1
47	11.16～11.22	148	14		38	1	23	23			3	
48	11.23～11.29	149	7	1	39	1	6	22	1		2	2
49	11.30～12. 6	150	11	2	39	1	18	23	2		6	
50	12. 7～12.13	150	8		39		10	23	2	1	6	
51	12.14～12.20	150	7	1	39	1	12	24	1		4	
52	12.21～12.27	150	3	2	37		19	23	1		3	1
53	12.28～ 1. 3	142	4	1	33		2	24				
合　計			657	71		53	703		24	28	305	46

表４－２（１）週別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科）2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人／定点　　　人／定点

週	期間	報告定点数インフルエンザ	インフルエンザ	報告小児科定点数	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1	12.29～ 1. 4	255	2.14	126	0.05	0.07	0.44	2.46	0.69	0.03	0.02	0.13	0.02	0.01	0.13
2	1. 5～ 1.11	286	10.00	148	0.15	0.20	1.71	8.15	2.30	0.07	0.22	0.47	0.03	0.01	0.76
3	1.12～ 1.18	286	16.56	147	0.05	0.13	1.65	6.67	1.10	0.03	0.19	0.52	0.04	0.03	0.41
4	1.19～ 1.25	287	31.94	148	0.08	0.14	2.01	7.59	1.18	0.08	0.25	0.44		0.04	0.35
5	1.26～ 2. 1	286	30.01	148	0.03	0.12	2.00	6.91	0.89	0.07	0.20	0.46	0.05	0.03	0.41
6	2. 2～ 2. 8	284	17.33	146	0.05	0.21	2.38	6.47	1.32	0.03	0.21	0.49	0.03	0.02	0.32
7	2. 9～ 2.15	287	10.50	149	0.04	0.21	1.95	6.13	1.18	0.05	0.20	0.37	0.01	0.02	0.42
8	2.16～ 2.22	287	7.61	148	0.06	0.22	1.85	7.03	1.24	0.04	0.10	0.54	0.04	0.01	0.43
9	2.23～ 3. 1	288	8.98	149	0.09	0.20	2.13	7.14	1.24	0.04	0.11	0.55	0.03	0.02	0.53
10	3. 2～ 3. 8	287	11.60	149	0.05	0.18	2.50	7.40	1.21	0.05	0.13	0.43	0.01	0.01	0.49
11	3. 9～ 3.15	286	14.40	147	0.03	0.22	2.37	7.37	1.41	0.07	0.18	0.48	0.03	0.04	0.61
12	3.16～ 3.22	287	13.75	149	0.05	0.16	2.14	6.52	1.18	0.12	0.26	0.62	0.01	0.07	0.52
13	3.23～ 3.29	287	8.71	148	0.05	0.20	1.67	5.59	1.18	0.05	0.23	0.39	0.03	0.02	0.77
14	3.30～ 4. 5	287	4.98	147	0.03	0.16	1.48	5.67	1.10	0.12	0.27	0.63	0.03	0.05	0.76
15	4. 6～ 4.12	289	3.79	149	0.05	0.26	1.51	6.24	1.07	0.08	0.30	0.81	0.05	0.05	0.54
16	4.13～ 4.19	287	3.45	147	0.07	0.21	1.51	7.31	1.07	0.04	0.22	0.77	0.05	0.03	0.63
17	4.20～ 4.26	286	2.13	147	0.04	0.28	2.01	6.64	1.02	0.06	0.17	0.71	0.01	0.06	0.65
18	4.27～ 5. 3	283	1.67	147		0.22	1.88	6.91	0.90	0.08	0.24	0.67	0.03	0.04	0.72
19	5. 4～ 5.10	289	0.61	149	0.03	0.16	1.00	4.51	1.09	0.07	0.15	0.39	0.01	0.02	0.62
20	5.11～ 5.17	287	0.44	148	0.05	0.30	1.90	5.86	1.18	0.14	0.30	0.61	0.01	0.06	0.97
21	5.18～ 5.24	288	0.55	148	0.03	0.30	2.01	5.61	1.30	0.15	0.37	0.75	0.03	0.09	0.92
22	5.25～ 5.31	287	0.29	148	0.05	0.28	1.74	5.18	1.04	0.09	0.33	0.68	0.06	0.11	0.78
23	6. 1～ 6. 7	288	0.15	149	0.03	0.34	1.87	4.99	0.98	0.19	0.24	0.67	0.09	0.07	0.86
24	6. 8～ 6.14	286	0.08	147	0.07	0.33	2.00	4.92	1.44	0.20	0.29	0.59	0.05	0.11	0.76
25	6.15～ 6.21	285	0.11	148	0.07	0.37	2.10	4.57	1.11	0.22	0.39	0.81	0.01	0.18	0.95
26	6.22～ 6.28	287	0.08	150	0.05	0.31	1.39	4.35	1.08	0.40	0.44	0.97	0.01	0.15	0.93
27	6.29～ 7. 5	288	0.07	148	0.11	0.30	1.37	3.99	0.92	0.67	0.47	0.71	0.02	0.34	0.86
28	7. 6～ 7.12	288	0.17	149	0.03	0.36	1.47	3.52	0.80	1.09	0.43	0.77	0.03	0.70	1.00
29	7.13～ 7.19	289	0.25	149	0.03	0.40	1.09	3.41	0.95	1.12	0.42	0.69	0.07	1.22	0.93
30	7.20～ 7.26	287	0.29	149	0.05	0.23	0.80	2.93	0.53	1.26	0.21	0.63	0.06	1.12	0.97
31	7.27～ 8. 2	286	0.97	148	0.05	0.26	0.64	3.10	0.55	1.98	0.30	0.62	0.01	1.74	0.85
32	8. 3～ 8. 9	280	1.66	144	0.13	0.17	0.60	2.81	0.51	1.92	0.28	0.72	0.06	1.99	0.97
33	8.10～ 8.16	258	2.13	130	0.12	0.11	0.38	1.68	0.34	1.35	0.11	0.60	0.02	1.41	0.62
34	8.17～ 8.23	275	2.68	143	0.15	0.08	0.51	2.74	0.45	1.17	0.23	0.59	0.01	1.16	0.71
35	8.24～ 8.30	284	3.01	147	0.13	0.11	0.39	2.46	0.32	1.22	0.22	0.73	0.04	1.21	0.74
36	8.31～ 9. 6	290	3.67	150	0.18	0.06	0.39	2.81	0.29	1.17	0.19	0.59	0.03	1.13	0.52
37	9. 7～ 9.13	287	5.91	148	0.10	0.05	0.55	3.17	0.24	1.16	0.14	0.66	0.03	0.97	0.61
38	9.14～ 9.20	282	10.09	146	0.18	0.04	0.66	2.64	0.36	0.84	0.14	0.64	0.03	0.79	0.60
39	9.21～ 9.27	284	6.72	147	0.05	0.04	0.35	1.58	0.31	0.51	0.05	0.42	0.03	0.41	0.63
40	9.28～10. 4	289	9.74	149	0.09	0.03	0.58	2.19	0.40	0.44	0.07	0.70	0.05	0.26	0.72
41	10. 5～10.11	286	18.90	148	0.09	0.04	0.71	2.11	0.34	0.72	0.11	0.56	0.03	0.31	0.57
42	10.12～10.18	289	22.43	149	0.08	0.03	0.66	2.11	0.32	0.80	0.14	0.52		0.21	0.54
43	10.19～10.25	288	25.35	148	0.08	0.07	0.77	2.19	0.49	0.51	0.11	0.63	0.01	0.20	0.79
44	10.26～11. 1	288	28.03	148	0.09	0.03	0.89	2.19	0.50	0.34	0.08	0.48	0.04	0.14	0.54
45	11. 2～11. 8	288	25.45	149	0.11	0.07	0.72	2.07	0.52	0.38	0.09	0.45	0.01	0.11	0.56
46	11. 9～11.15	289	24.63	149	0.10	0.09	0.93	2.89	0.62	0.28	0.05	0.50	0.03	0.10	0.77
47	11.16～11.22	288	23.98	148	0.24	0.13	0.71	3.20	0.72	0.31	0.09	0.51	0.02	0.07	0.53
48	11.23～11.29	288	21.06	149	0.13	0.08	0.70	3.45	0.96	0.25	0.09	0.37	0.01	0.13	0.64
49	11.30～12. 6	289	16.37	150	0.13	0.06	1.04	4.89	1.24	0.37	0.12	0.60	0.03	0.15	0.67
50	12. 7～12.13	290	13.75	150	0.31	0.08	1.25	6.23	1.16	0.33	0.11	0.50	0.04	0.07	0.65
51	12.14～12.20	290	12.26	150	0.50	0.13	1.12	9.57	1.50	0.23	0.12	0.46	0.01	0.07	0.87
52	12.21～12.27	287	9.96	150	0.63	0.11	1.16	10.87	1.27	0.29	0.09	0.41	0.01	0.22	0.57
53	12.28～ 1. 3	275	4.16	142	0.49	0.07	0.37	5.53	0.83	0.07	0.06	0.25	0.01	0.04	0.35
平　　均			9.35		0.11	0.17	1.28	4.80	0.90	0.44	0.20	0.57	0.03	0.33	0.66

表４－２（２）週別定点当たり患者報告数（小児科・眼科・基幹）　2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人／定点

週	期間	報告小児科定点数	不明発しん症	川崎病（MCLS）	報告眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病は除く）
1	12.29～ 1. 4	126	0.02		33		0.09	24			0.08	
2	1. 5～ 1.11	148	0.05	0.02	38		0.29	24		0.04	0.29	0.08
3	1.12～ 1.18	147	0.05	0.01	38		0.37	24		0.04	0.04	
4	1.19～ 1.25	148	0.04	0.02	38		0.21	24		0.04	0.17	0.08
5	1.26～ 2. 1	148	0.07	0.01	39	0.03	0.18	24	0.08		0.25	0.04
6	2. 2～ 2. 8	146	0.04	0.01	39	0.05	0.36	24	0.04		0.17	0.13
7	2. 9～ 2.15	149	0.06	0.02	39	0.03	0.18	24			0.17	0.08
8	2.16～ 2.22	148	0.05	0.01	39	0.08	0.41	24			0.21	
9	2.23～ 3. 1	149	0.05	0.01	39	0.05	0.28	24			0.17	0.13
10	3. 2～ 3. 8	149	0.07	0.01	39		0.26	24	0.04		0.08	0.13
11	3. 9～ 3.15	147	0.04		39		0.26	24			0.46	
12	3.16～ 3.22	149	0.04	0.01	39		0.28	24			0.17	0.04
13	3.23～ 3.29	148	0.07	0.01	39	0.03	0.46	23			0.30	0.04
14	3.30～ 4. 5	147	0.10		39		0.31	24	0.04		0.54	
15	4. 6～ 4.12	149	0.05	0.01	39		0.36	23			0.26	
16	4.13～ 4.19	147	0.13	0.01	39		0.33	24		0.04	0.25	0.04
17	4.20～ 4.26	147	0.07	0.01	37	0.05	0.32	24	0.08	0.04	0.25	
18	4.27～ 5. 3	147	0.05	0.01	37	0.08	0.43	24	0.04	0.38	0.17	
19	5. 4～ 5.10	149	0.05		39	0.03	0.36	24		0.04	0.17	
20	5.11～ 5.17	148	0.09	0.01	39	0.05	0.31	24			0.33	
21	5.18～ 5.24	148	0.14		38		0.34	24			0.29	0.13
22	5.25～ 5.31	148	0.03		39	0.05	0.33	24		0.04	0.38	0.13
23	6. 1～ 6. 7	149	0.09	0.01	39	0.03	0.26	24	0.04		0.50	0.13
24	6. 8～ 6.14	147	0.10	0.02	39	0.03	0.38	24			0.38	0.04
25	6.15～ 6.21	148	0.12		39	0.03	0.38	23			0.35	0.04
26	6.22～ 6.28	150	0.15	0.02	38	0.11	0.37	24	0.04	0.04	0.08	0.04
27	6.29～ 7. 5	148	0.11	0.03	38	0.08	0.58	23	0.04		0.39	0.04
28	7. 6～ 7.12	149	0.13	0.02	39	0.03	0.41	24	0.04		0.33	
29	7.13～ 7.19	149	0.20		39	0.03	0.54	24		0.04	0.33	0.04
30	7.20～ 7.26	149	0.17	0.01	39	0.03	0.28	24			0.21	
31	7.27～ 8. 2	148	0.18	0.01	39	0.05	0.44	24		0.08	0.46	
32	8. 3～ 8. 9	144	0.23	0.01	36		0.58	24		0.08	0.38	
33	8.10～ 8.16	130	0.22	0.01	34		0.18	24		0.04	0.21	0.04
34	8.17～ 8.23	143	0.17		38		0.45	24		0.04	0.29	
35	8.24～ 8.30	147	0.12	0.01	38	0.03	0.47	24		0.08	0.25	
36	8.31～ 9. 6	150	0.14	0.01	39	0.03	0.33	24				
37	9. 7～ 9.13	148	0.09		39	0.03	0.46	24			0.38	0.04
38	9.14～ 9.20	146	0.11	0.01	39	0.10	0.38	22			0.32	0.09
39	9.21～ 9.27	147	0.07	0.01	39	0.03	0.26	24			0.17	0.04
40	9.28～10. 4	149	0.05	0.01	39	0.05	0.38	24	0.08		0.29	
41	10. 5～10.11	148	0.03	0.01	39		0.41	24		0.04	0.08	
42	10.12～10.18	149	0.03	0.01	39		0.31	22			0.41	
43	10.19～10.25	148	0.11	0.01	39	0.03	0.44	23	0.04		0.22	0.09
44	10.26～11. 1	148	0.07	0.01	39	0.03	0.41	21			0.24	0.10
45	11. 2～11. 8	149	0.03	0.01	39		0.36	22	0.05		0.14	
46	11. 9～11.15	149	0.03	0.03	39	0.05	0.13	23	0.04		0.30	0.04
47	11.16～11.22	148	0.09		38	0.03	0.61	23			0.13	
48	11.23～11.29	149	0.05	0.01	39	0.03	0.15	22	0.05		0.09	0.09
49	11.30～12. 6	150	0.07	0.01	39	0.03	0.46	23	0.09		0.26	
50	12. 7～12.13	150	0.05		39		0.26	23	0.09	0.04	0.26	
51	12.14～12.20	150	0.05	0.01	39	0.03	0.31	24	0.04		0.17	
52	12.21～12.27	150	0.02	0.01	37		0.51	23	0.04		0.13	0.04
53	12.28～ 1. 3	142	0.03	0.01	33		0.06	24				
	平　　均		0.08	0.01		0.03	0.34		0.02	0.02	0.24	0.04

表５－１（１） 保健所別患者報告数（インフルエンザ・小児科）　2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

保健所	インフルエンザ設置定点数	インフルエンザ（人）	設置小児科定点数	RSウイルス感染症（人）	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（人）
千代田	5	682	4	23	15	7	185	19	48	1	28	1	7	21
中央区	4	1,090	3	1	19	159	373	162	51	13	100		31	37
みなと	8	2,851	6	126	199	231	1,643	186	151	34	229	9	123	131
新宿区	9	3,309	6	34	30	310	1,025	146	44	11	80	2	83	49
文京	5	2,198	3	17	12	77	344	108	44	27	43		25	28
台東	5	1,743	3	43	55	193	1,106	150	112	45	135	4	50	70
墨田区	6	2,448	3	19	8	140	613	96	117	10	107	1	20	119
江東区	9	4,327	4	17	8	409	2,133	176	208	37	193	5	100	204
品川区	10	3,569	6	17	48	337	2,038	180	148	92	195	6	87	86
目黒区	6	1,086	3	1	26	64	350	73	34	39	48		17	9
大田区	16	8,168	9	121	325	476	3,115	486	202	216	303	76	169	182
世田谷区	16	8,255	8	12	25	339	1,930	309	128	157	137		166	126
渋谷区	6	1,936	4	3	23	67	710	115	68	34	94	13	65	52
中野区	9	3,860	6	14	3	212	2,111	181	102	17	115	2	102	145
杉並	12	5,934	6	2	11	347	2,019	227	126	20	150	2	29	81
池袋	8	2,827	5	1	11	59	540	85	35	32	42	3	21	22
北区	8	3,256	4	2	13	101	789	140	102	21	134	2	22	75
荒川区	4	1,747	2	21	38	211	637	163	54	27	86	5	23	36
板橋区	12	3,338	6	2	9	76	911	150	94	35	59	6	16	77
練馬区	12	5,553	5	3	10	181	827	232	153	43	155	5	84	138
足立	12	5,121	5		26	179	1,065	156	150	29	162	3	39	117
葛飾区	9	4,989	4		3	236	726	365	192	55	192	4	120	223
江戸川	12	7,781	5	42	170	1,106	1,270	255	220	57	226	2	250	278
西多摩	9	6,014	5	5	18	137	1,006	262	107	7	91	10	22	456
南多摩	9	6,219	4	73	10	366	885	325	66	31	162	12	97	162
町田	9	8,602	4	21	7	1,279	2,333	854	182	271	311	1	369	774
多摩立川	13	4,948	6	3	20	131	801	156	41	6	27	10	27	93
多摩府中	21	10,768	10	12	19	238	1,137	245	106	60	235	6	124	201
多摩小平	14	10,763	6	155	104	778	2,413	430	131	38	329	6	149	295
島しょ	2	582	1	3	4	16	59	33	56		14		7	8
八王子市	10	8,176	4	52	70	1,596	2,505	614	154	93	281	29	130	880
合　計	290	142,140	150	845	1,339	10,058	37,599	7,079	3,426	1,558	4,463	225	2,574	5,175
定点当たり報告数		495.53		5.73	9.07	68.03	254.50	47.94	23.36	10.54	30.24	1.53	17.63	35.05
前年定点当たり報告数		80.47		11.71	19.86	93.97	395.92	58.68	30.60	7.90	33.49	1.88	44.08	24.83
当年/前年		6.16		0.49	0.46	0.72	0.64	0.82	0.76	1.34	0.90	0.81	0.40	1.41

表５－１（２） 保健所別患者報告数（小児科・眼科・基幹） 2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人

保健所	設置小児科定点数	不明発しん症	MCLS（川崎病）	設置眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病は除く）
千代田	4	3	6				2		1	27	
中央区	3	1		1		30					
みなと	6	11	9				1	3	2	10	7
新宿区	6	50	3	2	3	111	2	3	12	68	
文京	3	2	2	1		49	1	2	2	2	
台東	3	2	1								
墨田区	3	17	1	1	1	14	1				
江東区	4	31	1	1		20					
品川区	6	17		1	2	9					
目黒区	3	1		1		25					
大田区	9	42	1	2		33	1			2	
世田谷区	8	16	6	2	1	17	2	2			
渋谷区	4	3		1		12	1				
中野区	6	22	1	1		16	1				
杉並	6	1	5	1	1	18	1				
池袋	5	3		1		2	1			2	
北区	4	23		1		11					
荒川区	2	26	1	1		26					
板橋区	6	13	3	2	3	26	1				
練馬区	5	10	1	2	1	33					
足立	5	17		2	27	56					
葛飾区	4	35	4	1	8	11	1	1		131	33
江戸川	5	6	5	2	1	18					
西多摩	5	3	2	1		9	1	1	4	6	
南多摩	4	6	4	1		5					
町田	4	153	1	1		1					
多摩立川	6	4	1	2	1	12	1				
多摩府中	10	31	6	3	2	25	2	12	7	57	6
多摩小平	6	22	3	2		79	2				
島しょ	1		1				1				
八王子市	4	86	3	2	2	35	1				
合　計	150	657	71	39	53	703	24	24	28	305	46
定点当たり報告数		4.48	0.48		1.37	18.28		1.02	1.17	12.93	1.96
前年定点当たり報告数		4.98	0.73		1.66	22.41		1.01	1.42	12.53	1.05
当年/前年		0.90	0.65		0.83	0.82		1.02	0.82	1.03	1.86

表５－２（１）保健所別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科）

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人／定点　　　　　　　　　　人／定点

保健所	設置定点数インフルエンザ	インフルエンザ	設置小児科定点数	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	5	152.83	4	6.00	3.92	1.83	47.67	5.42	14.00	0.25	7.50	0.25	1.92	5.75
中央区	4	272.50	3	0.33	6.33	53.00	124.33	54.00	17.00	4.33	33.33		10.33	12.33
みなと	8	359.86	6	21.57	33.30	38.73	274.97	31.03	25.63	5.70	38.43	1.50	20.70	22.03
新宿区	9	367.96	6	5.73	5.03	51.73	170.93	24.60	7.37	1.87	13.40	0.33	13.93	8.17
文京	5	440.45	3	5.67	4.00	25.67	115.00	36.00	14.67	9.00	14.33		8.33	9.33
台東	5	348.60	3	14.33	18.33	64.33	368.67	50.00	37.33	15.00	45.00	1.33	16.67	23.33
墨田区	6	409.43	3	6.33	2.67	46.67	204.33	32.00	39.00	3.33	35.67	0.33	6.67	39.67
江東区	9	482.92	4	4.33	2.00	102.67	537.75	44.50	53.42	9.25	48.92	1.25	26.67	51.92
品川区	10	358.30	6	2.87	8.07	56.30	353.25	30.53	25.42	15.55	32.82	1.00	14.72	14.40
目黒区	6	181.00	3	0.33	8.67	21.33	116.67	24.33	11.33	13.00	16.00		5.67	3.00
大田区	16	516.55	9	13.74	36.75	53.88	354.10	54.63	23.54	24.60	34.34	8.78	19.60	20.92
世田谷区	16	532.65	8	1.50	3.13	44.09	252.32	40.17	16.37	20.86	18.07		21.27	16.67
渋谷区	6	323.17	4	0.75	5.83	16.75	177.83	28.75	17.33	8.58	23.50	3.25	16.58	13.08
中野区	9	428.89	6	2.33	0.50	35.33	351.83	30.17	17.00	2.83	19.17	0.33	17.00	24.17
杉並	12	503.84	6	0.50	1.83	58.45	344.95	38.22	22.65	3.45	25.55	0.33	5.12	13.78
池袋	8	367.64	5	0.25	2.50	13.83	117.25	19.05	8.07	7.47	9.58	0.60	4.68	5.33
北区	8	413.76	4	0.50	3.50	25.42	201.75	35.58	25.50	5.25	33.92	0.50	5.50	19.00
荒川区	4	436.75	2	10.50	19.00	105.50	318.50	81.50	27.00	13.50	43.00	2.50	11.50	18.00
板橋区	12	278.17	6	0.33	1.50	12.67	151.83	25.00	15.67	5.83	9.83	1.00	2.67	12.83
練馬区	12	463.10	5	0.60	2.00	36.20	165.40	46.40	30.60	8.60	31.00	1.00	16.80	27.60
足立	12	434.56	5		5.38	36.47	222.35	33.17	30.05	5.93	32.87	0.60	7.85	24.10
葛飾区	9	575.06	4		0.75	66.75	198.67	99.75	49.33	14.00	49.92	1.08	30.75	57.50
江戸川	12	664.73	5	8.70	35.20	227.95	258.42	52.58	45.05	11.60	46.00	0.40	51.75	56.73
西多摩	9	668.38	5	1.00	3.60	27.40	201.80	52.60	22.20	1.45	18.40	2.00	4.50	92.30
南多摩	9	696.15	4	18.42	2.50	92.00	223.00	82.33	16.50	7.75	40.58	3.00	24.25	40.50
町田	9	956.69	4	5.33	1.75	319.83	584.33	214.08	45.50	67.83	77.92	0.25	92.25	193.92
多摩立川	13	380.83	6	0.50	3.33	21.92	133.92	26.83	6.83	1.00	4.50	1.67	4.50	15.50
多摩府中	21	516.26	10	1.20	1.96	24.04	114.70	24.76	10.68	6.08	23.82	0.60	12.49	20.30
多摩小平	14	769.10	6	26.13	17.33	129.97	403.37	71.90	22.13	6.63	54.93	1.00	25.20	49.37
島しょ	2	291.00	1	3.00	4.00	16.00	59.00	33.00	56.00		14.00		7.00	8.00
八王子市	10	825.15	4	13.00	17.50	399.58	630.25	153.92	40.67	23.58	71.00	7.25	34.58	221.17

表５－２（２）保健所別定点当たり患者報告数（小児科・眼科・基幹）2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人／定点

保健所	設置小児科定点数	不明発しん症	MCLS（川崎病）	設置眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病は除く）
千代田	4	0.75	1.50				2		0.50	15.00	
中央区	3	0.33		1		30.00					
みなと	6	1.83	1.50				1	3.00	2.00	10.00	7.00
新宿区	6	8.40	0.50	2	1.50	56.50	2	1.50	6.00	34.00	
文京	3	0.67	0.67	1		49.00	1	2.00	2.00	2.00	
台東	3	0.67	0.33								
墨田区	3	5.67	0.33	1	1.00	14.00	1				
江東区	4	8.08	0.25	1		20.00					
品川区	6	2.90		1	2.00	9.00					
目黒区	3	0.33		1		25.00					
大田区	9	5.08	0.11	2		16.50	1			2.00	
世田谷区	8	2.24	0.77	2	0.50	8.50	2	1.00			
渋谷区	4	0.75		1		12.00	1				
中野区	6	3.67	0.17	1		16.00	1				
杉並	6	0.17	0.83	1	1.00	18.00	1				
池袋	5	0.60		1		2.00	1			2.00	
北区	4	5.75		1		11.00					
荒川区	2	13.00	0.50	1		26.00					
板橋区	6	2.17	0.50	2	1.50	13.00	1				
練馬区	5	2.00	0.20	2	0.50	16.50					
足立	5	3.40		2	13.50	28.00					
葛飾区	4	9.25	1.00	1	8.00	11.00	1	1.00		131.00	33.00
江戸川	5	1.20	1.00	2	0.50	9.00					
西多摩	5	0.65	0.40	1		9.00	1	1.00	4.00	6.00	
南多摩	4	1.50	1.00	1		5.00					
町田	4	38.42	0.25	1		1.00					
多摩立川	6	0.67	0.17	2	0.50	6.00	1				
多摩府中	10	3.14	0.60	3	0.67	8.50	2	6.00	3.50	28.50	3.00
多摩小平	6	3.67	0.50	2		39.50	2				
島しょ	1		1.00				1				
八王子市	4	21.83	0.75	2	1.00	18.00	1				

表６－１　年齢階級別患者報告数（インフルエンザ・小児科）　　2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人　　　　人

年齢階級	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6 か月未満	272	130	4	8	412	122	15	1	113	9	21	1
12 か月未満	973	205	93	69	2,562	350	255	38	1,880	10	233	20
1歳	3,269	320	293	301	5,431	1,199	986	86	2,091	13	755	230
2歳	3,857	110	196	439	3,772	1,311	724	120	292	6	478	479
3歳	5,336	32	214	797	3,180	1,133	464	192	48	5	340	737
4歳	7,931	26	184	1,313	3,057	1,016	365	249	15	4	242	864
5歳	8,924	7	130	1,496	2,659	812	254	242	10	2	163	830
6歳	10,212	1	58	1,378	2,202	447	125	187	7	3	108	585
7歳	10,915	2	38	1,141	1,916	209	69	171	1	5	56	449
8歳	10,084	4	36	852	1,594	166	41	96	1	2	34	284
9歳	9,345		16	555	1,290	92	35	69	2	4	31	203
10～14歳	33,151	2	43	1,048	3,440	166	44	72	1	25	43	320
15～19歳	10,958		2	93	860	12	3	6	1	9	14	29
20～29歳	8,604	6	32	568	5,224	44	46	29	1	128	56	144
30～39歳	8,884											
40～49歳	6,250											
50～59歳	1,920											
60～69歳	778											
70～79歳	355											
80歳以上	122											
合　計	142,140	845	1,339	10,058	37,599	7,079	3,426	1,558	4,463	225	2,574	5,175

注　：　小児科定点把握対象疾病の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

表６－２　年齢階級別患者報告数（小児科・眼科・基幹）　　2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人　人　人

年齢階級	不明発しん症	ＭＣＬＳ（川崎病）	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病は除く）
6 か月未満	35	7		3	4		1	
12 か月未満	117	15		1	1		2	
1歳	195	21	1	10	6		35	
2歳	105	7	1	9	2	2	30	
3歳	60	4		7	1	4	32	
4歳	38	6	1	13		1	32	
5歳	32	6	1	11	2	4	25	
6歳	9			4		3	26	
7歳	17	1	1	2		3	20	
8歳	13		1	5		2	9	
9歳	5	1	1	7		2	17	1
10～14歳	12	2	4	20	1		53	
15～19歳	3		2	14			2	1
20～29歳	16	1	5	144		3	6	1
30～39歳			15	203	1	1	4	4
40～49歳			10	100			3	7
50～59歳			7	60	1		1	1
60～69歳			2	52	1		2	8
70～79歳			1	38	3	1	3	15
80歳以上					1	2	2	8
合　計	657	71	53	703	24	28	305	46

注：小児科定点把握対象疾病の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。
注：眼科疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表７－１（１） 二次医療圏別患者報告数（インフルエンザ・小児科） 2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人

二次医療圏	設置インフルエンザ定点数	インフルエンザ	設置小児科定点数	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	27	8,564	19	210	300	667	3,651	625	406	120	535	14	236	287
2 区南部圏	26	11,737	15	138	373	813	5,153	666	350	308	498	82	256	268
3 区西南部圏	28	11,277	15	16	74	470	2,990	497	230	230	279	13	248	187
4 区西部圏	30	13,103	18	50	44	869	5,155	554	272	48	345	6	214	275
5 区西北部圏	40	14,974	20	8	43	417	3,067	607	384	131	390	16	143	312
6 区東北部圏	25	11,857	11	21	67	626	2,428	684	396	111	440	12	182	376
7 区東部圏	27	14,556	12	78	186	1,655	4,016	527	545	104	526	8	370	601
8 西多摩圏	9	6,014	5	5	18	137	1,006	262	107	7	91	10	22	456
9 南多摩圏	28	22,997	12	146	87	3,241	5,723	1,793	402	395	754	42	596	1,816
10 北多摩西部圏	13	4,948	6	3	20	131	801	156	41	6	27	10	27	93
11 北多摩南部圏	21	10,768	10	12	19	238	1,137	245	106	60	235	6	124	201
12 北多摩北部圏	14	10,763	6	155	104	778	2,413	430	131	38	329	6	149	295
13 島しょ圏	2	582	1	3	4	16	59	33	56	0	14	0	7	8
合　計	290	142,140	150	845	1,339	10,058	37,599	7,079	3,426	1,558	4,463	225	2,574	5,175

表７－１（２） 二次医療圏別患者報告数（小児科・眼科・基幹） 2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人

二次医療圏	設置小児科定点数	不明発しん症	MCLS（川崎病）	設置眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病は除く）
1 区中央部圏	19	19	18	2		79	4	5	5	39	7
2 区南部圏	15	59	1	3	2	42	1			2	
3 区西南部圏	15	20	6	4	1	54	3	2			
4 区西部圏	18	73	9	4	4	145	4	3	12	68	
5 区西北部圏	20	49	4	6	4	72	2			2	
6 区東北部圏	11	78	5	4	35	93	1	1		131	33
7 区東部圏	12	54	7	4	2	52	1				
8 西多摩圏	5	3	2	1		9	1	1	4	6	
9 南多摩圏	12	245	8	4	2	41	1				
10 北多摩西部圏	6	4	1	2	1	12	1				
11 北多摩南部圏	10	31	6	3	2	25	2	12	7	57	6
12 北多摩北部圏	6	22	3	2		79	2				
13 島しょ圏	1		1				1				
合　計	150	657	71	39	53	703	24	24	28	305	46

表７－２（１）　二次医療圏別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科）

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人／定点

二次医療圏	設置インフルエンザ定点数	インフルエンザ	設置小児科定点数	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	27	325.61	19	6.40	16.87	45.12	223.48	40.06	10.47	7.09	25.43	0.42	7.06	14.14
2 区南部圏	26	460.82	15	7.33	29.65	67.52	405.15	54.97	14.32	32.50	33.81	5.46	8.19	19.33
3 区西南部圏	28	421.77	15	0.71	5.37	34.70	256.34	44.74	8.03	16.56	17.60	0.48	9.69	13.96
4 区西部圏	30	446.41	18	2.00	2.28	58.28	333.52	37.12	9.02	2.30	18.52	0.37	6.64	14.68
5 区西北部圏	40	409.40	20	0.14	2.90	22.15	199.21	48.49	10.34	6.15	17.27	0.56	3.77	12.22
6 区東北部圏	25	485.98	11	0.87	6.47	70.37	264.58	85.22	17.55	6.39	33.24	1.36	11.20	31.97
7 区東部圏	27	557.65	12	5.99	19.37	210.81	407.03	56.61	24.13	8.94	42.69	0.61	15.60	47.90
8 西多摩圏	9	795.26	5	0.50	2.21	37.95	242.20	59.23	15.58	1.31	18.08	1.04	2.09	57.13
9 南多摩圏	28	841.29	12	6.81	8.57	319.91	531.44	159.78	19.50	30.74	60.62	5.35	24.34	133.54
10 北多摩西部圏	13	419.92	6	0.48	3.98	30.68	165.76	37.46	2.84	0.91	3.50	1.84	2.43	10.98
11 北多摩南部圏	21	508.10	10	1.25	1.75	27.25	147.89	29.25	5.43	4.25	22.94	1.28	6.97	12.72
12 北多摩北部圏	14	823.54	6	8.06	16.84	159.58	480.06	71.68	9.28	3.64	52.33	0.89	13.87	50.23
13 島しょ圏	2	310.77	1	8.17	8.76	13.57	125.71	70.67	21.24		15.84		3.26	5.27

第７表－２（２）　二次医療圏別定点当たり患者報告数（小児科・眼科・基幹）

2009 年第 1 週～2009 年第 53 週

人／定点

二次医療圏	設置小児科定点数	不明発しん症	MCLS（川崎病）	設置眼科定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置基幹定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病は除く）
1 区中央部圏	19	0.97	1.00	2		39.88	4	1.25	1.25	10.08	1.92
2 区南部圏	15	3.06	0.15	3	0.11	12.25	1			2.00	
3 区西南部圏	15	1.17	0.28	4	0.21	12.48	3	0.67			
4 区西部圏	18	3.61	0.66	4	0.71	34.43	4	0.75	3.00	17.25	
5 区西北部圏	20	1.98	0.15	6	1.21	7.19	2			1.00	
6 区東北部圏	11	6.36	0.20	4	7.68	22.02	1	1.00		131.00	33.00
7 区東部圏	12	3.51	0.64	4	0.37	12.32	1				
8 西多摩圏	5	0.40	0.44	1		8.14	1	1.00	4.00	6.00	
9 南多摩圏	12	17.80	0.91	4	0.43	11.04	1				
10 北多摩西部圏	6	0.32	0.01	2	0.18	1.93	1				
11 北多摩南部圏	10	2.43	0.56	3	0.40	6.63	2	6.00	3.50	28.50	3.00
12 北多摩北部圏	6	4.06	0.28	2		36.27	2				
13 島しょ圏	1		0.70				1				

表８－１　月別患者報告数（基幹）

2009 年 1 月～2009 年 12 月

人

月	報告基幹定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	24	133	38	5
2月	24	118	39	2
3月	24	102	47	3
4月	24	119	52	2
5月	24	121	69	1
6月	24	127	46	1
7月	23	89	57	1
8月	23	113	43	1
9月	23	104	34	1
10月	23	76	33	3
11月	24	97	41	
12月	24	91	53	2
合　計		1,290	552	22

表８－２　月別定点当たり患者報告数（基幹）

2009 年 1 月～2009 年 12 月

人／定点

月	報告基幹定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	24	5.54	1.58	0.21
2月	24	4.92	1.63	0.08
3月	24	4.25	1.96	0.13
4月	24	4.96	2.17	0.08
5月	24	5.04	2.88	0.04
6月	24	5.29	1.92	0.04
7月	23	3.87	2.48	0.04
8月	23	4.91	1.87	0.04
9月	23	4.52	1.48	0.04
10月	23	3.30	1.43	0.13
11月	24	4.04	1.71	0.00
12月	24	3.79	2.21	0.08
平　均		4.54	1.94	0.08

表８－３　月別・性別患者報告数（基幹）　2009 年 1 月～2009 年 12 月

人

月	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
1月	86	47	20	18	4	1
2月	83	35	18	21	1	1
3月	78	24	25	22	1	2
4月	72	47	31	21	2	
5月	75	46	43	26		1
6月	77	50	32	14		1
7月	44	45	28	29	1	
8月	67	46	25	18	1	
9月	62	42	24	10	1	
10月	55	21	19	14	1	2
11月	64	33	23	18		
12月	58	33	29	24	2	
合計	821	469	317	235	14	8

表８－４　年齢階級別患者報告数（基幹）　2009 年 1 月～2009 年 12 月

人

年齢階級	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	47	46	53	28	1	0
1～4歳	45	17	156	115	0	0
5～9歳	14	10	9	20	1	0
10～14歳	15	8	7	1	0	0
15～19歳	1	2	2	4	1	0
20～24歳	1	1	1	2	0	0
25～29歳	0	2	1	1	0	2
30～34歳	10	7	3	3	0	0
35～39歳	11	11	4	7	0	0
40～44歳	19	4	3	7	0	0
45～49歳	9	10	3	2	0	1
50～54歳	17	17	0	3	1	1
55～59歳	45	20	7	3	1	1
60～64歳	64	20	10	5	2	0
65～69歳	94	36	11	2	2	1
70歳以上	429	258	47	32	5	2
合　計	821	469	317	235	14	8
定点当たり報告数	34.21	19.54	13.21	9.79	0.58	0.33
前年定点当たり報告数	41.92	25.00	14.08	9.00	0.88	0.21
当年／前年	0.82	0.78	0.94	1.09	0.67	1.60

表９－１　月別患者報告数（STI）

2009 年 1 月～2009 年 12 月

（男女計）　人

月	報告STI定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
1月	54	185	66	61	85	16	6
2月	55	186	66	39	70	10	5
3月	53	168	77	62	80	8	5
4月	55	190	71	74	68	12	8
5月	54	193	71	56	68	7	7
6月	52	211	93	68	82	14	11
7月	55	185	69	61	77	20	6
8月	54	209	93	59	92	7	7
9月	55	209	90	70	80	13	9
10月	54	200	85	58	85	13	10
11月	53	177	86	65	96	9	9
12月	54	182	87	54	67	9	11
合　計		2,295	954	727	950	138	94

表９－２　月別定点あたり患者報告数（STI）

2009 年 1 月～2009 年 12 月

（男女計）　人／定点

月	報告STI定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
1月	54	3.43	1.22	1.13	1.57	0.30	0.11
2月	55	3.38	1.20	0.71	1.27	0.18	0.09
3月	53	3.17	1.45	1.17	1.51	0.15	0.09
4月	55	3.45	1.29	1.35	1.24	0.22	0.15
5月	54	3.57	1.31	1.04	1.26	0.13	0.13
6月	52	4.06	1.79	1.31	1.58	0.27	0.21
7月	55	3.36	1.25	1.11	1.40	0.36	0.11
8月	54	3.87	1.72	1.09	1.70	0.13	0.13
9月	55	3.80	1.64	1.27	1.45	0.24	0.16
10月	54	3.70	1.57	1.07	1.57	0.24	0.19
11月	53	3.34	1.62	1.23	1.81	0.17	0.17
12月	54	3.37	1.61	1.00	1.24	0.17	0.20
平　均		3.54	1.47	1.12	1.47	0.21	0.15

表９－３　月別・性別患者報告数（STI）　2009 年 1 月～2009 年 12 月

人

月	報告STI定点数	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	54	100	85	35	31	43	18	74	11		16	5	1
2月	55	89	97	43	23	34	5	51	19	1	9	3	2
3月	53	81	87	47	30	40	22	68	12		8	5	
4月	55	108	82	41	30	47	27	58	10	1	11	7	1
5月	54	102	91	38	33	34	22	58	10	2	5	5	2
6月	52	106	105	31	62	42	26	67	15	1	13	11	
7月	55	95	90	39	30	35	26	66	11	1	19	6	
8月	54	121	88	55	38	47	12	78	14		7	6	1
9月	55	114	95	51	39	51	19	67	13		13	9	
10月	54	115	85	61	24	32	26	74	11		13	8	2
11月	53	99	78	52	34	47	18	81	15		9	9	
12月	54	98	84	47	40	34	20	56	11		9	11	
合　計		1,228	1,067	540	414	486	241	798	152	6	132	85	9

表９－４　月別・性別定点当たり患者報告数（STI）　2009 年 1 月～2009 年 12 月

人

月	報告STI定点数	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	54	1.85	1.57	0.65	0.57	0.80	0.33	1.37	0.20	0.00	0.30	0.09	0.02
2月	55	1.62	1.76	0.78	0.42	0.62	0.09	0.93	0.35	0.02	0.16	0.05	0.04
3月	53	1.53	1.64	0.89	0.57	0.75	0.42	1.28	0.23	0.00	0.15	0.09	0.00
4月	55	1.96	1.49	0.75	0.55	0.85	0.49	1.05	0.18	0.02	0.20	0.13	0.02
5月	54	1.89	1.69	0.70	0.61	0.63	0.41	1.07	0.19	0.04	0.09	0.09	0.04
6月	52	2.04	2.02	0.60	1.19	0.81	0.50	1.29	0.29	0.02	0.25	0.21	0.00
7月	55	1.73	1.64	0.71	0.55	0.64	0.47	1.20	0.20	0.02	0.35	0.11	0.00
8月	54	2.24	1.63	1.02	0.70	0.87	0.22	1.44	0.26	0.00	0.13	0.11	0.02
9月	55	2.07	1.73	0.93	0.71	0.93	0.35	1.22	0.24	0.00	0.24	0.16	0.00
10月	54	2.13	1.57	1.13	0.44	0.59	0.48	1.37	0.20	0.00	0.24	0.15	0.04
11月	53	1.87	1.47	0.98	0.64	0.89	0.34	1.53	0.28	0.00	0.17	0.17	0.00
12月	54	1.81	1.56	0.87	0.74	0.63	0.37	1.04	0.20	0.00	0.17	0.20	0.00

表９－５　保健所別、二次医療圏別患者報告数（STI）　2009 年 1 月～2009 年 12 月

人

保健所	設置定点数	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患		合　計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	131	12	36	2	42		108	2			5	1	322	17
中央区	3	77	43	4	7	3	9	21	5		3			105	67
みなと	2	84	96	135	69	34	20	31	8	2	6	9		295	199
新宿区	6	269	100	158	95	237	53	228	37		5	43	1	935	291
文京	1	32		8		3		43	1			3		89	1
台東	3		43	5	21		1	2	8		9			7	82
墨田区	2	29	8	11	2	9	11	15			3	1		65	24
江東区	2	135	17	59	14	32		93	6		3	9		328	40
品川区	1	13		6		4		5						28	
大田区	2	20	44		2		1	12						32	47
渋谷区	5	84	47	28	70	7	69	26	2	2	7			147	195
中野区	2	64	25	4		2	11	32	8	1	12	7	1	110	57
杉並	2	23	13	1	8	3		13	4		4			40	29
池袋	3	164	120	59	43	75	30	79	23		13	6	1	383	230
北区	1	5		3	1	12		2						22	1
荒川区	1		18		8		4		5		1				36
板橋区	2	9	69	4	8	7		23	8		10		1	43	96
足立	2	34	1	11	2	7		28	1					80	4
江戸川	2	40	105	6	9	7	5	28	13		22	2	3	83	157
町田	1		18		11		4		2		12				47
多摩立川	2	2	178		20		8		14	1	6			3	226
多摩府中	3	11		1	1		1	9						21	2
多摩小平	1		7	1	6						4			1	17
八王子市	4	2	103		15	2	14		5		12		1	4	150
合　計	55	1,228	1,067	540	414	486	241	798	152	6	132	85	9	3,143	2,015
定点当たり報告数		22.74	19.77	10.00	7.69	9.00	4.47	14.80	2.82	0.11	2.44	1.58	0.17	58.23	37.36
前年定点当たり報告数		22.67	24.84	10.03	7.22	10.59	6.29	16.63	3.36	0.16	2.92	1.06	0.44	61.14	45.07
当年/前年		1.00	0.80	1.00	1.06	0.85	0.71	0.89	0.84	0.68	0.84	1.49	0.38	0.95	0.83

区中央部圏	11	324	194	188	99	82	30	205	24	2	18	17	1	818	366
区南部圏	3	33	44	6	2	4	1	17						60	47
区西南部圏	5	84	47	28	70	7	69	26	2	2	7			147	195
区西部圏	10	356	138	163	103	240	53	273	49	1	21	50	2	1,085	377
区西北部圏	6	178	189	66	52	94	30	104	31		23	6	2	448	327
区東北部圏	3	34	19	11	10	7	4	28	6		1			80	40
区東部圏	6	204	130	76	25	48	16	136	19		28	12	3	476	221
南多摩圏	5	2	121		26	2	18		7		24		1	4	197
北多摩西部圏	2	2	178		20		8		14	1	6			3	226
北多摩南部圏	3	11		1	1		1	9						21	2
北多摩北部圏	1		7	1	6						4			1	17

表９－６　保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数（STI）　2009 年 1 月～2009 年 12 月

人／定点

保健所	設置定点数	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患		合　計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	65.50	6.00	18.00	1.00	21.00		54.00	1.00			2.50	0.50	161.00	8.50
中央区	3	25.67	14.33	1.33	2.33	1.00	3.00	7.00	1.67		1.00			35.00	22.33
みなと	2	42.00	48.00	67.50	34.50	17.00	10.00	15.50	4.00	1.00	3.00	4.50		147.50	99.50
新宿区	6	39.62	14.71	23.69	13.88	35.24	7.67	33.81	5.52		0.74	6.24	0.17	138.60	42.69
文京	1	32.00		8.00		3.00		43.00	1.00			3.00		89.00	1.00
台東	3		17.83	1.67	9.83		0.33	0.67	2.67		3.67			2.33	34.33
墨田区	2	14.50	4.00	5.50	1.00	4.50	5.50	7.50			1.50	0.50		32.50	12.00
江東区	2	67.50	8.50	29.50	7.00	16.00		46.50	3.00		1.50	4.50		164.00	20.00
品川区	1	13.00		6.00		4.00		5.00						28.00	
大田区	2	10.00	22.00		1.00		0.50	6.00						16.00	23.50
渋谷区	5	18.88	10.77	5.90	16.35	1.77	15.53	5.72	0.40	0.40	1.60			32.67	44.65
中野区	2	32.00	12.50	2.00		1.00	5.50	16.00	4.00	0.50	6.00	3.50	0.50	55.00	28.50
杉並	2	15.50	8.50	1.00	4.00	2.50		8.50	3.50		2.00			27.50	18.00
池袋	3	54.67	40.00	19.67	14.33	25.00	10.00	26.33	7.67		4.33	2.00	0.33	127.67	76.67
北区	1	5.00		3.00	1.00	12.00		2.00						22.00	1.00
荒川区	1		18.00		8.00		4.00		5.00		1.00				36.00
板橋区	2	4.50	34.50	2.00	4.00	3.50		11.50	4.00		5.00		0.50	21.50	48.00
足立	2	17.00	0.50	5.50	1.00	3.50		14.00	0.50					40.00	2.00
江戸川	2	20.00	52.50	3.00	4.50	3.50	2.50	14.00	6.50		11.00	1.00	1.50	41.50	78.50
町田	1		18.00		11.00		4.00		2.00		12.00				47.00
多摩立川	2	1.00	89.00		10.00		4.00		7.00	0.50	3.00			1.50	113.00
多摩府中	3	3.67		0.33	0.33		0.33	3.00						7.00	0.67
多摩小平	1		7.00	1.00	6.00						4.00			1.00	17.00
八王子市	4	0.50	25.83		3.75	0.50	3.67		1.25		3.00		0.25	1.00	37.75
合　計	55	1,228	1,067	540	414	486	241	798	152	6	132	85	9	3,143	2,015
定点当たり報告数		22.74	19.77	10.00	7.69	9.00	4.47	14.80	2.82	0.11	2.44	1.58	0.17	58.23	37.36

区中央部圏	11	29.73	20.27	12.00	9.04	7.22	4.24	18.83	2.68	0.29	2.01	1.21	0.20	74.36	33.27
区南部圏	3	14.08	14.53	2.65	0.06	0.56	0.09	5.92						20.00	15.67
区西南部圏	5	17.12	9.74	6.55	14.67	1.14	10.53	4.62	0.20	0.37	0.30			29.40	39.00
区西部圏	10	32.70	12.39	18.29	9.09	24.79	4.85	27.06	5.14	0.13	2.51	3.94	0.31	108.50	37.70
区西北部圏	6	29.96	28.93	11.02	8.97	15.00	6.44	16.04	4.85		4.40	0.64	0.69	74.67	54.50
区東北部圏	3	8.10	4.87	4.63	1.86	2.75	1.27	7.57	1.45		0.17			26.67	13.33
区東部圏	6	33.09	22.15	10.82	3.47	8.14	1.95	23.80	3.20		5.96	1.90	0.18	79.33	36.83
南多摩圏	5	0.48	26.96		5.54	0.84	3.53		0.64		2.98		0.25	0.80	39.40
北多摩西部圏	2	1.24	92.50		8.80		4.11		8.72	0.41	3.53			1.50	113.00
北多摩南部圏	3	3.40		0.27	0.34		0.09	3.17						7.00	0.67
北多摩北部	1		7.31	0.39	5.66						5.58			1.00	17.00

表９－７　年齢階級別患者報告数（STI）　2009 年 1 月～2009 年 12 月

人

年齢階級	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患		合　計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳														
1～4歳														
5～9歳														
10～14歳		4		1				1		1				7
15～19歳	24	118	1	13	6	11	20	26		3	1		52	171
20～24歳	168	363	34	88	35	70	128	50		25	5		370	596
25～29歳	255	270	80	97	92	74	193	35	1	22	12	1	633	499
30～34歳	216	169	97	56	99	38	130	14	1	17	9	2	552	296
35～39歳	184	82	86	56	82	29	119	10	1	19	20	3	492	199
40～44歳	155	37	79	34	72	11	105	7	1	7	15	1	427	97
45～49歳	99	13	62	18	39	2	43	3		8	5	1	248	45
50～54歳	55	6	32	19	30		26	1	1	11	7		151	37
55～59歳	41	1	27	9	8	1	24	2		4	6		106	17
60～64歳	25	1	19	9	10	2	5		1	6	1		61	18
65～69歳	4	2	15	4	11		2	2		3	3		35	11
70歳以上	2	1	8	10	2	3	3	1		6	1	1	16	22
合　計	1,228	1,067	540	414	486	241	798	152	6	132	85	9	3,143	2,015